

昭和三十四年度

財團
法人

東洋文庫年報

東
洋
文
庫

昭和三十四年度東洋文庫年報正誤表

頁 行		正	誤
七	1	或はお名前を	或は「お名前を
一〇	6	菊池君	菊地君
三三	13	唐船風説書	唐船拔説書
三八	3	國際關係論・國際政治學	國際關係論國際・政治學
四三	15	戰國時代の	戰國代の
四六	13	自由刑の	自由刑發
四六	14	發達を見た	の達を見た
五二	5	重んずるにつれて	王審知るにつれて
五二	6	・王審知兄弟	・重んず兄弟
六三	11	「トルコ一般史」料の	「トルコ一般史」料の
七九	15	Classified	Classified
八二	6	『現代文化人類學』	『現代文化人類學』
八二	9	「秋官志の處罰事例	「秋官論の處罰事例
八四	5	「唐代の郡望表	「唐代の郡望表
九〇	15	一八七頁	八七一頁

昭和三十四年度東洋文庫年報

目次

一	東洋文庫の生れるまで(目).....	石田 幹之助.....	一
二	昭和三十四年度に於ける東洋文庫.....		元
(附)	財団法人東洋文庫創立三十五週年に寄せて.....	P・ドウミエヴィル	
		W・フックス	
		W・サイモン	
三	職員.....		六
四	事業.....		三
1	刊行圖書.....		三
2	講演會.....		三
3	談話會.....		五
4	展示會.....		六
5	圖書收藏・閱覽.....		六
6	資料複寫.....		七
7	情報連絡.....		七
五	研究活動.....		六

1	研究者養成	二
2	機關研究	七
3	職員の研究業績	九
4	各種委員會	一〇
	東洋學連絡委員會	一〇
	敦煌文獻研究連絡委員會	一〇
	宋史提要編纂協力委員會	一六
	明代史研究委員會	一七
	清代史研究委員會	一八
	近代中國研究委員會	一九
	イスラム研究委員會	二〇
	藏和辭典編集委員會	二一
	南アジア研究委員會	二二
六	受贈・購入圖書	二四
1	和書	二四
2	中國書	二三
3	朝鮮書	二三
4	洋書	二四
附	東洋學術協會	一三

東洋文庫の生れるまで (三)

石田 幹之助

さて話は少々前へ戻りますが、書物の箱詰め作業は九月の初に滞りなく終了しました。美添君と私とはずつとその荷造りの模様を見守つて來ましたが、全部のハンタづけも済み、蓋を被せて釘を打ち、薄い二寸幅ぐらゐの鐵のベルトでそれを締め、いつでも運び出される仕度が出來ました。さうなると後は船に積み込むだけの仕事になりますが、生憎船が毎日のやうに出るわけではありませんので、その便のある日まで待たなければなりません。郵船會社へ問合はすと、九月の十二日に天津を出帆し、十三日外港の塘沽シジウを解纜して内地へ向ふ高砂丸といふ荷船よりないといふので、それまでは私たちの手も空いてしまつたわけです。その間、書庫に置いて嚴重に鍵をかけて保管しておくより仕方がないのと、考へて見れば今度の北京行きは實際は岩崎家からの依頼によつてのことではありますが、表向きは東大から「學術上取調べのため支那へ出張を命ず」といふ嚴めしい辭令を貰つて來てゐる關係上、全く手ぶらで歸るわけにも行きませんので、船が出るまでの數日をあちこち見學に出歩きました。尤もそれまで何くれとなく忠實に手傳つてくれた美添君は大學の都合かなにかで一ト足先へ歸京することとなり、五日北京を去り天津から客船で内地へ向ひましたので、それから私一人になりました。そこで邦人小學校の校長先生や教諭の方に伴はれて前年に見殘した所などを見てまはることにしました。かくて鐘樓・鼓樓を近く仰いだり、十剎海に蓮の花を眺めたり、内城の東南隅に近

天文臺を訪れたり、城外へ出ては阜城門（平則門）外の耶蘇會墓地を尋ねたりしました。天文臺は正しくは觀象臺と謂つてゐましたが、望遠鏡一つ見當らず、實際天象の觀測を試みてゐたかどうか分りませんが、確か乾隆帝だかの筆に成る「觀象授時」といふ大字の横額が入口に懸かつてゐたやうに記憶します。たゞ元の時代に造つた觀測器の類は義和團事件の時にドイツに持ち去られ、そこに在つたのは清朝時代の製作に係るものだけでした。耶蘇會士墓地（俗稱膝公柵欄兒^{シヤラン}）ではマテオ・リッチ以下の墓表などを撫し、團匪事件に荒らされてコルディエのビブリオテーク・シニカに見える墓石・墓碑の排列などがいたく面目を改めてゐることを知りました。（その見聞記は歸京後史學會で話をすることがあり、要領は「史學雜誌」に出てをります）。それからまた琉璃廠^{リウリヤン}や隆福寺^{ロンフー}に古書肆を覗いたり、京師圖書館や北京大學を再訪しました。京師圖書館では熱河文津閣本の四庫全書の全貌に接したり、スタイン・ペリオの發見以後、中央に移送せしめた敦煌古鈔の殘本（と云つても約五千卷）を瞥見したり、北京大學では胡蝶裝の古香豊かな宋版本の原裝のままのものを手にして大いに眼福を得ました。近頃聞きますと、中共の毛澤東主席はその頃北京大學の圖書館員をしてゐたさうであります、假に館中で見かけた所でそんなことは知る由もないことでした。外城西方の菜市口の法源寺は紫禁城以外では私には最も印象の深い所でした。それはその閑寂な境内の雅びな趣で、院庭に栽ゑた花木の綠葉と、暗紅色の壁の色とが相映じていかにも明るいが靜かな氣分を出してをり、木蔭の隅から崔鶯鶯が青衣紅娘に手を執られて現はれて來はしないかといふ幻想に捉はれたりしました。そこは牡丹の名所と聞きましたが、生憎時期が時期とて徒に葉の繁るのを見ただけでありましたが、却て「國色天香」絢爛の美を競ふ時よりも趣が深かつたやうであります。後にまはるとこの寺の前身、唐の憫忠寺時代の遺物を藏した一室があり、李北海の書

になる至徳二載だかの殘碑を見たり致しました。——いや大へん話が横に逸れて恐縮ですが、まあそんなことで辭令の趣には何とか辻褃を合はせ、船の出るまでの日を送つてゐたのであります。かう申しますと、僅か數日ながら大へん殊勝な暮らし方をしたやうですが、勿論夜になると梅蘭芳を見に行つたり、パヴィリオンといふ北京の上流人や外人の行く映畫館などに西洋ものを見に行つたり、相當遊んでもをりました。また仕事が一段落著きましたためか、方々からお招きを受けて大分御馳走にもなりました。就中九月四日小田切大人が内城の裱褙胡同の公邸で催して下さつた席の晚餐は、前門外の有名な料理屋から腕ぎきのコックが出て來て腕を振つた北京料理の盛饌でありました。またそれらの席で相客として招かれた色々な方にも御目にかかる榮を得ましたが、今でも印象に残つてゐるのは九月の一日に正金支店長小貫慶次氏の宴席で前月來滯燕中で二三日後には洛陽・長安に向つて出立されるといふ京都大學の松本文三郎先生や、その同行の大谷大學教授羽溪了諦氏にお目にかかつたこと、そこには前年來北京に留學中の京大助教授（當時）豹軒鈴木虎雄先生もをられたこと、翌九月二日に鐵道院の北京駐在員金井清氏の招宴（東興樓^{トシキウ}）で大藏公望男や米國のYMCAの有力者とか聞いたグリーン氏の外に在米新聞記者としてよく知られた河上清氏にお近づきを得たことなどがありました。（河上氏は日露戰爭の後、ボーツマス講和會議に「萬朝」特派員として西部から全權一行に隨從され、報道方面に活躍された外、幾多の英文論著を通じて極東問題を論ぜられ、Kiyoshi Karl Kawakamiの名は内外に顯著なものであります）。これらの方々はいづれもモリソン文庫のことを話題に上され、その日本に買取られたことを喜ばれ、その前途の發展に期待を寄せられたのであります。

ここで愈々北京を去ることになるのでありますが、この際ぜひ紙上に残しておきたいことが一つあります。それは

私どもの北京滞在中、モリソン文庫の授受や荷造りその他に就き、直接間接、公私それぞれに亙りまして深い同情を賜はり、また色々援助の手を延べて下さった方々の芳名であります。中には既に本文のうちに名前を出した方もありますが、私どもの仕事を大過なく進行させることが出来ましたのは多かれ少かれこれらの人々の御好意が與つて力あることなのでありまして、願れば既に四十餘年の昔になりましたが、今まで一度もかやうな形で御禮の志を述べたことがありませんでしたので、今この機を利用してこのことだけは紙上に留めておきたいと思ひます。それは順序不同ですが次の方々であります。

林 權助男（公使、前出）。

芳澤謙吉氏（公使館參事官、現存外交界の最長老で 最近も駐臺北中華民國大使として活躍された。東大英文科の先輩）。

阪西利八郎氏（陸軍少將、公使館附武官、有名な支那通であられたことは贅説するまでもない）。

苦米地少佐（公使館附陸軍武官。昭和十七年頃、國學院大學の軍事教練の教官をしてをられた。その時は大佐）。

青木宣純氏（陸軍中將、支那政府顧問）。

平井晴二郎氏（工學博士、支那政府鐵道顧問）。

中山龍次氏（支那政府電話事業顧問）。

中林賢吾氏（法學士、北京日本郵便局長）。

杉村陽太郎氏（公使館書記官）。

井坂錦江氏（中日實業公司。支那文化の研究家としても名あり、後に「東亞物産史」などの著もあり、内藤湖南博士を援け、滿洲の得勝陀の女眞字碑文の搜索に盡力された）。

小貫慶治氏（法學士、横濱正金銀行北京支店長。内藤博士と同郷にして支那學にも興味を有さる。北清事變には狩野直喜・服部宇之吉・古城貞吉諸先生やモリソン氏などと共に北京籠城者の一人）。

小田切萬壽之助氏（正金銀行取締役、在支支店總監督。前出）。

土屋禎二氏（法學士、正金銀行北京支店副支店長。私の北京滯留中、支那政府の審計院（會計検査院）の顧問に就任された）。

渡邊哲信氏（「順天時報」社長。本願寺關係の方で大谷光瑞伯の西域探檢隊員の一人。この時の御縁が元となり、後年「順天時報」廢刊の折、創刊號以來一日の缺號もなき完本を特に東洋文庫へ寄贈された。これは海内の孤本である）。

神尾 茂氏（「朝日新聞」北京特派員。前年は神田正雄さんにお世話になつたが、この年は神尾さんから御好意に與つた）。

檜崎觀一氏（「毎日新聞」特派員。なほ健在）。

鷺澤餘四二氏（「時事新報」特派員。慶大出身で、野球團のマネチャーとして選手を率ゐて渡米されたこともあり、その名は私の中學時代から聞えてゐた。モリソン氏の親友で、私のモリソン氏に關する逸事軼聞の類は大半この方から傳聞したものである）。

佐藤三郎氏（陸軍大尉、公使館附。後に參謀本部の支那課長になられ、中將まで陞進され滿洲で師團長をしてられた。この方はモリソン文庫の東京移置後、まつ先に之を利用された人の一人で、次回に一寸書くつもりである）。

出淵 繁氏（公使館書記官、後に駐米大使）。

山田 某氏（公使館員、「伏敵篇」の著者山田安榮氏の令息）。

金井 清氏（法學士、北京駐在鐵道院代表。なほ健在で、郷里信州の某地で市長をしてをられるはず）。

牧野駒三氏（前出、正金銀行員）。

田原禎次郎（天南）氏（「滿洲日日新聞」社員）。

藤原鎌兄氏（北京の日刊紙「新支那」社長）。

岩永裕吉氏（法學士、滿鐵社員、龍居理事の隨員として前年も御世話になつた。後の「共同通信」の社長で故長與

東大總長の令弟、作家長與善郎氏の令兄）。

秋山昱^{いづく}禮氏（三菱北京支店長。有名な支那語の達人で、傍ら蕪村調の俳句を善くせらる）。

好富 某氏（三井北京支店長。荷物に保險をつけるのにお世話になつた。この時は三菱はまだ保險業務には攜はつてゐなかつた）。

早崎稗吉氏（東京美術學校の出身。岡倉天心の高足で高名な支那美術通であつた）。

關野 貞氏（工學博士、東大。同じ宿に投宿された關係で色々御教へを受けたり、御注意を承つた）。

なほこの外にも或は「お名前を逸した方があるかと思ふが、それらの方々には重ねて厚く御禮を申述べたい。たゞ鳥兎勿々、その大半は既に道山に歸せられてしまつたのが誠に惜しい。

さてこの邊で愈々話を本筋へ戻しますが、前回に述べましたやうに、モリソン邸を出た荷馬車の列は途中無事に間もなく京奉線の前門の驛チエンメンに著きました。待受けてゐた運送會社の社員、今一寸その名が思ひ出せませんが實にキビキビした有能な青年でありましたが、二十人近いクリーを指揮して車から下した荷物を貨物の扱所の方へ運び、忽ちのうち手續を了してしまひました。この人の働きもさることながら、私のもつと感心したのはこの青年の連れて來たクリー頭の一支那人でした。五十を少し越した位の年輩で、「史記」の列傳にでも出て來さうな豪傑の面影があり、態度には悠揚逼らざるものがありました。眼光は炯々として鋭く、一番大きな本の箱の上にドッカとあぐらをかいて烟管で烟草をふかしながら、クリー共を叱咤して寸刻も怠ける暇を與へず、實に要領のいいその人捌きには目を見張りました。後で聞くとこの親分は日露戦争の時我が滿洲軍のために、數百人の手勢を率ゐて後方勤務に忠勤を拔んでた馬賊の頭目だつた男ださうであります。かくて五十七個の荷物は一臺の鋼鐵製有蓋貨車に全部納り、右の運送店の青年に附添はれて貨物列車で塘沽へ向ひました。一度宿へ引取つた私もその後を追つて二十數日を送つた北京を去り、翌日の朝牧野氏などに見送られ東行の客車に投じ、單身やはり塘沽に向ひました。塘沽は天津の外港で、紫竹林の河岸びざを離れて下航して來る汽船はここで貨物を積込んで内地の方へ向ふのです。午后塘沽の驛に下りて見ますと、一面に蘆荻の生ひ茂つた白河下流の野原の中の一軒屋で、實に荒涼たる處です。恐らく少し離れた處にいくら町らしい場所があるのでせうが、私の下り立つた所は物淋しい限りで、驛の隣に小さなバラックが立つてをり、丁度建築や土

木工事の現場の係員が寢泊りする假小舎みたやうな恰好です。例の運送會社の若い社員（假りにこの人をA君と云つておきます）が既に來てゐて迎へてくれ、その指さす方を見ると、草叢の中の引込線にボツンと一臺の貨車が停つてゐます。あれが文庫の詰まつてゐる車ですが、今夜もう一晚ここで夜を明かし、明十三日船に積込んで愈々出帆します。私は同船して荷物を宰領しながら東京まで参りますからあちらでまたお目にかかりますといふ。もう別に心配はないのでここにゐても仕方がないのでありますが、汽車の便がありませんので深夜その出るまで、最後の別れを惜しむやうな氣持ちで、かの貨車を横目で見ながら、ここで待つことになりました。食事や身の廻りのことは、三十七八の小母さんがゐて甲斐々々しく世話をしてくれましたが、夜が更けると十燭ぐらゐの電燈もほの暗く、急に淋しさが身に迫つてくるやうに思はれ、正に天外の孤客といふやうな思ひを致しました。やがて十四日の午前一時半、時刻になりましたのでA君にはくれぐれも海上輸送中の注意を頼んで東京での再會を約し、私は京奉線の列車に搭じてこの寒村を後にしました。そのうち夜があけて今度は晝間なものですから、車窓の右に渤海灣の靑波を眺め、左に遠く松山々脈を望み、白樺の木立ちなどを指點しつつ昌黎・山海關を過ぎ、夕刻に奉天に到着致しました。ここで私は早速或る用件を片づけて、やがて南行する滿鐵の列車に移つて大連に向ひましたが、その用件といふのはかういふことなのです。實は北京滞在中、前年以來懸案になつてゐた吉長鐵路に關する借款供與か何かの問題に就いて交渉を續けるために八月の二十七日に滿鐵理事の龍居頼三氏の一行が乗込んで來られました。交渉の進行途中で何か重要なことに就いて大連の本社と打合はせのため電信を打つといふことになつたのださうですが、どうせ暗合で打つのですがそれでも支那の領内から打つては少しまづいことがあるといふので、丁度私が奉天を通るといふものですから、あすこに

著いたらすぐ日本の郵便局からそれを打つてくれと一通の電文をことづかつて來たのであります。さうしてそれを打つたら、大連に行つて久保理事に面會せよといふことであります。勿論何が書いてあるのか知りませんし、久保氏に會ふとどういふことになるのかさつぱり分りませんでした。九月十四日の朝大連に著くと早速満鐵の本社に久保さんをお訪ねしました。久保さんは大へん喜ばれて色々好都合であつた、これはほんのお使賃だが、暇があつたら少し遊んで行き給へといつて小さな封筒に入れたものを下さいました。見るとそれは満鐵全線の一等パスでありました。私は少々狐につままれたやうな感じでありましたが、私の役目が何であつたのか分らないもののそれは大へんな儲けものをしたと難有く頂いて來たのであります。その當時は満鐵が朝鮮鐵道まで經營の衝に當つてゐた頃でしたから、それ一枚あれば北は長春から南は旅順・大連、東は安奉線經由で釜山まで縦横に乗りまはせると思ふと喜ばざるを得ません。高砂丸は牛莊(營口)・大連・門司・神戸と港々に寄りながら横濱へ行くので、それまでには相當暇がかかります。船より一足先に歸りさへすればいいと考へましたので、又候大學の辭令を口實に長春へ行つたり、旅順へ行つたり、そこで物産陳列館に寄託されてゐた大谷コレクションの西域發見物を見たり、朝鮮へ來ては同じく京城の總督府博物館に陳べてあつたミッシン大谷の西域將來品を瞥見したり、平壤に王險城の古を偲び、安東都護府を回想し、さては牡丹臺・玄武門・船橋里などの古戰場(日清役)を探り、水原の舊都に遊んで城壁に残る烽火臺の跡を實測したり、兼二浦など筋違ひの新興都市で大雨に會つてズブ濡れになつたり、碧蹄館址への途上、自動車が故障して炎天の野中に久しく立往生をしたり、いろいろな目に會つて釜山經由で下の關へ歸りつきました。それが九月二十二日の夕方で、直ちに上りの特急に乘込み、先を急いで一路東上の途につきました。翌日の暮れ方、列車が國府津へ

著きますと、やあここに居たのかといつて當時「時事新報」の記者をしてゐた同窓の菊池寛君が展望車へ入つて來ました。モリソン文庫の内容と今度の北京行きの話をしろといふので、ざつとかいつまんだ所を語つて後は四方山の話をしてゐるうちに二十三日の午後八時半、列車は東京驛のプラットホームに到着しました。打合はせがしてあつたと見え、待つてゐたカメラマンが寄つて來て本箱に收めた文庫のカタログを足もとへ置いた姿を撮られました、これには驚きました。新聞社の寫眞班にフラッシュを焚かれたのはこれが始めてだつたからです。出迎へて下すつた方々に挨拶などを交はして、わが家へ歸りますと、また菊池君が來てゐて上り込んで待つてゐるといふわけです。家の者とロクに口もきかないうちもう一度インタヴューを取るんだといふのですが、考へて見るとその頃の新聞記者なんていふものはよほど暇なものだつたと思はれます。さうでなければ一介の書生の歸朝談の取材に二度も出てくるなんていふことは考へられないからです。菊池君はこれでスクープが出來た、まああすの朝刊を見てくれといつて歸社して行きました。

さて翌日、何よりも大學へ行つて上田先生にお目にかかり、一往の報告を致し、その足で研究室に立寄つて丁度居合はされた先生や先輩にも挨拶をしました。歸りがけに理科へ廻つて地理學教室に山崎直方先生をお訪ねしますと、やあ御苦勞さま、話はもう今朝の新聞で見ましたよと云はれて大いに恐縮しました。私も途中で「時事」を買つて一見して來たのですが、きのふ話したことが初號見出し三段抜きで、驛頭で寫した寫眞まで入れてバカに派手に出てゐるんです。今の紙面に比べると、如何に鷹揚な組方の時代だからといつて、こんなにスペースを割くなどといふことは一寸意外で、今ならさしづめ全學連の大將にでもなつて大暴れでもしなければあんな風に取上げて貰へさうもありません。

せん。

次には井上さんにお會ひして報告すると共に北京に於ける正金銀行の萬端の御世話に對して御禮の言葉を述べ、兼ねて二三日うちに横濱へ著く船から荷物をどういふ風に東京へ持つて来るかに就いて指示を仰ぎました。井上さんは實に決斷の早いお方でありましたが、ものの考へ方は非常に慎重で、その後もいつも敬服してゐたのですがその時も横濱からは大抵艀ライターに移して水路東京へ運ぶのが常例だが、この水路で時々事故があり、よく小舟が波を被おぶることがあるので今度は折角無事に持つて來たものをここで九仞の功を一簣に缺くといふことになつては残念だから、費用は嵩むが鐵道便で新橋まで持つて來ることにしようといふことでした。その方の交渉は正金の方でやつて下さるさうであり、通關手續などはすべて運送屋の受持になつてゐましたので、この上は高砂丸の入港を待つだけとなつて私の體も二三日あくことになりました。そして九月の二十六日かに愈々荷物が新橋の汐留驛に到着することになり、例の運送會社のA青年と打合はせて時刻を定め、午前中に立會つて恙なき荷物の姿に再會を遂げたのでありました。その頃はまだ市中の運搬手段としてのトラックは餘り使はれてゐない時なので、何臺かの馬力に積んだ上、岩崎家からの意向によつて一ト先づ荷物は全部深川佐賀町の三菱倉庫に收めることになり、三菱側の人もそこに來て一往形式上の授受も済ませましたので、A君だけが附添つて行くことになり、私はその必要がないといふのでここで別れました。岩崎家はこれを今後どういふ風に扱はれるか、いづれ上田先生や井上さんと御相談があり、徐に將來の方針を立てられると思ひますので、北京から東京へ持つてくる私の任務はともかくここで終つたことになりました。

これで終れば文庫の運命がどういふ徑路を取るようになりましたか、殆ど想像出來ませんが、ここに思はざる一大

事が突發して、それを機縁に私とも深い御縁が出来てしまひ、永いこと文庫のために働くことになるやうなことが出来致したのであります。それは九月三十日夜から翌十月一日の朝にかけての颱風の襲來で前例稀な暴風雨となり、深川の倉庫に東京灣の高波が押し寄せて箱詰のままの書物の一部が水を被つたといふ事件であります。三十日の夜、本郷の友人の家で話込んでゐた私は、雨の量が異常に多いのに稍々常ならぬものを感じてはをりましたが宵のうちは未だ風もなく、その頃は颱風の觀測なども至つて不完全であつたと見え、今のやうに新聞で早くから警戒を與へるといふやうなこともなく、あれ程の風雨が襲つて來ようとは豫想もしませんでした。所が夜半に至つて猛烈な風が吹き出し、その唸る音が物凄く、家も揺ぐかと思はれるあらしとなりました。去る六月頃の「東京新聞」にその時の記録を引いて市中の被害の模様を書いた記事が出てをりましたが、今更ながら當夜の様子を思ひ出しました。不安な一夜を過しましたが、翌朝は所謂颱風一過で青空にただぎれ雲の飛ぶのを見るだけでしたが、市中の様相は慘憺たるものでありました。私はその日も何か大學へ用があつて本郷へ行きましたが、道々電車の窓から丸ノ内の濤端のプラタナスが殆ど全部根拔ぎになつてゐるのを見て夜來の風雨の激しかったことを痛感しました。然し文庫の本が箱ごと水に漬らうなどとは夢にも考へず、ただただ颱風の爪の痕の生々しさを眺めてゐるばかりでありました。ところが翌朝になりますと大變です。朝早く正金銀行から小使さんが來て井上さんからの至急といふ手紙を一通届けて來ました。何だらうと封を切つて見ますと、一昨夜來の異變に文庫の荷物に一大事出來、すぐこの手紙を持つて三菱銀行本店に頭取串田萬藏氏をお訪ねして萬事その指揮に従へといふ趣です。浸水といふ字がチラと眼に入りましたが、荷造は嚴重な筈だし、サテどういふことなのかとかすかな疑ひを抱きながらも大急ぎで丸ノ内へ駆けつけました。串田さんは

話はあとですが、今近くの岩崎家庭事務所へ箱を順に運んで中味を開き、應急の處置をし始めた所だからすぐその方へ行つて指圖をして貰ひたいとのことで、一丁ばかり離れたその赤煉瓦二階建の建物へ案内されました。(家庭事務所といふのは名のやうに岩崎家の家事一切を取仕切る事務所ではなく、岩崎男の個人經營に係る小岩井の農場や南米サン・パウロの農園などを動かしてゐるオフィスで、相當多數の人を使つてをられた事務所であります)。もう幾箱かが深川から運ばれ、蓋が開かれて三菱の印絆纏を着た倔強な男衆が頻りに本を出して、とにかく机の上や本棚のやうなものに並べて風を通してゐる所でしたが、その間に立ち交つてゐる事務員らしい人に聞きますと、風雨の夜、海から永代橋をくぐつて押寄せた高汐 (Tidal wave) があつといふ間に倉へ入つてしまひ、床面一尺近く忽のうちに浸水してしまつたといふのです。悪いことには丁度その時倉に他處から預つた荷物がなく、スペースが廣く空いてゐたので、五十七個の箱を積み重ねないで一重に並べて、この次どこかへ運ぶといふ時に、成るべく積卸しの際の動搖や取落して傷めることのないやうに氣を配つたといふのですが、それが却つて仇となつてどの箱も萬遍なく下から三分の一弱の處まで水に浸つたといふことでした。ただ一つだけ、一トキは大きい箱だけは何と思つたか他の箱の上に載せたので、これだけは全く水に觸れなかつたと聞きましたが、これは天の助で、中には美しい圖版から成る、装釘も特別立派な美術書が入つてゐたのですが、それが無傷で助かつたのは天佑でした。(ル・コックの「高昌」とか、ブツシエルの「陶説」(ウォルタース・コレクション圖錄) などがこれに入つてゐたのです)。中味はハンダ附のティン・ボックスで更に包んであつたので本來なら水は浸み入らないわけなのですが、何分北京以來塘沽・横濱・新橋・深川と十回前後かなり重い荷を積んだり卸したりしてゐるので、如何に嚴重にやらしたつもりでもハンダ附が處々はがれ

て僅かながらそこから水が浸み込んだといふ次第なのでした。幸に一箱毎に書物は些の隙もなくぎつしりと詰め、少しでも隙間があると詰め物をして非常に固く詰めてありましたので、一箱の本は一つブロックをなしてゐましたので水が入つたといつても本の小口から約一晝夜のうちにジワジワと水を吸ひ込んだといふ形で、直接風雨に叩かれてビショビショになつてしまつたといふわけではありません。然し本の用紙は僅の間に水を soaked して全面に濕りが擴がり、表紙の背の方まで水氣を持つやうになつてゐました。さうしますとクロス装釘のものなどは背の内側には膠を使つてありますので、この膠が適當な水分を得た處へ十月初の溫度が作用して、手を入れて見るとポウツと生溫く、忽ち發酵して黴が點々として星のやうに出て來ました。御承知のやうに本の大敵は火であると共に水も大敵であります。これは大仕事になつた、一大決意の下に何とかしなければ元も子も無くしてしまふと思ひ煩つてゐる時に、急を聞かれて岩崎男も心配氣に見まはりに來られ、大學からは上田先生や圖書館長の和田萬吉先生なども見えて色々相談して下さいました。その時突差の間に次の三大方針が定められたのでありますが、それは岩崎男の大英斷だつたと思ひます。それは(1)無傷のものは取あへず別に置いて外のものと交らぬやうにすること(2)水を吸つたもので表紙もブカブカになりかかり、膠も變調を呈してゐるやうなものは表紙を廢棄して新に製本しなほすこと(3)アート・ペーパーを使つた本で水のために紙が粘著してしまつて開けなくなつたものは思ひきつて廢棄處分に附し、幸ひそれらは新刊の書が多いので新に買ひなほすこと、といふ方針でありました。(3)のアート・ペーパー云々は、あの紙は表面に糊(澱粉)を覆つて更にロールにかけて艶出をしたものでありますから、たとへ縁の方に幾分かでも水を吸ひますとその部分は石のやうに固くなつてしまつて何とも致し方がないからであります。それで(1)に屬するものが約五分の三ぐ

密封した毛氏文庫目錄

○石田學士北京より歸る

日モリソン氏が廿餘年間に蒐集した
珍書二萬四千冊、何れも世界に無類の寶物

と目録載つた、外國語の書だけども五百冊★(石田文學士談)

ハの寶物に類に而して、外國語の書だけども五百冊★(石田文學士談)

最たるべきは北京支那政府圖書館藏書、ハ氏の寶藏の附いた貴重文書の中に

モリソン氏の蒐集せるオランダ文書がある、此中に他、オランダの東洋學研究の明

可く先づ北京に出張せる文書正白旗朝貢の影畫のあり、國説等もある

之助氏は二十三日午後八時東京驛に歸る、此中に他、オランダの東洋學研究の明

△一萬四千餘冊の

文庫、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

に所収して、氏の蒐集せるオランダ文書、配書、國語、漢語、和語、支那文、

文庫、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

に所収して、氏の蒐集せるオランダ文書、配書、國語、漢語、和語、支那文、

文庫、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

に所収して、氏の蒐集せるオランダ文書、配書、國語、漢語、和語、支那文、

文庫、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

に所収して、氏の蒐集せるオランダ文書、配書、國語、漢語、和語、支那文、

文庫、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

に所収して、氏の蒐集せるオランダ文書、配書、國語、漢語、和語、支那文、

文庫、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

△一冊の價二千圓

の價、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

に所収して、氏の蒐集せるオランダ文書、配書、國語、漢語、和語、支那文、

文庫、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

に所収して、氏の蒐集せるオランダ文書、配書、國語、漢語、和語、支那文、

文庫、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

△約三十五萬圓で

の價、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

に所収して、氏の蒐集せるオランダ文書、配書、國語、漢語、和語、支那文、

文庫、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

に所収して、氏の蒐集せるオランダ文書、配書、國語、漢語、和語、支那文、

文庫、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

△文庫に別るを

の價、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

に所収して、氏の蒐集せるオランダ文書、配書、國語、漢語、和語、支那文、

文庫、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

に所収して、氏の蒐集せるオランダ文書、配書、國語、漢語、和語、支那文、

文庫、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

△一を當時の佛帝

の價、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

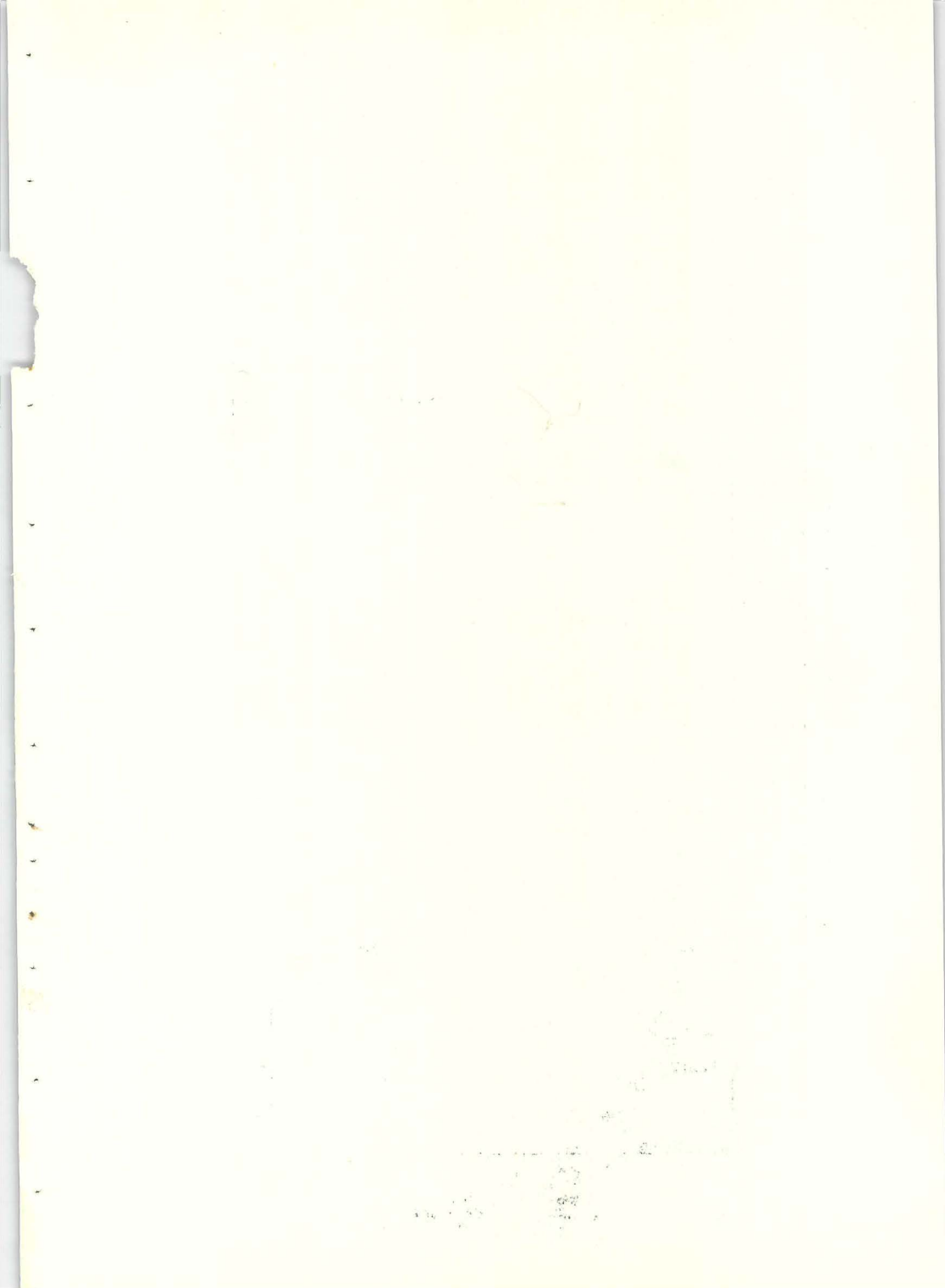
に所収して、氏の蒐集せるオランダ文書、配書、國語、漢語、和語、支那文、

文庫、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

に所収して、氏の蒐集せるオランダ文書、配書、國語、漢語、和語、支那文、

文庫、國語、漢語、和語、支那文、日本文、西洋文、東洋文、各種の書、

大正六年九月二十四日時事新報
世し、鏡眞製版上、「昨夜東京驛に歸着せる石田文學士と圖書目錄」
という掲載鏡眞を除き、また原版記事組みの位流を一部移した



らゐ、残る五分の二ほどがこれから大車輪で救出しをしなければならぬものとなり、何はともあれ、濡れたものは乾かさねばならぬといふので、三菱に出入りの大工を動員して戦場のやうな騒ぎのなかで簡単な書棚を何十個か瞬間に造り上げ、それに多少でも水に漬いた本を開いて山形に伏せ、架上に排列することにした。さうして本を扱はせるにはやはり製本工などが一番適當だらうからといふので、やはり三菱に出入りしてゐました京橋邊の製本屋の主人に連絡され、その使用人を自動車で三人五人といふやうに運んで来て仕事の衝に當らせました。そこへ大學の瀧精一教授も來合はされ、丁度今エジプト學・アッシリア學の大家であるセイス博士が京都大學の賓客のやうな工合で京都に居られるから、先生のエジプトや近東に於ける發掘品の整理や保存に就いての學識經驗を活かして頂かうといふので京都へ電報を打つて下さいました。また同じく大學から化學の教授の松原行雄先生も來て下さいまして大學で水の成分の分析をしてやらうと申され、幾つかの資料をお持ち歸りになりました。翌日松原先生はすぐその結果を御知らせ下さいましたが、水はアルカリ性であつて幸ひ紙質を破壊するやうな酸性ではなかつたから、このまゝ乾かしても差支はない。然し水が汚れてゐたため褐色のシミが出来たやうだから、それが穢らしいといふことなら水で洗つて乾かせばいい、といふことでありました。セイス博士からも折返し返電がりましたが、これには濱田耕作先生が間へ入つて色々斡旋の勞を執つて下さつたのでした。その主旨は鹽分は出来るだけ去るやうに處置せよといふことでありました。前述の方針に基き、このやうな助言を參考にして一冊でも多く生かさうと努めたわけでありますが、膠や糊の發酵を防ぐために表紙を取り去る仕事の中々大變で、室の一隅に熱い湯を沸かして背皮やクロースを剥ぎ取つた後をよく拭ひとるわけなのですが、小の虫を殺して大の虫を助けなければならぬ大手術ですから、愚圖々々云つて

ある場合ではないのですが、美しい装釘がバリバリ引き剥がされて行くのは流石に見るに忍びませんでした。

三日ばかりの間は私も殆ど不眠不休でこの作業と取組んだのでありましたが、衣裳を剥がした書物の着物の着せ替へをしなければならぬ、製本のしなはしをしなければならぬといふ難關がすぐ後に迫つて來てゐますし、また汚れの出た本、特に十八世紀以前の本は用紙の性質上一種の吸取紙のやうなものですから、マーチンの部分に水が soak してシミが出たものが多いのでこれを洗つてきれいにするとといふ仕事にもかからなければならず、一日もちつとしてゐるわけに行かなくなりました。前にも云ひましたやうに製本にはモリソン氏も随分意を用ゐてゐましたので中々洒落たものが多く、日本で果してあんな垢抜けのした装釘が出来るかどうか、また十六・七・八世紀の皮綴の古色掬すべきものが原裝に近く復舊出来るだらうかと、それが第一に心配になりました。幸ひ通人の話を綜合すると、やりやうによつてはそれは不可能ではない。職人には相當研究もしてをり、腕もいいのが居るんだが、今迄何にせよ日本では製本といへば値切るだけが能で金を出す人がなく、また自分で熱心に色々注文を出して binding とか reline といふことをフォスターする人がゐなかつたから技術も一向向上しなかつたのであるが、その點に意を注げば相當なのは出来るのだと勵まされて大分心強く覺えましたし、出来るものなら成るべく原形を恢復することに敢て費用は吝まぬといふ方針を伺ふことも出来ましたので一縷の光明を認めました次第です。そして圖書館長の和田先生は大學附屬製本所の熟練工を大學の用務に差支へなき限り貸し與へて下さつたり、やはり心配して見まはりに来てくれた丸善の栗本氏も、丸善直屬の荻村製本所を提供してくれました。大學の製本主任の成田某君はその門弟で獨立して營業をしてゐる名人とも稱すべき人を世話してくれました。これはH君といふ所謂名人氣質の持主で、餘程こちらで調子を

取らないと氣を入れた仕事をしてくれないのですが、一旦打ち込むとこんなうまく出来るのかと思ふ程のいいものを作ってくれました。今日文庫の架間に並んでゐる脊皮や three quarters の十七・八世紀の本で、高雅な金文字を輝かしながらどこか稚拙の味はひを持つてゐる改裝本などはこのH君の手がけたものが大部分であります。丸善の荻村でも非常に手堅い、堅牢を旨とする改裝をかなり多量に引受けてくれました。それからシミ抜きの方ですが、これは今東洋文庫の立つてゐる處が當時まだ六義園の續きの一部で前の電車道などは全然無く、岩崎家の別邸の敷地内の一部でありましたが、そこに何年か前に岩崎男が蘭の栽培に凝られた時作られた温室が久しく使用されぬままに放置されてありましたのに手入れをし、ボイラー・ルームを補修して火の焚けるやうにし、ガラス張りの下に木造の流しを何臺かしつらへ、本を水洗すると共に棚を設け洗つたものをそこへ排して溫度を上げて乾燥を早めるといふ設備をし、製本職工を十數人常備にしてそこで水洗事業に取かからせました。そのため本には一冊毎に荷札と番號を著けて控へを取り、トラックに載せて私が助手臺に乗り、丸の内から本郷通りを日に二・三回は往復するといふ日課を繰り返しました。さうして洗つて乾いたものを製本屋に出して衣裳の着せ替へをやるといふわけなのであります。そのうち應急の事務室に宛てた岩崎家庭事務所を引拂い、その北方の三菱仲十四號館といふのの北端に移りまして「モリソン文庫假事務所」といふ札を掛けました。ここは鐵筋コンクリート三階建のフアイアー・ブルーフの家で、南側には十區劃ほどのオフィスが立ち並び、色々の商社が借りて住んでゐました。この地下室に Buchbinderei を設け、器械も入れ、常備の製本工を二人置いて製本も自營で進めることになりました。各種の革やクロスも取揃へ、一々番號を打つてこの本は何番の革、この本は何番のクロスといふ風に指示し、背文字の原稿を書いて渡し、一往組ませたも

のを校正するのめかなり厄介でありました。(タイトルはそのまま「三」に入れるわけにはいかないことが多いのですから、こちらで適當に言葉を按じてきめてやらないと突拍子もないものを金文字にしてしまいます。所謂バインダース・タイトルといふものは日本ではまだまだ職工に委せてはおかれぬものでありました)。——それやこれやで荷物が東京へ著く早々、飛んでもないことが降つて湧いてしまひましたが、何が幸になるか分らないもので、この大不幸も全然マイナスばかりにはならず、さういふ事件がなければ或は起らなかったかと思はれることが一つ起りました。それはこの事件でいやでも一冊残らず文庫の本を親しく手にとり、その大きさ、厚さ、色合ひなどの特徴を覺えることになり、以後の取扱ひに大へんな便宜を得たことが思ひがけぬ收穫でありまして、私は意外な得をしたとも云へるのであります。そんな次第で内外多數の方々の御援助と御同情で文庫の災厄も最少限度にくひ止めることが出來、水の騒ぎも十二月の末には一段落つき、私もほつと息をつくことが出來ました。そこで岩崎家ではこの件に關して特別に心配を下さつた方々を本郷の本邸に招かれ、年末押しつまつての一夜晚餐の宴を開かれて井上・小田切兩大人を初め上田先生、桐島像一氏、和田萬吉先生、瀧精一先生、それに前から岩崎家の和漢書蒐集の顧問をしてをられた和田維四郎先生(地質學者で、鑛山監督署長や八幡の製鐵所長官を勤められた人)などの勞を犒らはれたわけでありました。私の行届かない點も少からずあつたことと思ひますが、水の一件は天災と諦めて下さつて他は措いて問はれず、これがご縁となりまして引續き整理に盡し、兼ねて公開の際までの準備に攜はるやうにとのことで、爾後も文庫のお世話をするやうな事になつた次第であります。(次回完結)。

正誤 本稿第一回の「三頁第一行目」「八千萬巻樓」とあるのは「十萬巻樓」の誤。第二回の終に一度正誤したが、それは再び誤つてゐた。

二 昭和三十四年度に於ける東洋文庫

昭和三十四年をもつて、東洋文庫は、大正十三年の財団法人組織の發足以來三十五週年を迎えた。故岩崎久彌氏によつて中華民國總統府顧問ジョーシリアーネストリモリソン氏の藏書が購入され、東洋學關係の専門研究圖書館としてモリソン文庫が設立された大正六年から數えると、正に四十三年に當る。その間、第二次大戰後の經濟變動に致命的な打撃を蒙つたが、文部省の補助金および内外の個人・團體からの援助によつて東洋文庫はその機能を殆ど恢復したばかりでなく、戦後學界の發展に即應して、國際的な東洋學研究センターとして一層活潑な活動を續けつつある。

三十四年度においてはひきつづき文部省大學學術局當局を通じ日本政府から、また、ハーヴァード・エンチン研究所およびロックフェラー財團から、それぞれ援助を受けた。東洋文庫の經營はこれらの補助金に最も多く依存しているもので、感謝に堪えない。

昭和三十四年度の運営費の獲得について、注目すべき事項は、東洋文庫維持會の設立である。維持會は、東洋文庫に理解をもたれる機關および個人によつて組織され、本文庫に對し財政的援助を與えて、補助金の不足を補い、その事業を促進し、本來の使命の達成を助けるために設けられたものである。幸に多くの團體がその趣旨に賛成せられ、目標額のほぼ半分を集めることが出來た。これまた感謝に堪えない所で、本會の今後一層の發展と充實とが望まれる次第である。

文部省補助金による三十四年度の出版物には、梅原末治編「蒙古ノイン・ウラ發見遺物の研究」(論叢二七)、和田

清編「宋史食貨志譯註」(一)(論叢四四)、多賀秋五郎著「宗譜の研究(資料篇)」(論叢四五)、「長崎御用留所收唐船風説書」(「華夷變態」叢刊一五、補遺)、「歐文紀要」No. 19があり、講演會としては、春秋二期、一〇講師によつて「東洋學講座」を公開したほか、ギルシュマン、トゥッチ兩博士による特別講演會を催した。また財團法人東洋文庫開設三十五週年記念展示會をはじめ二回に亙つて展示會を開き、國立國會圖書館の援助を得て、解説附展示目錄を印行した。また文部省の補助金によつて購入した圖書は、單行本、和・漢・朝鮮書一六七部、洋書一九五部、計三六二部、定期刊行物、邦・華文一〇部、歐文四〇部、計五〇部に上つた。なお、年間受贈圖書は、單行本、和・漢・朝鮮書二四八部、洋書一九八部、定期刊行物、邦・華・朝鮮文二六八部、歐文九九部に及んでいる。

また、新しい次代の學究を育成する目的で、昭和三十一年度以來文部省補助金を研究生養成に充てることを許され、二名の新進學徒を研究生として採用してきたが、このほかハーヴァード・エンチン研究所資金による研究生四名があり、著々成果を擧げている。

この他、三十四年度には、文部省科學研究費交付金(機關研究)による、「中世以降における東アジア諸地域の貴重文獻の整理研究」が進められ、十七世紀以前に撰述刊行された貴重朝鮮本、米國國會圖書館所藏舊北京圖書館善本のマイクロフィルム、計二九二、八三七齣が收藏された。これは、内外の研究者・研究機關の要請に應じて、東洋文庫が東洋學に關するマイクロフィルム・センターたるの機能を整備せんとする事業である。

なお、ロックフェラー財團の補助による近代中國研究委員會の第二期研究活動の成果の一部として「近代中國研究」第三輯が公刊された。この近代中國研究委員會の蒐集した近代中國關係の圖書・雜誌、また總合研究「アジア地

域の社會・經濟構造」による購入圖書等は、文庫藏書の缺を補いつつある。

人事面では、昭和三十四年八月、研究生岡田英弘氏が蒙古史研究のためシアトル市のワシントン大學に留學した。

東洋文庫ではその三十五週年を記念するため創立記念日である十一月十九日に、職員一同相會して、極く内輪に祝典を擧げ、今後の活動への決意を新たにするとともに、長年月に亙り文庫の創業ならびに發展に盡された現在の専務理事和田清博士、初代の主事石田幹之助博士、もと主事、現國立國會圖書館支部東洋文庫長岩井大慧博士、および同參事箕輪友吉氏の勞をねぎらつて記念品を贈呈した。また、三十五星霜に及ぶ東洋文庫の歩みを讃えて、P・ドゥミエヴィル、W・フックス、W・サイモンの三名譽研究員より次のようなメッセージが寄せられた。

東洋文庫が發足してより三十五年ノ この文を書いている私の眼の前には、一九二六年に東洋文庫の正面で撮した一枚の寫眞が置いてあります。その中には文庫の創立者であり、慥か初代の文庫長であられた高名な白鳥庫吉氏と、私の記憶違いでないなら當時主事をして居られた石田幹之助教授が日佛會館の館長シルヴァン・レイ氏を中心にして立つて居られます。後兩側には東洋文庫と殆んど時を同じくして開館された日佛會館の最初の留學生達——私もその一人でありました——が寫つて居ります。その創立當時から、東洋文庫は藏書の豊富なこと、よく整備されている點では、アジアに於ける如何なる圖書館よりも優れて居りました。その優美で近代的な建物は、その時代の混亂とは全く對照的であり、その印象は今も私の胸にあざやかに残つて居ります。以後、何という素晴らしい進歩、業績の開花を遂げたことでありましょうノ 最初、モリソン文庫を中核として發足したこの文庫は、次第に藤田豐八氏のコレク

ジョンや東洋文庫の生みの親である岩崎男爵家のコレクションを併せ、更に加えて貴重な圖書・文獻、不可缺な資料の蒐集にたゆまざる努力を重ねて参りました。このことが、この東洋文庫をして極東の歴史、および極東と他の世界との關係に就いては、他に比類のない資料の寶庫たらしめたのであります。

しかも、東洋文庫は、東洋學の研究に保護と勵しを與えられているのであり、一九二五年以降、殆んど毎年、規則正しい水の流れのように學問的價値の高い完璧な出版物が上富士前から私共の手許にとどけられています。例えば、圖書目錄、歐文紀要、日本語に依る研究論文等であり、東西を通じて貴重な典籍をあらゆる方法と技術を使つて複製刊行されたこともまた、極めて賞讃すべき事業であります。

六年餘り前からは、時代の要望に應え、東洋文庫は近代中國研究委員會をその内に設け、その出版物はすでに相當の數にのぼつて居ります。この近代中國研究委員會は、今世紀最大の焦點の一つである中國問題について、その觀察の客觀性と資料の豊富さにより、世界に於ける此の種の研究の獨自なセンターとなります。かくして日本は、その國に、世界の過去と現在の狀態を解明するための有益な資料を蒐集し、分類し、探索しつつあり、東洋文庫は、勤勉にしてしかも能率的な活動によつて、人々の將來に俟つべき祈念を達成すべく、立派にその役目を果しているのであります。

P・ドゥミエヴィル

東洋文庫の創立三十五周年に當つて、この世界的に有名な研究機關、その功勞ある指導者ならびに協力者の皆様に、心からの祝詞を申し述べることは、私にとつて名譽でありかつ嬉しいことであります。

東洋文庫がこれまでになし遂げた成果を回顧するに當つて誇りをお感じになるのは當然のことです。極東に於いてシナ學の研究に従事したものは誰でも、東洋文庫の他に類をみない漢籍及び洋書の貴重なコレクションを出し、また、それが模範的に整理され、惜みなく提供されたことを思い出して、稱讃と感謝の念を覚えるであります。多くの稀觀書が豊富に存するこの文庫を、私はおよそ三十年前、はじめてまのあたりに見ることが出来ました。が、あらゆる利用者達は、文庫職員各位の圖書蒐集の努力と、良書をよりわかる才能に限りない尊敬の念を感じずにはいないであります。

しかし、このような廣く世に知られた事實を指摘するだけでは、東洋文庫の意義を正しく評價したとは申せません。その有意義な圖書蒐集事業と同様、多數の刊行物もまた驚歎に値します。稀觀書のテキスト、重要な研究、論文、雜誌等々のどれ程多くについて、我々はこのすぐれた文庫員の方々のお陰を蒙っていることでしよう。文庫員各位のお仕事は全東洋學のあらゆる分野にわたつて決定的な貢獻をなしたのであります。シナ學及びそれに接する部門についての東洋文庫の出版物は、不朽の地位を確保するであります。

東洋文庫のあたたかい御好意に對する感謝の念と共に、なお後の世代の人々もまたその有意義な活動の恩恵に浴することを望んでやみません。

一九六〇年九月二十日

ケルン大學 東アジア研究室 W・フックス

東洋文庫の創立三十五周年を記念して、御祝の言葉を申し上げますことを非常な名譽と存じます。

東洋文庫、或いは“Oriental Library”という名前からすぐ心に浮ぶのは、モリソン文庫の廣範圍にして獨特な蒐集であり、又その實に現在のすみかを與えられた岩崎家の御好意でありますが、この名前は更に多くの意味を含んで居ります。所藏の書籍及び寫本の目録を作成することは學問的な圖書館の傳統となつてはいますが、一つの逐次刊行物を目録の出版にあてているということを誇り得る圖書館は少ないと思ひます。『東洋文庫圖書部諸目録』(Series E)のうち、代表的な例として特に二種類をあげるならば、第三番の“Catalogue of the Asiatic Library of Dr. G. E. Morrison”二卷は世界中の圖書館員にとつて缺くことの出來ぬ參考圖書であり、第二七番の『東洋文庫漢籍叢書分類目録』は、漢籍擔當の圖書館員とすべての中國專攻の學者に非常に貴重なものとなつて居ります。

また、東洋文庫は創立の當初から學問的な書籍及び定期刊行物の出版を最大の任務の一つと考へて居り、これによつて東洋學者に資するところは甚大で、學問の進歩に注目すべき貢獻をしています。東洋文庫の編纂になる和文の『東洋文庫論叢』(Series A)は三十五年前、石山福治氏の重要な校訂版であり研究である有名な『攷定中原音韻』の出版に始り、現在では既に四十二の論著が出て居り、その最新のものは和田清教授の蒙古研究であります。

和文の『東洋文庫論叢』に匹敵するものとして、大部分が英文で書かれた“*Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko*” (Series B)『東洋文庫歐文紀要』があり、これは西洋の圖書館に廣く備へられて居ります。

他の價值ある逐次出版物である『東洋文庫叢刊』(Series C)は現在十五を數え、貴重本の複製刊行がその内容であり、東洋文庫所藏の五冊の『永樂大典』の複製をもつてまず始められたことは眞に適當であつたと思われまふ。既

刊のものの中には白鳥庫吉教授編の『元朝秘史』（第八）、及び、現在もなお進行中である『滿文老檔』の劃期的編纂（第十一）等があります。更に『歐文東洋文庫論叢』（Series D）においては、サンスクリット經本、即ち『八千頌般若經及釋』（第二）並びに『梵文大乘寶覺譬喻經』（第四）の編纂をみました。更に今一つの逐次出版物『東洋文庫各種研究委員會刊行物』（Series F）は、近代中國研究委員會の研究の刊行等が行われています。

以上の短く且つ非常に不十分な言葉の他に、東洋文庫内の活動のうち、其處を訪れた數えきれぬ程多くの外國人學者におしみなく與えられた比類ない厚遇や、重要な文庫外の事業、即ち精力的な榎一雄教授の獨創的努力によつて大英博物館所藏のスタイン將來敦煌文書のマイクロ化に資金を提供されたこと等を附け加えねばなりません。貴文庫に世界的聲價をもたらしたこの三十五年の様々な活動や優れた業績を顧みます時、東洋文庫の皆様は大いなる満足と當然ゆるさるべき誇りを感じられることでありましょう。全世界の學者と共に、東洋文庫理事長細川護立元侯爵、専務理事和田清教授、圖書部長岩井大慧教授、研究部長榎一雄教授、並びに他の職員の皆様に申し述べる願ひは、圖書館運營及び研究に最高の水準を維持されようとする貴文庫の御努力が今後とも御成功を得られ、ひいては東洋學に渝らぬ貴重な貢獻をなされんことであります。

一九六〇年八月二十九日

ロンドンにて

W・サイモン

三 職 員

理事長 細川護立

(文化財保護委員(會委員))

専務理事 和田清

(日本學士院會員 東京大學名譽教授)

理事 有光次郎

(株式會社吾孺製鋼所取締役會長)

德川宗敬

(日本圖書館協會顧問)

小倉正恆

(アシア文化圖書館理事長)

澁澤敬三

(日本民族學協會會長 國際電信電話株式會社會長)

山本達郎

(東京大學教授)

監事 岡東浩

(東山農事株式會社常務取締役)

評議員 小泉信三

(日本學士院會員)

新村出

(日本學士院會員 京都大學名譽教授)

磯野長藏

(株式會社明治屋本店社長)

俣野健輔

(飯野海運株式會社社長)

大濱信泉

(早稻田大學總長)

奥井復太郎

(慶應義塾大學總長)

高橋 龍太郎
(協和醱酵工業株式會社取締役)

茅 誠 司
(東京大學總長)

石 黑 俊 夫
(三菱地所株式會社會頭)

梅 原 末 治
(京都大學名譽教授)

平 澤 興
(京都大學總長)

岩 井 大 慧
(國立國會圖書館支部東洋文庫長)

榎 一 雄
(東京大學教授)

總務部

平 野 豐

丸 龜 美 貴 子

穴 澤 サクノ

兒 野 壽 滿 子

長 本 英 雄

奧 島 久 仁 子

勝 間 勇 次 郎

勝 間 袈 裟 五 郎

圖書部(部長)
岩 井 大 慧

石 黒 彌 致

田 川 孝 三

森 岡 康

宇 都 木 章

金 子 良 太

箕 輪 友 吉

熊 田 信 次 郎

吉 村 敬 子

竹之内 信 子

平 野 玲 子

研究部 (部長) 榎 一 雄

(名譽研究員) P・ドゥミエヴィル (コレージュ・ド・フランス教授)

S・エリセイエフ (前ハーヴァード・エンチン研究所長)

W・フックス (ケルン大學教授)

B・カルルグレン (スウェーデン王立極東古代博物館長)

E・O・ライシャウアー (ハーヴァード大學教授 ハーヴァード・エンチン研究所長)

W・サイモン（ロンドン大學教授）

G・トゥッチ（ローマ大學教授　イタリア中東亞研究所長）

（顧問）津田　左右吉（日本學士院會員　早稻田大學名譽教授）

原田　淑人（日本學士院會員）

和田　清

岩井　大慧

梅原　末治

藤田　亮策（奈良國立文化財研究所長）

辻　直四郎（日本學士院會員　東京大學教授）

村田　治郎（京都大學教授）

岩　村　忍（京都大學教授）

山本　達郎

（研究員）岩　生　成一（東京大學教授）

末松　保和（學習院大學教授）

河野　六郎（東京教育大學教授）

關野　雄（東京大學助教授）

三根谷 徹

(東京大學助教授)

山根 幸夫

(東京女子大學助教授)

北村 甫

(東京大學講師)

堀 敏一

(明治大學講師)

田中正俊

(橫濱市立大學助教授)

松村 潤

(研究生)

斯波義信

(蒙古史研究の爲米國留學中)

岡田英弘

永積 昭

池田 溫

高 畠 稔

山口瑞鳳

(チベット語學研究の爲佛國留學中)

(東洋學連絡
委員會委員)

津田 左右吉

原田 淑人

和田 清

岩井 大慧

梅原末治

藤田亮策

金倉圓照

(東北大學教授)

松本信廣

(慶應義塾大學教授)

杉本直治郎

(廣島大學名譽教授)

辻直四郎

村田治郎

福井康順

(早稻田大學教授)

宮崎市定

(京都大學教授)

塚本善隆

(京都大學教授)

仁井田陞

(東京大學教授)

山本達郎

四 事 業

1 刊行圖書

○梅原末治編『蒙古ノイン・ウラ發見遺物の研究』 東洋文庫論叢第二十七 昭和三十五年三月 A 4 版 一二〇頁

英文要旨一二頁 圖版原色版二葉・玻璃版八一葉 別刷圖一葉 挿圖七〇

本書は、一九二四―二五年にソ聯邦の學者が學術發掘をおこなつた外蒙古の同地における漢代匈奴の遺物について、著者の關與した調査の結果を録したものである。もと一九四〇年代の前半に出版の豫定のものが印刷中戰火で焼失したので、新たに圖版その他に改訂を施し、挿圖をも加えたものである。

○和田清編『宋史食貨志譯註』(一) 東洋文庫論叢第四十四 昭和三十五年三月 A 5 版 九三四頁 原文一二五頁

英文要旨八頁 圖版二葉 地圖一枚

本書は、さきの『明史食貨志譯註』(東洋文庫論叢第四十 昭和三十二年三月)に引續き、食貨志研究會の多年に互る研究の成果を印行したもの。卷頭に編者の序文、編修責任者によるテキストおよび資料の解説を收め、次に宋史卷一七三、食貨上一より卷一七五、食貨上三、漕運までを假名交り文に書き下し、これに詳細な註釋を施し、卷

末に武英殿版宋史食貨志の原文を附している。附録の地圖は宋代漕運圖。執筆分擔は左の通りである。

序

中 嶋 敏

テキストと資料について・農田・方田・賦税・布帛

周 藤 吉 之

和 羅

斯 波 義 信

漕 運

青 山 定 雄

○多賀秋五郎著『宗譜の研究』資料篇 東洋文庫論叢第四十五 昭和三十五年三月 B5版 八九六頁 英文要旨二

頁 圖版九頁 表一枚

本書は、日本現存宗譜の目録、中國・アメリカの諸圖書館所藏の宗譜の目録、および義莊規條、家塾規條、家訓家範、家規宗約、祭法祠規などの資料を收録し、他に解説を附したものである。

○『長崎御用留所收唐船風説書』（『華夷變態』東洋文庫叢刊第十五 補遺）昭和三十五年三月 A5版 二七頁

本書は、内閣文庫所藏『長崎御用留』のうち唐船拔説書（正徳元年）の部分だけを抜き書きして、さきに刊行した『華夷變態』一部三冊の補遺としたものである。

○東洋文庫歐文紀要 *Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko*, No. 19, (1960).

Kazuo ENOKI 榎一雄, Dr. Sei WADA.

Writings of Dr. Sei WADA.

Sei WADA 和田清, A Study of Dayan Khan.

Naoshirō TSURU 辻直四郎, The Marriage-section of the Āgñiveśya-Gṛhyasūtra.

Mikinosuke ISHIDA 石田幹之助, A Biographical Study of Giuseppe Castiglione (Lang Shih-ning), a

Jesuit Painter in the Court of Peking under the Ch'ing Dynasty.

Tatsuo NISHIDA 西田龍雄, The Numerals of the Hsi-hsia Language — Their Reconstructions and

Comparative Studies.

○近代中國研究委員會編『近代中國研究』第三輯 昭和三十四年八月 A 5版 三四九頁 英文要旨二三頁

近代中國研究委員會委員の左記の研究成果を収めている。(附 中國文雜誌論說記事目錄 (二))

「北京における對露交渉機構の變貌——天津條約(一八五八年)調印から一八六〇年五月まで——」

坂野 正高

「同治年間の陝甘の回亂について」

中田 吉信

「順德縣鄉紳と東海十六沙」

佐々木 正哉

「近代日本における儒教思想の變遷についての覚え書」

野村 浩一

○Authors Index to a Classified Catalogue of Books in Foreign Language in the Toyo Bunko, Vol. VI: Section XVII, Japan. (1917 ~ 1956). Published by the Toyo Bunko, Br. N. D. L., 1959. 4°, 130 p. The Toyo Bunko Publications, Ser. E, No. 31.

○『擬備中國書目』 昭和三十四年十月 油印 B 5 版 一〇三頁

昭和三十四年度より文部省科學研究費（機關研究）の交付を受けて著手せられた「中世以降における東アジア諸地域の貴重文獻の整理研究」事業を遂行するため、その參考用に、まず米國國會圖書館、東洋部、中國室 Chinese Section, Division of Orientalia, Library of Congress, U. S. A. に收藏保管されてゐる舊國立北京圖書館善本 Rare Books of the National Library of Peiping のうち、マイクロフィルム化されたものの書目をその書架番號順に收録したものである。

○宋史提要編纂協力委員會編『宋代研究文獻目錄』補篇 昭和三十五年三月 油印 B 5 版 四一頁

本目錄は既刊の『宋代研究文獻目錄』の後を受けて、昭和三十一年、二兩年度に發表せられた文獻、および昭和三十年度までの文獻中さきの目錄に漏れたものその他を補つたものである。

○市古宙三・三浦和子・山崎妙子編『日本主要研究機關・圖書館所藏 中國文新聞雜誌總合目錄』 昭和三十四年六月 B 5 版 一八

七頁

日本の主要研究機關・圖書館所藏の新聞・雜誌約三、〇〇〇種を五十音順に排列して、その所藏機關、卷號を收録し、筆畫索引、北京音索引を附している。

○近代中國研究委員會編『近代中國研究委員會收書目錄』 邦文の部(㉞)、華文の部(㉞) 昭和三十四年五月一日現在

油印 A5版 一九頁、二二頁

○『第四十五回展示目錄』 昭和三十四年五月二十三日・二十四日 B6版 二九頁 圖版四葉

○『第四十六回東洋文庫開設三十五週年記念展示目錄』 昭和三十四年十一月九日・十日 B6版 五三頁 圖版四葉

○『昭和三十三年財団法人東洋文庫年報』 昭和三十四年十月 A5版 一九一頁 圖版二葉

2 講演會

東洋學講座

春期

第百十九回 昭和三十四年五月二十日

「世界史における東アジア」

オクスフォード大學教授 G・F・ハドスン

中國とヨーロッパ世界とは、舊世界において、互いに隔絶して文化を生成し、その文化的淵源は、全く關りのない獨立のものであつた。文明の四つの源は、ギリシャ、西アジア、インド、中國にあつたが、いわゆる東方世界は、アレクサンドロス大王の東征によつて深い影響を蒙つたに拘らず、容易にヘレニズム文化によつて取つて代わられず、やがて傳統的な文化を恢復せしめた。こうしてヨーロッパのみが、アジアから引離され、ヘレニズム文化のために残された。したがつて、われわれが、中國文化とヘレニズムの文化とを比較するとき、まず問題になるのは、非ヨーロッパ文化とヨーロッパ文化との根本的な相違である。春秋時代の中國は封建諸侯よりなり、ギリシャは都市國家であつた。アジアの文化は、農業に基礎づけられ、その上に封建的ないし專制的な君主制が存し、その社會機構は固定化の傾向を帯びていた。そうした條件のもとで兩世界の商業の存在形態は、著しく異なつたが、やがて兩世界を結びつけ、中國の門戸を開こうとして登場したのは、ヨーロッパ諸國側の東インド會社であつた。

第百二十回 昭和三十四年五月二十七日

「外政機構・外交文書・外交史研究―アロー戦争を中心として―」

東京大學教授
東洋文庫近代中國研究委員會委員 坂野正高

外交史は、一國の外政、ないしは對外關係の歴史といえようが、學問上の隣接分野との境は必ずしもはつきりしな

い。外政は内政と密接に關連するから、外交史は政治史と相交錯する。むしろ政治史の、さらには廣く政治學の、一部門ともいえる。何れかの國の外政に重點をおくことをせず、國際關係全體をつかもうとすれば、國際關係史ないしは國際關係論國際・政治學となろう。

歐米諸國との貿易によつて「開國」を促がされた中國の場合には、外交史は貿易史と切はなせない。經濟史や國際經濟論にも關連して来る。又、中國をながく苦しめた不平等條約體制を研究する爲には、通常、外交史にとつては補助科學にすぎない國際法學が重要な役割を果す。

俗に「外交」といわれるものは、嚴密に言えば、(一)對外「政策」の立案又は決定の過程と、(二)政策の手段乃至は實施過程としての、他國との「交渉」(狹義の外交)とに區別される。外交史の研究はもちろんこの双方を對象とする。併し以前には外交交渉そのものの研究にどちらかといえば重點がおかれていたといえよう。政策の立案決定の過程やさらにその背後の諸要因にまで分析が進められるようになったことは、外交史の學問としての發展を意味しよう。

外交はまた武力行使(戰爭)と區別される。併し、外交と戰爭とは共に對外政策の手段である。その意味において戰爭も、作戰用兵や軍事技術を直接に扱う軍事史とは異つた意味から、外交史研究の視野の中に入つて来る。中國外交史においてもアヘン戰爭・アロー戰爭・清佛戰爭・日清戰爭・日露戰爭・滿洲事變・兩次の世界大戰などの戰爭が大きな位置をしめる。

一國の外政を運營する機構は本國の外務省と在外公館から成る。議會政治の國に例をとれば、議會に對して責任を負う内閣の一員としての外務大臣が外務官僚の補佐をうけつつ政策の立案、決定を行い、出先の大公使に訓令を發す

る。訓令にはしばしば外務省と他の國內官廳との往復文書の寫しのような參考資料が同封される。大公使は訓令に従つて任地國の外務省と交渉を行い、又、常時、任地國の狀況につき情報の蒐集・分析を行う。そしてたえず外務大臣に宛てて報告を送る。報告には、しばしば任地國の外務大臣との間の往復文書の寫しや任地國の開港場にある自國領事館との間の往復文書の寫しなどが同封される。かくして、本省には訓令の控えと出先の報告が、在外公館には報告の控えと訓令、任地國外務省への公文の控えと來文などが保存される。以上の如き文書が外交文書と通稱されるもので、外交史研究にとつて第一に必要となる根本資料である（中國外交史においては、在華外國領事館の記錄も重要な資料となる）。本省の記錄は一定期間すぎると外務省の文書室（日本・フランスなど）又は國立文書館（英・米など）に保存される。在外公館の記錄も或る年月たつと本國に移される。併し英國のブルーブックのような形式であまり時を経ないで公表される部分を除いては、通常五十年位は外交文書の部外者閱覽をみとめない。

總理大臣・外務大臣などの政治家及び大公使などの交渉擔當者の私信や日記も外交文書に劣らないほどに重要な資料である。併し、これらのプライヴエートリパーズも、相當の年月がたつてからでないと利用は困難である。

外交交渉の經過を中心とした狭い意味での外交の歴史を研究するには、最少限度、右のような根本資料が相當程度利用できるなければならない。さらに、當該國の資料だけでは不十分で、これを相手國や關係のある（乃至は第三者的觀察者の立場にある）第三國の側の同種の資料とつき合せてみなければならない。

視野を擴げて、政策の立案・決定過程や外交交渉の成果の影響などの多くの要因を對象とするようになれば、それだけ、みるべき資料の範圍も擴大する（新聞雜誌、議會の議事録、政黨の保存記錄、壓力團體の請願書やパンフレッ

ト、中國の排外運動にみられるような民衆運動のプラカード、等々）。二十世紀になると外政の諸要因は多岐にわたる（マスコミなど）、又、國際的な關連がいよいよ緊密になるから、資料の範圍はいよいよ擴がり、分析の方法はいよいよ高度な立體的なものとならざるをえない。最近、外交史研究や國際政治學において政策決定過程（decision-making）の分析が強調されていることは、多岐にわたる諸要因を學問上の操作において鋭く一點に收斂させてとらえようとする努力の現れといえよう。

〔以下、アロー戦争研究の爲の資料・文獻について説明し、さらに、アロー戦争期の一重要問題であつた總理衙門の設立に至る政治過程について話したが、その要旨は省略する。〕

第百二十一回 昭和三十四年六月三日

『宋史』食貨志の譯註とその基本資料

東京大學 東洋文庫宋史提要編纂協力委員會委員 周 藤 吉 之

本講演は「宋史食貨志譯註」（東洋文庫刊）の内容の一端を紹介したもので、「宋史」食貨志の基本資料として、宋代にできた國史食貨志について、主に解説し、次にその註釋について二・三の例をあげて説明したものである。

宋代にできた國史には仁宗朝に成つた呂夷簡等撰「三朝（太祖・太宗・眞宗）國史」一五〇卷、神宗朝に成つた王珪等撰「兩朝（仁宗・英宗）國史」一二〇卷、南宋の孝宗朝に成つた李燾・洪邁等撰「四朝（神宗・哲宗・徽宗・欽宗）國史」三五〇卷と理宗朝に成つた程元鳳等撰「中興四朝（高宗・孝宗・光宗・寧宗）國史」卷數不明等がある。然しこれ以後の理宗・度宗・瀛國公の國史はなく、實錄・日曆等があつた。これらは南宋が減んだとき、元朝が北方にもつてきた。これらの國史には食貨志が

あつたので、「宋史」の食貨志もこれによつて編纂され、國史食貨志のないところは、新たに編修されたようである。今日國史食貨志の全文は勿論残つていないが、それらの一部は南宋にできた李燾の「續資治通鑑長編」や陳均の「皇朝編年綱目備要」、王應麟の「玉海」及び元初に成つた馬端臨の「文獻通考」等に引かれている。これらの文獻に引かれた國史食貨志の文と「宋史」食貨志の文を比較すると、「宋史」食貨志が國史食貨志に據つて記載されていることが判る。ただし兩者の間には多少出入があるので、「宋史」の食貨志は國史食貨志の文を削除したり、或は他の資料から挿入している處もあるようである。

「宋史」食貨志の字句の註釋はなるべく詳しく記載した。例えば、食貨志には朝官・京官が見えるが、朝官は唐の常參官に當り、京官は唐の未常參官をいつたものである。朝官は毎日參上し、朝謁に預るもので、文武五品以上監察御史・著作郎・太子中允等がいい、京官は常參せず、朝謁に預からざるもので、著作佐郎・大理寺丞・校書郎等をいつた。元豐の官制改革以後には、通直郎以上が朝廷で宴坐に預るので、これを朝官といい、京官の名は削除して承務郎以上といつたが、俗にはまだ承務郎以上を京官といつていた。また「宋史」食貨志・農田の條に、太祖朝に「桑三工以上を剥ぐものは、首たるものは死、從たるものは流三千里……」と定めているが、この三工の註をあげると、この規定は「宋刑統」卷二七雜律の棄毀官私器物樹木にあげられている後周・世宗の顯德五年七月七日の敕條に初めて見えるもので、「續資治通鑑長編」卷一一〇天聖九年五月丁未の條や「慶元條法事類」卷八〇雜門・採伐山林によると、木身の地を去る一尺より周圍を量つて、積んで四十二尺に滿つるを一功というので、三功は百二十六尺に當ると記しているが如きである。その他食貨志に見える人物についても、「宋史」列傳の外に文集に見える墓誌銘・神道碑・行

狀等を詳しく掲げておいた。

第二百二十二回 昭和三十四年六月十日

「成立期における郡縣制と官僚制」

一橋大學教授 増淵龍夫

私はさきに郡縣制ことに縣制の成立過程を少しく具體的に考察し、從來の通説とやや異なる見解に達した。君主の直轄支配地としての縣は、春秋時代より始まると從來されていたが、春秋時代の縣をつぶさにみて行くと、春秋時代の縣は、少なくともそのままの形では、秦漢時代の制度の示す縣にはつながらない多くの古い社會關係を内包するものであつた。春秋時代の縣においては、そこを統治するために任命された縣大夫も、なお強い族的秩序の遺制を保持しつつ、土着化の傾向を内包し、その支配をうける民の側においても、上からする彼らの族的秩序の破砕には強い抵抗を示しているのである。したがつて、春秋時代の縣が、秦漢時代のあの個別的人身的支配を志向する郡縣制に展開して行くためには、その間に、社會組織の重大な變革が、すなわち、從來の族的秩序の破砕がなされなければならないのであつた。それは單に支配を受ける民に對してばかりでなく、支配者の側に對しても要請されなければならない困難な問題であつた。そのような要請を現實化して行くためには、君主自身により強力な權力の基盤が用意されなければならないのであつた。そのような専制君主權力の基盤の形成過程についても、さきに考察したところである。しかしながら、春秋時代の縣が當面しなければならなかつたこの困難な問題は、戰國時代に入つて一舉に解決されたのではない。戰國時代に入つても、郡縣の長官には土着勢力と密着する傾向がつよかつたのである。このことの一例とし

て、私は、春秋時代の末期に、晉の縣とされた、太原周邊の祁氏の封邑を考察の中心において、戰國時代における郡縣制と官僚制をささえる社會的基盤を明らかにしようと思う。そこでは、縣とされる以前にそれぞれの邑における支配層をなしていた土着勢力は、その邑が縣となつた後においてもそのまま存続し、しかも、彼らの或るものは、そこに新たに任命されて来る縣の長官の家臣となつて、固有な人的結合關係をそこに形成することになるのである。そしてそこに結ばれる人的結合關係は、當時しばしば見られる縣大夫の土着化の一つの契機をなすのである。このことは成立期における官僚制的支配が、民間の土着勢力の固有な構造とどのような形で密接し、またそれによつてどのように制約されるか、を考える上に、多くの示唆を私たちに與える。そして、このような關係は、專制君主權力の強化によつて官僚制と郡縣制を整備した秦漢帝國において、どのような變質をうけながら、その社會的基盤をなして行くのであろうか。このことは、秦漢デスポティズムの基本構造の中において、豪族およびそれを中心に形成される民間秩序の固有な構造を、どのように位置づけるか、という問題につながる重要な設問となる。

第二百二十三回 昭和三十四年六月十七日

「長沙の出土品より見たる楚國の文物」(關係資料—寫眞・拓影等展示)

京都大學名譽教授
東洋文庫評議員 梅原末治

戰國代の楚國の文物に就いては、一九二〇年代の初に、安徽省淮河の流域、殊に壽縣に於いて重要な發見があつて、その具體的な一端が推され出した。其後十年餘を経て新たに湖南省長沙の四周で多數の當代の古墓群が掘鑿され、是

等の古墓は地下深くに營まれた構造が幸して、木・布帛其他の腐朽し去る物質までもすべてよく保存されており、引いて劃期的な資料を提供したのであつた。同地の遺跡は中共治下になつての學術調査に依つて更に重要な發見を加えている。展示した關係資料は最初世に出た双蛇双鶴の木彫、怪獸の墓鎮などをはじめ、現在東西洋に分散保存されているものに、近時の學術調査のそれを以てしたものである。是等のうちには、現存中國最古の、當時の竹簡・木策をはじめ、布帛の書、優れた漆器・各種の彫塑類、當時の利器―武器、容器類が具體的な姿で見られるのであり、また古鏡や玉器の使用の實際が認められる。その彫像にあつてはうちに一種の特色が窺われ、また古泉の類にも他と異なつたものがある。併しこれを總括すると、容器としての銅器や陶質器なり、また漆器の類に於いては、既に知られた中原各地の戰國時代のものと同然と差異がなく、銅器の裝飾文の如きには全く符節を一にしたものがあり、よく使用の原形をのこした武具の類に於いても、その然ることが認められる。墓の構造なり、副葬の明器に於いても同様であるのは注目せらるべきである。この點からすると、楚の文物なるものも大きく云うと中原のそれと大差なかつたと見られるのである。なお、此の種の楚の文物としては、古銅器等の示すところでは長沙のものよりも壽縣の出土品がより重要で、おのずから文物の中心地域だつたことが推されるし、また近く發掘調査された信陽の古墓の如きも内容に於いて長沙に勝るものがあるのである。

第百二十四回 昭和三十四年六月二十四日

「朝鮮語の母音調和」

東京教育大學教授 河野 六郎
東洋文庫研究員

朝鮮語は感覺的な言語である。この特徴は豊富な擬態語に示される。この様な擬態語や色彩語の中に母音の對立によつて程度の強弱を示すものがある。

母音調和という現象は語幹の主要音節の母音の性格によつて語幹の他の音節、或いは接辭の音節が主要母音と同類の母音を取ることをいう。この母音調和は母音の對立の原理と母音同化の原理の交錯の上に成り立つ。そしてその調和が語幹内に留る場合と、接辭にまで及ぶ場合とがあるが、いずれが根源的であるか判らない。母音調和は古くウラル・アルタイ語族の一の特徴と考えられた。事實フィン語やハンガリー語の様なウラル語にも、トルコ諸語、モロコ諸語、ツングース諸語、にも認められ、朝鮮語にも、そして古代の日本語にも認められる。しかし「母音調和」という形式的原理だけでは同系論の可能性を支持する一端とはなつても具體的な證明の材料にはならない。ただし比較研究に際し母音の扱いに幾分の流動性は與える。

さて朝鮮語における「母音調和」はどうか。現代語では母音の對立の原理はなお著しい。しかし「母音調和」は用言の連用形語尾以外は認められない。この連用形でも次第に「母音調和」は崩壊しつつある。

しかし中期語では事情が異なる。ここにおいては「母音調和」は極めて顯著に見られる。母音は陰陽二系列に分かれ、その對立は諺文の字形の上にも伺える。また母音 *i* は一般に中性的とされるが、より古い時期には陰陽二種類があつた形跡がある。

また、母音の對立は語幹派生の上にも認められる。即ちこの陰陽對立が契機となつて語の分化が計られた實例が見出される。またこの事實は比較研究に際しても語群の考究に利用し得る。

中期語の「母音調和」は何故に崩壊したか。その一つの原因は朝鮮語のアクセントが聲調から強勢に變質したことに求められよう。第一強音節母音の強勢は弱音節母音をシェワ化し、ために同じ音色を保持する同化の原理が壊れた。連用形語尾の母音 a/ə はその「ひゞき」が大きいため弱化を免れ、今日でも残されているが、主要母音の影響は弱く、ために子音を介する場合は陰母音に平均化しようとしている。ただし對立の原理は今日でも擬態語や色彩語に活躍している。

秋期

第百二十五回 昭和三十四年十月七日

「中國刑法史研究の今昔」

東京大學 東洋文庫東洋學連絡委員會委員 仁井田 陞

これまで三十年間の私の研究成果を「中國法制史研究」に纏めて發表することとなり、その第一卷「刑法」が出版されたのを機會に、中國刑法史研究上のいくつかの問題點について述べていくこととしたい。

④中國の自由刑の發展をめぐる問題——ヨーロッパで劃期的といわれる十六世紀ドイツのカロリーナ刑事法典でも流血的刑罰規定が少なくないのに對し、中國では流血の刑罰史の時期は紀元前すでに過ぎ去りつつあり、自由刑發達の達を見た。隋・唐の五刑の體系の成立以後も、自由刑（徒・流）が主要な地位を占めたのであつて、古典に見える五刑（死・宮・刖・劓・黥）と唐律との差は顯著である。中國や蒙古の刑罰を殺伐とし、これをその國民性に歸しようとする説があるが、それは穩當ではない。後世の凌遲處死にしても歴史的な權力支配の問題を度外視しては論じ得

ない。これら刑罰の目的としては、早く周禮以來、表面上教育刑的と見られる理念があらわれるが、なお刑囚を利用しようとする功利性を忘れてはいず、また權力支配による鎮壓が續き、應報刑主義と離れられず、一般豫防主義的威嚇主義の色彩が濃厚であつた。そして棄市などに見るように刑執行の公開も後世までおこなわれた。このような威嚇主義、刑執行の公開は、法家ばかりでなく儒家も是認したことであつた。刑罰と徳への教育との眞の結合は、それを可能とする社會的條件の成立——中華人民共和國において實現しつつある。

(㉔) 刑法上の諸原則の問題——中國古來の刑法には幾つかの特質的な原則が見られる。(1) 罪刑法定主義の制度の成立は甚だ古く、先秦時代にすでに擅斷主義との抗爭が見られるが、一方、この罪刑法定主義の原則は後世でも嚴格な意味のものではなかつた。(2) 中國古來の刑法の條文のなかに一般的規定が少なく、個別的特殊類型的な規定が多かつたためもあつて、類推解釋(比附援引)の必要度が多くなつていた(著しい例は農奴法に見られる)。(3) 場合によつては裁判官の認定次第で犯罪がきめられることも、唐律以來制度として認められていた。また、(4) 唐・宋法では刑法不遑及(ただし被告に有利な場合は遑及)の原則が存したが、明・清律にいたつて刊罰法規の遑及效を認め、規定面では權力支配の度を強めていた。以上のように、中國の罪刑法定主義的な制度は、ヨーロッパ近世の罪刑法定主義のような自由思想から出發したものではなく、その具體的な在り方は、權力支配の歴史性によつて條件づけられたのである。なお、(5) 犯罪の成立についていうと、中國では紀元前一、二世紀、すでに故意と過失とを區別し、ローマやゲルマンの古法に見るような純然たる結果責任主義をとることはなかつた。また古くから錯誤に關する規定も定められていた。

(4) 中國をめぐる東アジアの古刑法—— 中國周邊の諸民族の古刑法には、公權力が確立せず、社會統制力の未成熟な社會に起源する復讐主義と賠償制が見られた。そしてかかる古刑法は、中國にとくに發展をみた實刑主義との間に制度的な交渉關係、また具體的な接觸をもつた。諸民族法の接觸のときにおこる法の抵觸は、屬人法主義または屬地法主義という二つの原則のいずれかで解決された。中國では屬地法主義（郷に入つては郷に従え）の原則を立てながら、異民族に對する手心から、屬人法主義によつた場合も少なくなかつた。

(5) 中國舊社會の構造と刑罰權—— 國家的刑罰權と非國家的刑罰權との關係を考えるに當つて、國家と社會とを單純な二元的對立において理解すべきではない。國家權力は社會内部の共同體を媒介として刑罰權を末端に及ぼしえ、他面、共同體内の權力は、その過程でみずから獨立の刑罰權をもつことを可能とした。およそこの問題の把握のためには、國家と社會との間の矛盾對抗の諸關係を明らかにすることが必要である。

(6) 中國舊社會における法を動かす力について—— 法は、窮極においては支配者によつて決定せられる。しかし支配者は法—— 支配の手段—— の變更をよぎなくせられる。それでは中國のそのような法の歴史を成り立たせたものは何か。それは民衆の現實的實力抵抗である。中國法の歴史も對抗關係の止むことのない運動のうちに見出される。

第二百二十六回 昭和三十四年十月十四日

「辛亥革命時期の武漢」

お茶の水女子大學教授 市古宙三
東洋文庫近代中國研究委員會委員

一般的にいつて、辛亥革命における郷紳の果たした役割りを高く評價するのが、わたくしの考え方である。しかし、

辛亥革命發祥の地である武漢においては、郷紳の革命に果した役割りが、それほど大きかつたとは、わたくしは考えない。どうして武漢が例外をなしたかというところでは革命の運動が早くから組織化されており、しかもその運動が軍隊に入りこんで、軍隊が革命化し、それこそが武漢の革命を成功させたからである。軍人である黎元洪が湖北軍政府の都督にえらばれたのも、全くそのためである。但し、黎元洪は革命黨に屬したわけではない。その黎元洪がなぜ都督にえらばれたかというところ、當時、武漢には二つの革命團體——文學社と共進會——があり、兩者の利害に相反するものがあつて、清朝を倒すためには協同できたけれども、革命成功後はどちらがリードをとることも許されなかつたからである。勿論、第三者にすぎない黎元洪は、はじめは革命黨の傀儡にすぎなかつた。それならば革命成功後の黎元洪をあやつた革命黨は、文學社・共進會のいずれであつたか。武漢における覇權をめざして文學社と共進會とが争つたのであるが、結局において勝利を占めたのは、同郷のよしみを以て黎元洪をあやつることのできた共進會であつた。この共進會は、文學社が軍隊に勢力があるのに對して、會黨に勢力があつた。また文學社には割合に他郷の人、殊に湖南の人が多く、湖南人が牛耳をとつていたのに對し、共進會はほとんど湖北の人で固められていて、しかも文學社に比べればずっと金持ちが多かつた。したがつて共進會は、郷紳の團體ではないけれども、革命黨の中では比較的郷紳に近いものの集まりといふことができるのであつて、この共進會が文學社に制勝したといふことは、武漢もまた、辛亥革命の過程において郷紳が牛耳をとつて行く一般的趨勢と、それほどかけはなれたものではなかつたといふことになる。もつとも、これによつて共進會の覇權が確立したといふわけではない。黎元洪は共進會とともに湖南勢力ともいふべき文學社をおとしいると、軍隊をほとんどその一手に掌握することに成功した。何となれば軍

隊内に勢力の強かつたのは文學社であつたからである。このようにして黎元洪は軍隊をその手の中におさめると、こんどはその力を以て共進會に當つた。こうなつては共進會は到底、黎元洪の敵ではない。黎元洪の武漢地區における覇權はこのようにして確立された。而してその確立されて行く過程において黎元洪を助けたものは、袁世凱と緊密の關係にある、もしくは袁世凱に近づいて行こうとする他省出身の軍官であつたので、結局、武漢は、やすやすと袁世凱の自家藥籠中のものとなつてしまつた。

第二百二十七回 昭和三十四年十月二十一日

「中國における近代産業資本の形成について」

名古屋大學助教授 波多野 善 大
東洋文庫近代中國研究委員會委員

中國の傳統的資本は、デスポットとしての皇帝の代官である官僚の手に集中されたものであつた。官僚はいわゆる中飽によつて蓄積した資本を土地または商業高利貸に投資したが、明末以後の貨幣經濟の發展の中で、抗租運動が激化してくると、商業高利貸に重心を移行した。

ところが、アヘン戦争後になると、これと異なる新しい資本が蓄積されることになつた。すなわち、租界の買辦をはじめとする商人、海外に移住した華僑の蓄積した資本がそれである。北京條約後に西太后政權が成立すると、絶對主義的な方法によつて傳統的支配體制を強化しようとする洋務運動がおこり、官營または官督商辦の近代的諸企業をおこしたが、これらの企業資金は、主として海關收入を財源とする政府資金および買辦を中心とする商業資本であつた。洋務官僚は、これらの企業に關係することによつて近代的企業を運營する技術を修得し、また資本を蓄積した

が、この洋務官僚の蓄積した資本も、買辦をはじめとする租界の商人の商業資本および華僑資本とともに近代産業資本に轉化する可能性のあるものであつた。

これらの資本は、日清戦争後、中國政府が下關係約で外國人に與えた工業權に對抗しようとした近代工業化政策、日露戦争後の利權回收運動によつて近代産業資本に轉化しはじめ、官僚の資本もこれにならひはじめた。

しかし、高利貸資本と共棲していたこれらの資本を近代産業資本に投資させるためには高利の官利を必要とした上に、關稅自主權がなく、外國人が工業權をもち、日清戦争、義和團事件による多額の負債・賠償をせおつていたために保助金政策をとりえない中國政府の下で、これら經營・生産技術の幼稚な民族近代産業は敗退せざるを得なかつた。すなわち、日清戦争後の清末は、中國近代産業資本の形成期ではあつたが、中國の半植民地的條件と後進性がその形成を妨げた。

第百二十八回 昭和三十四年十月二十八日

「五代・宋における南方の新興官僚——とくに系譜を中心として——」

横濱市立大學教授 東洋文庫宋史提要編纂協力委員會員 青山定雄

主として宋人の行狀・神道碑・墓誌銘等により、南方の四川や福建・江西等の官僚の系譜を追跡して、彼等が土着か否か、いつ頃如何なるものから興り、家運がどの位續いたか等を究明し、その生活倫理や婚姻關係にもふれ、それを通して地方文化の開発を窺わんとしたものである。

四川では唐末の亂を避け或は僖宗に従つて華北殊に京兆方面から四川に徙つたと傳えるものが多く、四川土着とするものは少ない。その中には唐の官僚で没落したものもあつたが、五代・宋に歷仕し或は家運を再興したものが決して少ないといえず、それ程の家でないが、五代宋初に官となつて家を起したものもあり、五代蜀ではすでにかなり多くの官僚を用いたこと、かかる關係から四川土着の官僚でそれに假託して家系を粉飾するものが現われ、のち系譜を王審知につれて多くなり傳説的に發展するに至つた。また福建では唐末の亂に河南の光州固始縣の豪農出身の王潮・重んず兄弟等が武人となつて福建に入り、泉・福二州に勢を得て遂に閩國を建てるに至つた。それ故河南とりわけ光州より福・泉二州に徙るものがかなりあつたが、その他の地方から唐末五代の亂に徙つたものもあり、それは建州に多かつた。これ等のうち後者には唐の官僚の後もあつたが、四川に比すれば遙かに少なく、概して地方の豪族や農民と思われるものが多かつたようである。随つて五代の閩を中心武人として抬頭したものが割合に見えるが、郷土防衛の限りにおいてか或はそうでなくとも南唐や宋初にはやく官僚に轉じたのであつて、唐の武人の後は稀である。それだけに官となつて家を起したものは五代宋初に比較的になく中頃以後宋末南宋に多く、而も前住地や徙つた時期・世代等をかえつて詳記するものが少なくなく、なかには唐の官僚の後とするものもある。その點四川と類して系圖に對する作爲を感ぜしめるものがある。一方、福建土着のものは四川とちがつてかなり多いが、建州出身者が多數を占め、やはり閩に武人として、それを滅した南唐に官となつて家を起したものがあり、移住者と土着人との地域的ちがいや、閩と南唐との政治的相違が窺われる。この兩者の中間的な感じを與えるのが江西で、既に發表したので一言にとどめるが、唐末五代の亂に華北・華南より江西の北中部に徙つたものはかなりあり、土着のものも少なく

ない。その中には五代に武人として抬頭したものもあるが、南唐や宋に官となつて家を起したものが多い。

かく地域によつて違いがあつたが、これ等の官僚のうち五代或は宋初から宋末まで官戸として續いたものは必ずしも多いとはいえないようである。しかし宋の中頃まで續いたことの判るものはかなりあり、そのなかにも後まで續いたものもあつたと推察される。また、宋の中期以後の新興官僚には宋末まで續いたものが多く、それは當時の冗官の増加と相俟つて、科擧制のもとにありながらも宋末には尨大な官僚層の固定化をもたらし、それが社會の重壓となつた一端を物語る。またこれ等の新興官僚はおもに土地の收入及び高利貸的方法による新興地主が多く、代を重ねて學問をおさめ、儒教の生活倫理に則つて一家一族のみでなく餘力があれば郷黨の爲につくし、宋の中期以後南宋にかけては族的結合が強められ家系も重んぜられるに至り、婚姻による結びつき、優秀な新官僚との結婚も考慮された。福建福州の有力な陳氏・劉氏・陸氏等が姻戚關係にあり、江西の曾鞏・曾肇等を出して有名な曾氏が王安石の實弟安國の女を嫁に迎え、又河北出身の宰相王旦がその女を名臣范仲淹の子や新官僚韓億に嫁せしめた如きはその例である。

特別講演會

昭和三十四年十一月二十一日

「イラン發掘三十年」

佛國イラン考古學調査團長　ロマーニリギルシュマン

ロマーニリギルシュマン博士は、一九三〇—三一年、フランスの調査團の一員としてイランのテロ Tello の遺跡を

發掘したのをはじめとして、以後、イランのギヤン Giyan、テヘラン南方のシヤルク Sialk、ビーシャール Bichâpour、セイスタン東境のナディ＝アリ Nad-i 'Alī、カーフル北方のベグラーム Begram 等を發掘調査し、とくに一九四六年以後、スサ Susa 附近の發掘に任じ、マスヂディ＝スレイマン Masjid-i-Solaiman のアケメネス王朝初期の住居址、バフティアリ Bakhtriari 地方のタンギ＝バブダ Tang-i-Pabda の新石器時代の洞窟、イワーネ＝カルハ Eivan-i-Kerkha のササン朝都市址、チヨガ＝ザンビル Tchoga-Zanbil の紀元前十三世紀のエラムの王都の發掘などを續けて今日に至っている。博士は、これらの發掘にもとづいてクシヤンおよびエフタル民族史の研究を公刊し、いまやスサの發掘によつて西南アジア文化の始原を求めているが、そのイランの考古學的研究とともに歩んだ三十年の成果を顧みて、興味ある問題が語られた。なお、本講演は日本オリエント學會との共催によつて三越ホールにおいておこなわれたものである。博士の業績については、榎一雄「ロマーニギルシュマン博士の來朝——その人と業績の素描」(「日本オリエント學會月報」二卷九號) 參照。

昭和三十四年十二月五日

「スワットおよびパキスタンにおける發掘」

ローマ大學教授
東洋文庫名譽研究員
ジュゼッペ・ロトツチ

一九五九年、トゥツチ博士はパキスタン領スワット河流域地帯の考古學的調査をおこなつた。この地方は、チベットの文獻に記録されるウゲン國 Urgan、すなわちインド資料にあらわれる Udiyana 國である。八一—一〇世紀にかけてパドマサンバはじめ幾多の入藏密教學僧が出身した地として知名であり、中世インド・タントラヤーナの流傳

地域と目されていた處である。博士は該調査の結果獲られた貴重な蒐集資料について地域的説明、考古學的・文獻學的知識、イコノグラフィーなど縦横に驅使し、當時該地方に存在したタントラヤーナの生態をえがき、それと東インド地方のバジュラヤーナとの異同にまで論及した。

3 談話會

昭和三十四年四月十八日 「李朝の鷹房と鷹子進上」

田川孝三

この研究は、李氏朝鮮前半期における國設の機關としての鷹房と、人民に對する課役としての鷹の捕捉・進上の制度を研究したものである。鷹房は高麗の末、特に蒙古帝國に服屬していた時、もつとも盛大を極めたが、その末期には一旦廢止された。李朝の鷹房はこれを復活したものであるが、その機能の第一は、宗廟外、國王の始祖、王を祀つた祭殿に使用する供物、また王室食膳の資を鷹狩によつて捕獲・供給するにあつた。その第二は、國王を始め、その近侍の高官・貴族の遊獵のためであつた。然し高官・貴族すべてが許されたものではなく、鷹牌（木製漆塗の木牌）を支給して制限した。即ちこの鷹牌は特別に國王より鷹狩の特權を與えられたことを示すもので、王の信任寵愛を受けたものに限られ、社會的にも最も榮譽あるものとされた。

鷹を飼育し、これを放つて狩獵するには、特殊な専門的知識と技術が必要である。高麗以來、これを世襲的に職業とするものが居り、蒙古名 *Sibagoci* または生雁干・鷹師の名をもつて呼ばれていた。彼等は主として、半島北半部

に多く居住した。その中より、選拔されて鷹房に隸屬するものは、交替制で、上京して鷹房に出仕する義務が課せられていた。鷹隼は半島北半部で多く捕獲されたから、鷹房に使用するものはその地方最高文・武長官の責任において、人民に捕えさせ、王室に對する「進上」という制度のもとに供給された。後この進上の地域は明皇室に對する進獻が開始されるに及んで半島全域に擴大され、進獻が廢止されても、なおその地域は縮小されなかつた。

明皇室への進獻は一四二六年から一四六四年まで、三十八年間繼續した。その端緒は明宣宗の使として來た朝鮮出身の宦官尹鳳の要望・仲介によるということが出来る。宣宗は鷹隼を熱愛したから、朝鮮の進獻は最も彼の嗜好を満足させた。朝鮮王世宗は、異常な熱意を以てこの進獻に努力したが、それは、これによつて從來朝鮮が過重な負擔として苦しんで來た金・銀貢獻の免除を獲得しようと思われ、そしてそれは首尾よく成功した。こうして鷹隼は單に國內のみでなく、明との國際政治史上にも重要な問題を投じた。従つて朝鮮人の鷹隼に對する關心はこの時代に尤も強く示されたのも當然であらう。鷹隼は朝鮮語では普通 *mai* と總稱するが、その各種類の名稱は蒙古語がそのまま使用されていた。そして一四四四年、世宗の弟安平大君李瑋によつて鷹隼に關する專書が作られ、「鷹鵠方」と名づけられた。今日わが内閣文庫にその傳寫本が傳つてゐる。

昭和三十四年五月三十日 「平戸イギリス商館書翰の現存状態について」

岩 生 成 一

イギリス東印度會社は、一六一三年夏から一六二三年末まで約十年間に亘つて平戸に商館を經營したが、その間、本社とバンタン支社、または同商館から本社や支社宛、或は東亞各地の商館や日本各地駐在員間に取交わした書翰類

が、當時相當多數に上つていたことは、現存書翰のほか、書翰や商館日記中の記事から推定出来る。しかし會社の文書管理が初期の間ルースであつたために、今日ではかなり多く散逸してしまつたようである。それでもなお、一六二五年に出版された Samuel Purchas 編の航海記集から、一九三一年に出版された會社書記 Peter Pratt の遺稿日本史に到るまで十二種の關係出版書の中に約二百通登載されているが、そのうち一八九六年から一九〇二年に互つて Charles Danvers と William Toster 兩氏編輯の東印度會社書翰集に採録された一四二通以外は何れも殆んどその簡単な抄録に過ぎない。そこで一九三一二年と一九五五年の兩度渡歐の際、平戸商館關係書翰を網羅的に撮影筆寫することに努めて、今までのところ、連邦聯絡省記録課で Original Correspondence 中英文一九六通と和文九通、Public Record Office で四通、British Museum 古文書部では Cotton 文書中英文一三通と和文一〇通、Egerton 文書中二通の外、オランダ國ヘーグ國立中央文書館で關係文書六通を蒐集することが出来て、その合計は三一八通に上つているが、このほか、現存せず僅に Purchas の航海記集などに登載されたものなどを通計すれば、現在判明する平戸商館關係書翰の總數は三五〇通許りに上つている。此等の書翰を個人別に發信人と受信人とに別けて見れば、關係人員總數六二人中、商館長 Richard Cocks はさすがに發信一〇一通、受信四五通にして最も多く、次席 Richard Wickham は發信七一通、受信七五通、三浦按針は發信一五通、受信七通、東印度會社は受信四一通などである。また、これを發信地・受信地別に見れば、日本國內一一地、日本國外一三地の中で、平戸發信一六七通、受信九七通、江戸發信二九通、受信三五通、イギリス本國受信數七八通などがある。商館長コックスの日記は、初期二カ年間、末期二年八カ月間を缺いているので、此等の書翰はこの缺を補うことが出来、また相互を對照することに

依つて、平戸イギリス商館の經營の實態が明らかになる許りでなく、往々にして江戸幕府創草期の我が社會や政治の動きを伝える多くの貴重な史料をも拾うことが出来る。

昭和三十四年六月二十七日 「ミリンダパンハ考」

石 黒 彌 致

本書 *Milindapañha* は漢譯那先比丘經の相當經典で、メナンドロス *Menandros* 王とナーガセーナ *Nāgasena* との對話篇である。王は史上の人物で紀元前一六〇—一四〇年頃の者とされるが、比丘 *Nāgasena* の存在には何等の證據もない。從來王が佛教の外護者の如く説かれた理由として貨幣に法輪があり、タラミカ *dharmika* (持法者)、トラータタ *trādata* (救濟主) と刻したものがあつたのを挙げられたが、これらは當時何れの王にも普通に用いられたもので特例とはならない。その他舍利瓶が發掘されたが、これも王に歸せられる根據もない。本書の史的價值については、從來メナンドロス時代に僅かな原形があり、これを基として後に増廣したもののように説くが、私は當時の社會情勢や本書の内容の検討から、遙か後世に創作されたものであらうと思う。簡単に言えば、一、マウルヤ *Maurya* 王朝の没後 *Shunga*、カーンバ *Kāva*、アーンドラ *Andhra*、サカ *Saka*、パアラバ *Pahlava* 等の王朝が興亡していた亂世に此の書が完成したとは考えられない。二、本書には種々の經典が引用されているが、本書成立以前にかような經典が成立していたとは思えない。三、本書に説かれたような思想が王の頃にあつたとは思えない。四、本書の第二五頁—第八九頁が最初に創作されたというのは、うなづけるが、それは古くともサカ *Saka* 王朝のアゼス一世 *Azes I* (紀元前三八年頃即位) の頃で、これより早くはあるまい。五、漢譯に魏吳(二二〇—二六

五) 失譯の記録があり、譯語に後漢の安世高(一四八頃の人)の言葉が多く存していることから勘えて、これより百年前の成立と見るとカニシユカ Kanishka 王朝初期の頃に完成したものであると思う。従つて本書は一種のフィクションであると考ええる。

昭和三十四年七月二十五日 「秋官志の處罰事例に就いて」

森岡 康

秋官志は朝鮮に於ける最初で唯一の刑曹の統記で、刑曹の取扱う諸般事務並びに犯罪に對する處罰事例を分類編纂している。その成立に關する記事は李朝實錄には見出せないが、秋官志の卷頭の原序及び小識に據ると、正祖四年十月刑曹判書金魯鎮が員外朴一源に彙聚分類せしめた私撰の書であつたが、後六年および十五年に王旨により増重補が加えられ官撰の型となつた。當時文運一應の發展を遂げ、諸文化の統合整理の機運が動いて居り、本書も亦諸法典及び新教令頒發のため非常な不便を感じていた實務者の切實な要求に應え、刑政の指導書としてその便に供したものである。編成は天文説により二十四目に分け、大別して五編としている。ここに述べる處罰事例は第二編詳覆部に記載されている。これ等は從來各道から撰進し山積していた刑曹の謄錄類を始めて整理分類し、更に一つの意圖の下に撰録したもので、他編の事目類と共に李朝刑事法の沿革、裁判の實際を知る上に便利且つ貴重な資料である。處罰事例は處罰の實例としての犯罪の記録で獄案と呼ばれ、全部で二五四件を数え、概三覆を必要とする殺人事件である。その分布状態は、(一)地域的には八道に互り、(二)年代的には世祖・宣祖・仁祖・孝宗・顯宗・肅宗・景宗・英祖・正祖の各代に互るが、英祖以前は四七件に過ぎず、特に正祖朝は一八三件を占めている。(三)對人關係も親子・夫婦・兄弟姉

妹・主従・姻戚・朋友・男女（未知）等各關係のあらゆる場合を網羅し、殊に當時の庶民の家族構成等窺えて興味深い。④事件内容は少數の兩班を數える以外は總て奴婢をも含む廣義の庶民の犯罪で、中でも貧窮の極にまき起される農民の犯罪は、流民餓死者後を絶たぬ當時の社會情勢を反映し、田地、納税に絡る事件は政治とも直結してゆくが、その他の些細な事件も仔細に看てゆくと、實錄その他の記錄に窺い得ない庶民の意識と生活の實相を如實に傳えてくる。但しこれ等の事例は意識的に取捨撰擇されたもので、文章にも省略があるので、質的な検討の上からも同時代の同類事例を蒐集し、比較考察する必要がある。また正祖以後官撰・私撰の事例集及び各道謄錄の寫しも數種見られるが、秋官志は常にこれ等を研究する上の目安となつてゆく。以上の如く秋官志處罰事例は既に幾多の重要な問題をはらんでいるので、社會的背景の下、他資料の補助を得て綜合的に考察してゆけば、法制的立場を離れても史學上の貴重な資料として活用出来る事を確信する。

昭和三十四年九月十九日 「アメリカを巡りて」

末松保和

アメリカのロックフェラー財團は、日本の私立大學の經營者たちに、アメリカの私立大學經營の實際を見せて、日本の私立大學の發展に資したいと、一九五七年、はじめて日本の私立大學の經營に關係する人々十數人をアメリカにまねいた。一九五九年二月、その第二回の招きが來て、十三人の大學關係者と、文部省・參議院・衆議院から各一人、すべて十六人の一團が編成された。私は經營關係者ではないが、圖書館長の役職をもつて、その中の一員に加えてもらふことができた。

六月十九日出發、八月五日歸着。前後七週間にわたつて、十ばかりの大學を見學した。スタンフォード大學・パークレーのカリフォルニア大學・南カリフォルニア大學・クレアモント大學・レッドランド大學・シカゴ大學・シカゴ西北大學・アメリカン大學・ケンブリッジ大學・ハーバード大學・オマハ大學である。

スタンフォード大學は、我々の見學の勸進元で、そのため、はじめの二週間、そこで大學經營の基本問題に關する十四の講話をきいた。他の大學でも、必ずそれぞれの經營當事者の話をきき、しかるのちに實際の施設をみた。そして最後のオマハ大學では、折から開催の、大學經營に關する全米夏期講習會に参加し、一週間、二百五十人ばかりの會員にまじつて聽講させられた。

アメリカの私立大學は、日本の私立大學と基本條件が全くちがつているから、直接參考となるものはすくないと思つたけれども、全般の經營が、合理的・實用的で、しかも日ごとに改正・改善の努力を續けていることを、實地にみることでできたのは幸であつた。古くできた圖書館は、その大學の代表的建物らしく、最も金をかけたとみられるが、新しい圖書館はもつぱら利用度をたかめることに苦心して、代表的建物としての圖書館ではなくなつてゐるなど、學ぶべきことであつた。

昭和三十四年十月三十一日 「韻鏡の『清濁』と越南漢字音」

三根谷 徹

韻鏡は七音を細分するのに「清」「次清」「濁」「清濁」の標記を用いていた。これは、その順に、無氣無聲音、帶氣無聲音、有聲音、鼻音、の別を示していたと考えられている。但し、半齒音、半舌音と通稱される二欄と喉音にお

ける「清濁」の標記が例外となる。「清濁」は後に「次濁」と呼ばれるようになった。それは、中國語の聲調との關係において、「清」「次清」が高いグループ、「濁」「次濁」が低いグループと認められることによつて支障を來たさないのである。然るに越南漢字音にあつては次のような聲調の分布を示していることに注意すべきである。

	清	次清	濁	清濁
平	高	高	低	高
仄	高	高	低	低

この事實は、「清濁」という標記を聲調との關係において再考する必要があることを示唆するものではあるまいか。上の事實は、半舌音、半齒音及び喉音の喩母も、その例外とならない。なお、越南語化した漢語（漢字音と共存）において清濁の平聲が低い聲調をとるものが少なくないことも別途に考慮さるべきである。

昭和三十四年十一月二十八日 「トルコ共和國におけるチュルク民族史研究——イスラーム化以前——」

護 雅 夫

「一」 まず、アンカラ大學言語・歴史・地理學部、イスタンブール大學文學部における、チュルク民族史・チュルク語に關する講義題目を紹介した。

「二」 イスラーム化以前のチュルク民族史の研究において、最も重要な史料は、いうまでもなく漢文史料であるが、トルコ共和國には、その漢文史料を自由に驅使しうる研究者は非常に少ない。

〔三〕 アンカラ大學で、かつて漢文―中國語を教えた Eberhard, W. および Gabain, A. von の、イスラーム化以前のチュルク史に關する論文・著書は、多くトルコ語に翻譯されている。

〔四〕 現在アンカラ大學で漢文―中國語の教授にあたつてゐる Muhaddere Özerdim 女史は、一昨年から昨年にかけて台灣に留學し、漢文史料をトルコ語に翻譯している。

〔五〕 Bahaddin Ögel 助教授は、Eberhard から漢文―中國語を學び、漢文史料を使って、匈奴・突厥・ウイグル史を研究している、トルコ共和國における唯一人の學者である。目下、ハンプルグで、Gabain 女史についてウイグル語を學んでいる。

〔六〕 イスタンブル大學では、中國人回教徒（台灣）、Celâeddin 王曾善氏が漢文―中國語を講じ、數人の學生がついて學んでいるが、まだ、漢文史料を驅使しうるものは出ていない。その學生の一人 Gillsen 嬢は、カラキタイ史に關する卒業論文を執筆中であるときいている。

〔七〕 イスタンブル大學、「トルコ一般史」料の主任教授 Zeki Velidi Togan は、自身で漢文は讀めないが、その翻譯を通じて、イスラーム化以前のチュルク史についても、獨特の見解をもち、その一部を、Umumi Türk Tarihine Giriş（トルコ史概説入門）などに収めている。

昭和三十五年一月三十日 『社に對す』ことについて

宇都木 章

中國古代における傳統的支配者層の政治的支配體制は、宗族制度に基いて整備された禮制によつて理論づけられて

いた。しかるに宗族制度は元來、封鎖的性格を有し、異姓族團を排除する傾向を有したから、宗族制が宗法として確立しつつ、同時に異族の集團との接觸が廣まるにつれて、新たな支配原理が要求されねばならなかつた。すでに殷代における社を中心とする四方神の祭祀はその具體的な萌芽であつたと思われるが、殊に春秋時代以降、君主の領土的支配の觀念が發達するにつれて、この社祭の政治思想上の意義は増大した。こうした點から「周禮」制度中の社祭の政治的機能を考えると、(一)大社——宗廟とともに國家の政治的支配のシムボルとして登場。(二)外朝の社——國人の集會所と同時に被支配層の裁判・刑罰の場所として登場。(三)地方村落の社——人民統治の末端機關として登場。以上の三つに大別できる。

この周禮中の社の政治的機能の意味するところは、民間聚落における傳統的社祭が、宗法制的政治支配組織中に組みこまれた結果、それが宗法制的支配原理の枠をはみ出した異類・萬民の政治的支配の爲の重要な原理として構想されるようになったことを示すにはかならないと思われる。「社に戮す」という禮の定めは、この間の事情を物語っているものであるといえよう。

昭和三十五年二月二十七日 「一田兩主制と頑佃抗租との關係について」

田中正俊

一田兩主制とは、土地所有が上地の所有と底地の所有とに分化し、上地の所有者は底地の所有者の認可なしに、土地を賣買・譲渡できるという、一地についていわば二重所有ないし分割所有關係が維持される慣行であつて、十四・五世紀以降の華中・華南におこなわれたものである。また、宋代以降、「頑佃抗租」として記録されている抗租とは、

佃戸が地主に對し、前近代的な小作料をめぐつておこなう抗争である。

宮崎市定氏は、一四四八年の福建の鄧茂七の農民暴動の結果、一田兩主制が成立したと考えられ（『中國近世の農民暴動』東洋史研究、一〇卷一號）、故清水泰次氏は、一田兩主制の原因を一五六八年直前の福建における暴動に求めておられる（『明代福建の農家經濟——特に一田三主の慣行について——』史學雜誌、六三編七號）。ところで、一田兩主制と農民暴動との關係を、このような直接の因果連關におくことは、果して正しいであろうか。

また、傳衣凌氏によれば、一田兩主制の成立は、永佃權の成立であると單純にいうことは出來ず、詭寄・包庇などの手段による不當な取得の結果であり、ないしは寄生的な高利貸資本の農村經濟——土地所有に對する侵蝕の結果であるから、この不合理な小作關係は、農民經濟の資本主義的な發展を阻害し、農村の生産力を萎縮せしめる、といわれる（『福建佃農經濟史叢考』福建協和大學文史叢刊、二、一九四四年）。農村の社會關係を一田兩主制という「制度」の側面から見る限り、この見解は正しいであろう。しかし、制度的側面からのみ固定的に規定するそのような規定の方法そのものが、いわゆる一田兩主的關係の歴史的發展——すなわち解體——の契機を究明し得ざらしめる限界を有するのではなからうか。

以上のような批判にもとづき、一田兩主制のもとの直接生産者農民と田面權所有者——それはしばしば從來の地主——佃戸間に單なる收租權者として介入する場合が多い——との直接的な地代關係を分析した。この收租權としての田面權の成立は、直接生産者における生産力の發展——それは單純商品生産の展開をとまなう——に即應する地主的收奪の形態轉化であり、矛盾の深刻化である。直接生産者における生産力の發展とこれに對應する地主收奪の強化

——この緊張關係の激化に「抗租」の必然性があり、かかる抗租運動の發展が、一田兩主制の解體を含む、地主——佃戸關係の自己否定を、歴史的成果として産むのである。

4 展 示 會

第四十五回展示會 昭和三十四年五月二十三日 二十四日

東方學會の東方學者會議に協力して、國立國會圖書館支部東洋文庫の主催のもとに、國書二點、洋書一三點、漢籍三四點、計六九點を展示し、國立國會圖書館の援助によつてその解説附展示目錄を印行した。

第四十六回 東洋文庫開設三十五週年記念 展示會 昭和三十四年十一月九日 十日

財團法人東洋文庫開設三十五周年に當つて、モリソン關係資料・モリソン文庫本・岩崎文庫本のほか、とくにマルコリボーロ關係文獻（榎一雄氏解説）、および東洋文庫近代中國研究委員會委員佐々木正哉氏が蒐集した英國國立文書館藏清代排外運動資料（同氏解説）を展示し、國立國會圖書館の援助によつて解説附展示目錄が印行された。

5 圖書收藏・閱覽

財團法人東洋文庫は、モリソン文庫を基礎とする洋書約三〇萬冊、岩崎文庫を主とする和書、地方志・族譜等を含む漢籍、その他朝鮮本・滿洲本・蒙古本・安南本・西藏本・梵本・暹羅本など約五〇萬冊、貴稀書の寫眞、ロートグラフ並びにマイクロフィルム約一〇萬齣を所藏しており、本年度の新收圖書・資料は次の如くである。

	和書	中國書	朝鮮書	洋書	計
單行本	一九八部	一三二部	八五部	三九三部	八〇八部
定期刊行物	一九二部	六七部	一九部	一三九部	四一七部
マイクロフィルム					二九二、八三七齣

圖書閱覽の事務は、現在のところ國立國會圖書館支部東洋文庫が管掌しており、昭和三十四年四月以降、三十五年三月に至る閱覽概況は左の通りである。

閱覽日數	二九六日
閱覽者數	三、九三六八
閱覽圖書數	六九、八〇五冊
考查件數	二〇三件

なお、國立國會圖書館支部東洋文庫の圖書閱覽規則は左記の如くである。

國立國會圖書館支部東洋文庫圖書閱覽規則

(圖書の閱覽のできる者)

第一條 國會議員、及び東洋學を研究しようとする者で國立國會圖書館長又は東洋文庫長が適當と認めた者は、この文庫の圖書その他の圖書館資料(以下圖書という)を閱覽することができる。

(閱覽時間)

第二條 圖書の閱覽時間は、午前八時四十分から午後四時三十分までとする。

(閱覽を行わない日)

第三條 この文庫は、次の各號の場合には閱覽業務を行わない。

一 日曜日及び祝日

二 木曜日の午後

三 國立國會圖書館長が臨時に必要と認めた場合

(閱覽料)

第四條 圖書の閱覽は無料とする。

(閱覽手續)

第五條 圖書を借り受けるには、申込票に所定の事項を記入して文庫に提出し、圖書閱覽票の交付を受けなければな

らない。

第六條 閲覧者は、文庫職員の指示に従い、所定の閲覧室において閲覧しなければならない。

(施設等の參觀)

第七條 この文庫の施設または圖書の參觀を希望する者は、文庫長の許可を受けなければならない。

(庫外貸出)

第八條 この文庫の圖書は、庫外貸出を行わない。

(利用の制限)

第九條 1 この文庫の規則又は指示に従わない者若しくはその他の不都合の行爲をした者に對しては、文庫の利用を停止又は禁止することがある。

2 他人に迷惑を及ぼすおそれがある者に對しては、入庫を拒否する。

(亡失、毀損等の處置)

第十條 圖書を亡失又は毀損した者は、指定の圖書を代納するか、又は相當の代價を辨償しなければならない。閲覧票の紛失によつて生じた損害についてもまた同様とする。

附 則

この規則は公示の日から施行する。

6 資料 複 寫

資料複寫事業には、東洋文庫がみずからの所藏資料を一層充實せしむるためにおこなうものと、廣く内外研究者・研究機關の閱覽・利用の便に供するためおこなうものがある。前者については、昭和二十八年以來、文部省科學研究費交付金を受けておこなわれた大英博物館藏スタイン博士蒐集敦煌文獻のマイクロフィルムをはじめ、從來缺漏のあつたノースリチャイナリヘラルドのマイクロフィルムなど、多くの貴重資料が著々この事業を通じて蒐集せられてきたが、本三十四年度には、機關研究「中世以降における東アジア諸地域の貴重文獻の整理研究」にもとづいて、蓬左文庫および内閣文庫藏朝鮮本二二六、八〇七齣、米國國會圖書館藏舊北京圖書館善本六六、〇三〇齣を收め、また内外に對する資料複製サービスについては、本年度、東北大學より依頼のあつた敦煌文獻四七〇冊分のほか、マイクロフィルム撮影一三、〇〇〇齣、引伸一九、一〇〇枚、計二九〇件を扱つた。

なお、寫眞撮影規定は左記の如くである。

東洋文庫寫眞撮影規定

A

一、東洋文庫所藏圖書の寫眞撮影を希望する場合は、豫め圖書撮影申込書を提出して、その承認を得る必要がありす。

二、承認を得た圖書は東洋文庫當事者がこれを撮影し、その焼付印畫紙またはポジ・フィルムを交付します。
三、ネガ・フィルム或は乾板は、別に定むる所により交付します。

B

一、東洋文庫所蔵本以外の圖書の寫眞撮影を希望する時は、Aの第一條に準じ豫め圖書撮影申込書を提出してください。

二、右圖書の撮影は文庫當事者がこれを行い、希望によりフィルム（ネガ、或はポジ）または焼付印畫紙の交付に應じます。

三、撮影料は普通圖書マイクロフィルム撮影料金に準じます。印畫紙焼付料金も亦これに準じます。

寫眞撮影料金

A 研究者用

一、撮影料

普通圖書マイクロフィルム撮影

一コマ

一〇圓

但し、最初の五コマまでは

一五〇圓

貴重特別圖書マイクロフィルム撮影

一コマ

一五圓

但し、最初の五コマまでは

二五〇圓

カットフィルム、乾板（キャビネ版・密着一枚付）

一枚 四〇〇圓

ボジ・フィルム焼付

製 本

二、印畫紙焼付

CH、手札

CH、キヤビネ

CH、A 5

CH、A 4

CH、B 5

CH、A 4 (袋綴)

CH、A 3

有光紙 手札

キヤビネ

八切

四切

密着 (棒焼)

一呎

但し、最初の二呎までは

二五圓

一五〇圓

二一〇圓

一枚 一〇圓

一枚 一五圓

一枚 二〇圓

一枚 五五圓

一枚 四五圓

一枚 七〇圓

一枚 一三〇圓

一枚 二〇圓

一枚 五〇圓

一枚 八〇圓

一枚 二五〇圓

一枚 一〇圓

三コマ

B 業 者 用

敦煌文獻		
有光紙	CH、 A 5	CH、 A 4
キャビネ	キャビネ	
一枚	一枚	一枚
八〇圓	三五圓	一一〇圓

一點につき基本手數料

五〇圓

貴重特別圖書一冊につき基本手數料

一〇〇圓

寫 眞 (有光紙)

手札

一枚

一〇〇圓

キャビネ

一枚

一五〇圓

八切

一枚

二〇〇圓

(但し、以上の價格は時價によつて變更する場合がある)

7 情 報 連 絡

國內國外の東洋學研究の狀況を明らかにし、かつ内外の各學會・研究機關・研究者相互の連絡に任ずることは、わが東洋文庫がその世界學界に占める傳統的な實績にもとづいて寄與すべき重要な事業であるが、昭和三十四年度にお

いては、海外學界との間に左表のような調査連絡をおこなつた。

ヨーロッパ				アジア					地域	項目 (件)
フランス	オランダ	ドイツ	イギリス	その他	香港	インド	韓國	中華民國	中華人民共和國	
四	一	二	二六	六		二	一七	四	三	圖書關係
六	九	一一	四二	四	二	五	一四	五	一六	出
一				一	五					寫眞關係
				三	五					出
		二						一		學術關係
三	二	一	九		二	四		一		出
五	一	一四	二六	七	五	二	一七	五	三	計
九	一一	一二	五三	七	九	九	一四	六	一六	出

合 計	ア メ リ カ 合 衆 國	ヨーロッパ	
		そ の 他	ソ ヴ エ ト
一一六	二四	二	一五
一五五	二七	九	五
一一	四		
一九	八		一
一三	一〇		
二五	三		
一四〇	三八	二	一五
一九九	三八	九	六

五 研究活動

1 研究者養成

東南アジア・インド・イスラム諸地域に關する研究は、從來、わが國において必ずしも十分でなかつた。ことに、この方面の研究には特殊な言語を習得する必要がある、そのうえ資料の整備もはなはだ困難であつて、その重要性にかかわらず、今なお未開拓な分野が多い。戦前からこの方面の資料を整え、またその研究をも併せおこなつてきた東洋文庫は、この現状にかんがみ、昭和三十一年度より文部省の補助を得、戦前におこなわれていた研究生養成制度を復活した。文部省およびハーヴァード・エンチン研究所の補助金による本年度の研究生は左記の通りである。

「中國社會經濟史の研究——特に宋代の商業史的研究を中心として——」 斯波 義 信

「近世東南アジア貿易史の研究——オランダ東印度會社の活動を中心として——」 永 積 昭

「唐代社會經濟史研究」 池 田 溫

「近世インド土地制度史」 高 畠 稔

「チベット語學研究のため在佛」 山 口 瑞 鳳

「蒙古史研究のため在米」 岡 田 英 弘

2 機關研究

研究課題「中世以降における東アジア諸地域の貴重文獻の整理研究」

研究擔當者 岩井大慧

研究協力者

今井吉之助（尊經閣文庫長） 榎一雄（東京大學教授） 織茂三郎（蓬左文庫主任） 金倉圓照（東北大學教授）

河野六郎（東京教育大學教授） 末松保和（學習院大學教授） 鈴木俊（中央大學教授） 田川孝三（東洋文庫員）

田村實造（京都大學教授） 塚本善隆（京都大學人文科學研究所教授） 長澤規矩也（法政大學教授） 仁井田陞

（東京大學東洋文化研究所教授） 福井康順（早稻田大學教授） 藤田亮策（奈良國立文化財研究所長） 松本信廣

（慶應義塾大學教授） 宮崎市定（京都大學教授） 山本達郎（東京大學教授） 吉川幸次郎（京都大學教授） 米

山重太郎（靜嘉堂文庫長） 和田清（東京大學名譽教授）

東洋學に關する文獻のマイクロフィルム・センターとして、内外の研究者・研究機關の要請に應ずるため、東洋文庫は、文部省科學研究費交付金（機關研究）を得て、十七世紀以前に撰述刊行された貴重朝鮮本、米國國會圖書館藏舊北京圖書館善本のマイクロフィルム撮影並びに整理をおこなつた。その結果、朝鮮本については、名古屋蓬左文庫所藏のいわゆる駿河御讓本を中心として一三八部・一、三五五冊（八九、一四七齣）、内閣文庫藏古刊本一九八部・一、八八二冊（一三七、六六〇齣）をマイクロフィルムに撮り、靜嘉堂文庫その他の機關に收藏される朝鮮古刊本の

調査をおこなった。また米國國會圖書館所藏の中國書については、そのうちすでにマイクロフィルム化せられたものについて『擬備中國書目』を編纂し、これにもとづいて九三リール・九、三〇〇フィート（六六、〇三〇匁）のボジ・フィルムを作製した。なお、朝鮮本マイクロフィルムのネガ・フィルムは、それぞれ蓬左文庫および内閣文庫に納め、ボジ・フィルムのみを東洋文庫に収集した。

3 職員の研究業績

和田 清

（編書）『宋史食貨志譯註』（東洋文庫、昭和三十五年三月）

岩井 大慧

（論文）「岩崎文庫本『宋板儀禮』について」（『文獻』創刊號、昭和三十四年五月）

「ラウレス神父を偲びて」（『キリシタン文化研究會會報』復刊三輯一・二合併號、昭和三十四年十月）

「各國の西域探検と佛教」（『大東急記念文庫文化講座シリーズ』一〇、昭和三十四年九月）

「明史朝鮮傳有頭注日本復刻本について」（『朝鮮學報』一四輯・高橋亨先生頌壽記念號、昭和三十四年十月）

「支那という呼稱について——決して輕蔑の賤稱ではない——」（『青淵』一二八號、濫澤龍門社、昭和三十四年十一月）

「各國の西域探検と佛教」(上)〔駒澤史學〕八號、昭和三十四年十二月) 前記「大東急記念文庫文化講座シリーズ」
一〇を増補したもの

「燐光塗料の發明は一千年前の日本人だ」〔日本歴史〕一三九號、昭和三十五年一月)

「宗教界の新傾向、ラマ教」〔圖說世界文化史大系〕18〔中國IV〕、角川書店、昭和三十五年一月)

「特殊文庫のあり方」〔日本古書通信〕復刊一九一號、昭和三十五年三月十五日)

(講演) 「各國の西域探検と佛教」(大東急記念文庫文化講座、昭和三十四年九月十二日)

岩 生 成 一

(編書) 『十七世紀臺灣英國商館貿易史料』(臺灣研究叢刊 第五七種、臺北 臺灣銀行、一九五九年十一月)

Japans Dagh Register gehouden in't Comptoir Nangasaki, 1826~28. 3 vols. 1960. (『磯長崎』)

ランダ商館日記』日蘭交渉史研究會)

(論文) 「日本最初の西洋學會會員——桂川甫賢傳補遺」〔日本歴史〕一三六號、昭和三十四年十月)

「天理圖書館所藏出嶋商館文書について」〔ビブリア〕一五號、昭和三十四年十月)

(講演) 「平戸イギリス商館書翰の現存状態について」(東洋文庫談話會、昭和三十四年五月三十日)

石 黒 彌 致

(編書) Authors Index to a Clissified Catalogue of Books in Foreign Language in the Toyo Bunko,

Vol. VI: Section XVII, Japan. (1917~1956). Published by the Toyo Bunko, Br. N. D.

L, 1959. The Toyo Bunko Publications, Ser. E. No. 31.

末松保和

(譯書) 金錫亨著『朝鮮封建時代農民の階級構成』(學習院東洋文化研究所、昭和三十五年三月) 李達憲氏と共譯

(論文) 「史料解説『高句麗好太王碑文』」(『歴史教育』七卷四號、昭和三十四年四月)

「朝鮮史」(『日本における歴史學の發達と現狀』、昭和三十四年八月)

「高句麗四十二都府考略」(『朝鮮學報』一四輯、昭和三十四年十月)

「推古朝の外交」(『歴史教育』八卷三號、昭和三十五年三月)

(講演) 「アメリカを巡りて」(東洋文庫談話會、昭和三十四年九月十九日)

榎 一 雄

(論文) The Yüeh-shih-Scythians Identity—A Hypothesis—(International Symposium on History of Eastern and Western Cultural Contacts, Collection of Papers presented, compiled by the Japanese National Commission for UNESCO. November, 1959).

「所謂シノロカロシユテイー錢について」(『東洋學報』四二卷三號、昭和三十四年十二月)

(雜報) 「イスラーム總説」(『世界史大系』七、イスラーム、誠文堂新光社、昭和三十四年六月)

「西アジアの前イスラーム世界」(同右)

「ロマン・リギルシュマン博士の來朝—その人と業績の素描」(『日本オリエント學會月報』二卷九號、昭和三十四

年九月)

「(インド) 西北諸民族の活躍」『世界史大系』六、インド、誠文堂新光社、昭和三十四年十二月)

「マルコポーロ關係文獻解説」(第四十六回・東洋文庫開設三十五周年記念展示目錄、昭和三十四年十一月九・十日)

(書評) 「レーヴェンタール氏編『中央アジア叢刊』」(『東洋學報』四二卷一號、昭和三十四年六月)

「プラノリカルピニ・ルブルック關係の近刊書」(同右)

(講演) 「裴子野の方國使圖と梁書滑國傳」(東京大學東洋史談話會、昭和三十四年四月二十五日)

河野 六郎

(論文) 「再び『東國正韻』に就いて」(『朝鮮學報』一四輯、昭和三十四年十月)

(講演) 「朝鮮語の母音調和」(東洋文庫東洋學講座、昭和三十四年六月二十四日)

關野 雄

(論文) 「墳墓の構造(漢—五代)」(『世界考古學大系』7「東アジアⅢ」、平凡社、昭和三十四年八月)

「先秦時代の農耕具」(『日本考古學協會第二四回研究發表要旨』、昭和三十四年十月)

「新耒耜考」(『東洋文化研究所紀要』一九、昭和三十四年十二月)

「新耒耜考餘論」(『東洋文化研究所紀要』二〇、昭和三十五年三月)

田川 孝三

〔論文〕「李朝の鷹房と鷹子進上」〔朝鮮學報〕一四輯、昭和三十四年十月

〔講演〕「李朝の鷹房と鷹子進上」〔東洋文庫談話會、昭和三十四年四月十八日〕

「竹島問題とその歴史」〔友那協會講演、昭和三十四年七月一日〕

「李朝の王室財政」〔朝鮮學會第十回大會研究發表、昭和三十四年十月十八日〕

三根谷 徹

〔論文〕「言語」〔現代文化人願學〕2〔人間の文化〕、中山書店、昭和三十四年十二月

〔講演〕「韻鏡の『清濁』と越南漢字音」〔東洋文庫談話會、昭和三十四年十月三十一日〕

森岡 康

〔講演〕「秋官論の處罰事例に就いて」〔東洋文庫談話會、昭和三十四年七月二十五日〕

山根 幸夫

〔論文〕「讀書セミナー、東洋史」〔週刊讀書人〕三一〇號、昭和三十五年二月一日

〔書評〕「江蘇省明清以來碑刻資料選集」〔東京大學東洋史談話會、昭和三十五年二月二十日〕

今堀誠二「十六世紀以後における合夥の性格とその推移」〔清代における合夥の近代化への傾斜〕〔法制史研究〕一〇、昭和三十五年三月

堀 敏 一

〔論文〕「藩鎮親衛軍の權力構造」〔東洋文化研究所紀要〕二〇、昭和三十五年三月

〔講演〕「中國史時代區分の諸論點」(お茶の水女子大學讀史會、昭和三十四年六月二十七日)

宇都木 章

〔講演〕「『社に戮す』ことについて」(東洋文庫談話會、昭和三十五年一月三十日)

田中正 俊

〔講演〕「福建永安縣の賠田文書について」(中國農村慣行研究會、昭和三十四年五月二十六日)

「中國近代經濟史の方法について―體系化の試み―」(早稻田大學歷史學研究會、昭和三十四年十月二十三日)

「一田兩主制と頑佃抗租との關係について」(東洋文庫談話會、昭和三十五年二月二十七日)

松村 潤

〔論文〕「トルコの文學」(『世界史大系』七、イスラーム、誠文堂新光社、昭和三十四年六月)

「讀書の槩―第七卷、イスラーム―」(『世界史大系月報』一三號)

斯波 義信

〔編書〕『宋史食貨志譯註』(『東洋文庫、昭和三十五年三月〕 食貨志研究會の一員として、周藤吉之・中嶋敏・青山定雄の

諸氏と共同執筆

〔書評〕「宋史研究會編『宋史研究集』第一輯」(『東洋學報』四二卷一號、昭和三十四年六月)

「劉子健 James T. C. Liu: Reform in Sung China, Wang An-shih and his New Policies.

1959.」(『東洋學報』四二卷三號、昭和三十四年十二月)(東京大學東洋史談話會、昭和三十五年一月二十三日)

永 積 昭

(論文) 「パタニ國の王統について——十七世紀のパタニ國(I)——」(『南方史研究』一、昭和三十四年六月)

「オランダ人自由市民の東洋貿易」(『史學雜誌』六九編二號、昭和三十五年二月)

池 田 溫

(論文) 「唐代の那望表——九・十世紀の敦煌寫本を中心として——」(『東洋學報』四二卷三、四號、昭和三十四年十二月、

昭和三十五年三月)

「一九五八年の歴史學界——東洋史(魏晉南北朝・隋唐)——」(『史學雜誌』六八編五號、昭和三十四年五月)

「正倉院戶籍調査概報」續二(『史學雜誌』六九編三號、昭和三十五年三月)

高 畠 稔

(論文) 「十八世紀後期におけるベンガル地方の農民 Ra'iyat 層について」(『史學雜誌』六八編一〇號、昭和三十四年十

月)

「永代定額地租査定以前のザミーンダールについて」(『東洋學報』四二卷二、三號、昭和三十四年九月、十二月)

4 各種委員會

東洋學連絡委員會

研究連絡組織の確立や共同研究の推進等々、學術體制緊密化の要請は、戰後學界に見られる世界的な現象であるが、戰前からその研究事業に國際的規模の實績をあげてきた我が東洋文庫は、このような機能をますます發揮し、民間研究機關としての自由な立場から東洋學の振興に貢獻すべく、昭和三十三年より、廣く代表的東洋學者に委嘱して東洋學連絡委員會を組織し、文庫の研究事業に關する助言を得ることとなつた。

本三十四年度の東洋學連絡委員會は、六月十九日、十一月二十四日の二回に互つて開催され、東洋文庫事業計畫とその運営に關して協議がおこなわれた。

敦煌文獻研究連絡委員會

一九五四年、榎一雄氏らの盡力により、大英博物館所藏スライン將來敦煌文獻全部のマイクロフィルムが我が國に齎されて以後、敦煌文獻の整理・研究促進のため本委員會が東洋文庫内に設置された。本年度は左記の事業をおこなつた。

○資料蒐集

中華人民共和國國立北京圖書館の好意により、同館所藏敦煌寫經のマイクロフィルム三三本（計三、一〇〇餘點、敦煌劫餘錄の配列に従い、華嚴經より大般若經卷四二五迄を含む。同館藏敦煌寫經全體の約 $\frac{1}{3}$ に當る。）を贈られた。また慶應大學圖書館所藏ベリオ敦煌文獻寫眞三九點の撮影焼付をおこなつた。

○資料サーヴィス・整理

昨年度に引續き、スタイン敦煌文獻全體の焼付セットを作製し東北大學に送附しおわつた。なお、スタイン漢文文獻に關しては、分類カードの整備を推進した。

○研究

鈴木俊氏を代表者とする総合研究が進められ、スタイン敦煌漢文文獻分類目錄の原稿（藤枝晃氏らによる佛典の經部）が完成された。

宋史提要編纂協力委員會

一九五四年九月の第七回青年シナ學者會議に際し、宋代史研究の國際協力機構として宋史提要編纂會 Sung Project を設けることが決定され、つとに宋代史研究のすぐれた業績を挙げつつあるわが學界に對して、日本學術會議を通じて協力を要請してきた。昭和三十年六月、わが國においても關係者間に、この國際協力事業に積極的に參加する議が熟し、宋史提要編纂協力委員會が設けられ、活動が開始された。當初は、文部省總合研究「宋代史の基礎的研究」班に事業の一部を委託していたが、日本學術會議の要望にもとづき、事業を一層成果あらしめるため、同委員會は、昭和三十一年度より東洋文庫内に附設されることとなつた。本年度においては、(一)宋代研究文獻提要の編纂、(二)宋代政治史年表の作製、(三)宋代主要文集索引の作製、(四)宋代關係地圖作製（宋代行政區劃圖・宋代產業分布圖）、

(㉒)昭和三十四年度宋代研究文獻目錄カードの作製、等が宋代研究を推進する基礎的事業として計畫された。(㉓)は予定の如く本年度をもつて編纂を完了し、昭和三十六年六月、東方學研究日本委員會の補助金により刊行される。さらに、先に刊行された目錄に洩れたもの、及び昭和三十一年・三十二年度における宋代研究文獻の目錄及び提要をも作製し、目錄は「宋代研究文獻目錄補篇」として謄寫印刷に附した。(㉔)・(㉕)・(㉖)は新規事業であるが、カード作製等に必要な準備を終り、政治史年表及び宋代主要文集索引の一部カードの作製に着手し地圖の撮影もおこなつた。(㉗)の昭和三十四年度宋代研究文獻目錄は、三ヶ月毎の速報としてバリの *Sung Project* に送るとともに、國內の宋代研究者にも配布している。このほか、中國における宋代關係文獻の目錄カードを作成中である。

明代史研究委員會

かねてよりアメリカではハーヴァードの Fairbank 教授、プリンストンの Mote 教授らを中心に、一九四三年に刊行された *Eminent Chinese of the Ch'ing Period* に倣ひ明代の傳記辭典の編纂が企畫され、一九五八年夏、Fairbank 教授より和田清博士にこの計畫に對する協力の要請があつた。一九五九年秋、この事業を進めるための基礎的作業として日本人・中國人による明代に關する研究文獻の目錄の作製を依頼された。そこで和田博士の指導の下に山根幸夫・田中正俊研究員らを中心に明代史研究委員會を組織し、アメリカの *Ming Biographical Dictionary* との協力體制をつくつた。一九六〇年二月にはちょうど京都に留學中のコロンビア大學の De Vary 教授

が文庫を訪れ、文獻目錄に關する詳細な打ち合わせをした。この目錄は辭典編纂の便に供するため、各論文にあらわれる明代の重要人名の索引を伴なつたもので、そのためには一々原論文と照合しなければならず、かなりの難事業であるが、一九六〇年の末までに一應完成の予定である。

本委員會はまたアメリカ側との協力だけではなく、わが國における明代史研究を推進するため「日本現存明代地志目錄」「日本現存明人文集目錄」「明代督撫年表索引」「Eminent Chinese 漢名索引」などの編纂を企畫している。そのほか文庫の機關研究の一部として米國國會圖書館より購入した北京圖書館善本のマイクロフィルムのうち、明代に關する文獻を整理して解説目錄を作製する豫定である。

清代史研究委員會

第一期の研究計畫としては、清初史とくに清朝成立過程の研究に重點をおき、清初史料の整理にあたつた。

①三十六年度に刊行を豫定している「滿文老檔Ⅴ（太宗Ⅱ）」の原稿作成のため、太宗の天聰五年正月より天聰末年に至るまでの、二十八卷のローマ字轉字並びに譯註を作成した。②清太宗實錄の諸本の異同を校勘し、その中に現れる固有名詞の索引作成を行つた。③清初の傳記集の中において、もつとも重要な資料である、「八旗通志初集」・「欽定八旗通志」の索引カードの作成、とくに前者については、天理大學所藏の滿文本を併せて整理にかかつた。④滿文老檔の用語は、滿洲語の最古の形を保存し、言語學上多大の價值がある。將來においては滿文老檔辭典とでもい

うべきものの編纂を考えているが、まず清朝で編纂された満洲語辭典類の收載語を整理することとし、「舊清語」「大清全書」の單語カードの作成にあたっている。

近代中國研究委員會

この委員會は、和田清博士・山本達郎教授を中心として、昭和二十八年から設立の準備が進められ、翌二十九年十一月、ロックフェラー財團の財政的援助を得て、正式に發足した。その目的とするところは次の二點にある。(一)できるだけ廣く異つた分野の研究者を集め、政治的偏見をはなれて、實證的研究をする、(二) 日本における研究の實情を歐米諸國に紹介するとともに、歐米諸國における近代中國研究の實情を學ぶ。(三)の目的のためには、二十五名の研究員がそれぞれテーマを定めて研究に従事し、月二回研究會を開いて意見の交換を行い、その成果は「近代中國研究」に發表してきた。(四)の目的のためには、毎年一名の研究員を歐米に派遣してきた。昭和三十四年度の研究會および刊行物は次の通りである。また、昭和三十四年十一月、衛藤藩吉委員、三十五年一月、村松祐次委員がそれぞれ歐米に學んで歸國した。

昭和三十四年度定例研究會

昭和三十四年

四月二十五日「パブリック・レコード・オフィスについて」

佐々木 正 哉

五月九日 昭和三十四年十一月以降の計畫についての相談會

五月三十日 前回と同じく新計畫についての相談會

六月十三日 新研究テーマの研究方法についての相談會

六月二十七日 「近代中國の政治思想」

七月十一日 A・エクスタイン氏を招いて懇談會

九月十二日 「近代中國研究第三輯」合評會

九月二十六日 野村浩一 「近代日本における儒教思想の變遷についての覚え書」合評

「近刊史料集の紹介」

市古宙三

十月十日 研究會のこれまでの活動と今後のあり方についての相談會

十一月十四日 衛藤藩吉氏歸國報告

昭和三十五年

一月二十三日 科學研究費申請の件に關しての相談會

二月十三日 村松祐次氏歸國報告

昭和三十四年度刊行書

○『日本主要研究機關圖書館所藏中國文新聞雜誌總合目錄』 B5版 八七一頁

○『近代中國研究』第三輯 A5版 三四九頁 英文要旨二三頁

野村浩一

「北京における對露交渉機構の變貌―天津條約（一八五八年）調印から一八六〇年五月まで―」

坂野 正 高

「同治年間の陝甘の回亂について」

中 田 吉 信

「順德縣鄉紳と東海十六沙」

佐々木 正 哉

「近代日本における儒教思想の變遷についての覚え書」

野 村 浩 一

中國文雜誌論說記事目錄

○『近代中國研究委員會收書目錄』 邦文の部、華文の部 昭和三十四年五月一日現在 A5版 一九頁、二一

頁

イスラム研究委員會

アジア地域の基礎的研究に對する要望にこたえて、文部省科學研究費の總合研究に、昭和三十三年度からいわゆる別枠として「アジア地域の社會・經濟構造」が認められ、十七の分擔研究課題のもとに總合研究が進められることとなつた。東洋文庫内にもその一環として、アジア地域總合研究施設が設けられ、榎一雄研究員を代表者とし、イスラム地域の専門の研究者を動員して、分擔課題「イスラム諸國の社會構造の研究」を進めることとなつた。

本年度も昨年度に引續き、この總合研究の一環として、「イスラム諸國の社會構造の研究」にあたつた。この總合

研究は、擔當の各研究組織のもとに、計畫的に基礎資料の収集整備をおこなうことが、その基本方針となっており、當文庫では本年度はアラビア語文獻のうち、もつとも根本的な資料四二點二〇〇冊を収めたほか、昨年度に續きトルコ語文獻約二〇〇冊を購入した。なお本年度この総合研究によつて購入された圖書については、日本學術振興會より「アジア地域総合研究文獻目錄」第二卷が刊行されている。

藏和辭典編集委員會

東洋文庫は故河口慧海師よりチベット大藏經ナルタン版、デルゲ版カンギユル、チヨネ版カンギユル、寫本カンギユル及び藏外文獻の寄贈を受けた際、河口師を中心に藏和大辭典の編集を計畫、準備を進めて來たが、第二次世界大戰と河口師逝去のため不幸にして中絶の已むなきに到つた。戦後河口師の遺志を繼ぎ、再び辭典編集を企畫、渡邊照宏氏を中心に新しい構想でエッセンシャルな藏和辭典の編集を目指し、昭和三十年代より文部省補助金を受け、基礎語彙の選定とその用法の確定を中核として基礎資料よりの語彙の抽出に當つて來た。本年度は前年度に續きラサ版藏々辭典等の新資料により語彙の検討、收錄單語の補充を行つた。

一方、故河口師収集の藏外チベット文獻はその質量とも世界有數のものであり、その全貌の紹介が學界から強く望まれていた。かつて多田等觀師等により豫備調査が行われたが、本年度再び同師を中心に調査に着手、藏外全文獻四百六十三卷・二千八百十九部を内容により、古派、新派、歴史、文法・文字、諸學・雜部、ボン教に分類、著者名、

題名、丁數記入の基礎カードの作成を完了、あわせて缺丁の調査を行った。

南アジア研究委員會

南方史基礎資料の蒐集・整理事業の一環として、昭和三十四年度には、オランダの國立文書館に現存する「連合東インド會社到着文書集」(オランダ東インド會社に集められた東インド各地駐在の同會社社員の報告書集)の目録三二卷をマイクロフィルムに収め、一六二四年より一六七〇年にいたる間について、これをカード化した。また以上の目録にもとづいて簡明な索引を作製した。

六 受贈・購入圖書

1 和 書

受贈單行本

書 名

著(編)者

發行所

寄贈者

愛知大學漢籍分類目錄

愛知大學圖書館編

愛知大學圖書館

愛知大學

アジア地域關係文獻 第三號

アジア地域總合研究施設(愛知大學國際問題研究所)

豊橋 同上

愛知大學國際問題研究所

アジア歴史事典 一 アーエ

東京 平凡社

平 凡 社

アジア歴史事典 二 オーキワ

東京 平凡社

平 凡 社

アジア歴史事典 三 キンーコ

東京 平凡社

平 凡 社

芦田均氏寄贈圖書目錄

國立國會圖書館整理部編

東京 國立國會圖書館

國立國會圖書館

アメリカ研究 第二(東京大學教養學部人文科學科紀要第十九 歷史學研究報告第八集)

東京大學教養學部歷史學研究室編

東京 共立出版株式會社

東京大學教養學部人文科學研究室

Altan Tobci (黄金の史綴)研究 二 小澤重男

(東京外國語大學論集別冊 四)

東京外國語大學

東京外國語大學

イスラーム關係文獻目錄(日本語の部)

日本オリエント學會編

東京 同上

日本オリエント學會

一九五八年三月現在

伊 路 波

香川大學十周年記念「伊路波」刊 高松 同上

香 川 大 學

インドの經營代理制度(昭和三十三年

アジア經濟研究所

東京 機械工業振興協會

アジア經濟研究所

度機械工業基礎調査報告書)

上田秋成の萬葉學

前 野 貞 男

東京 明治書院

前 野 貞 男氏

國立國會圖 書館支部 上野圖書館和漢書分類目錄

國立國會圖書館支部上野圖書館

東京 同上

上 野 圖 書 館

古書之部(自昭和二十四年四月至同

三十三年十二月增加)

大阪大學文學部創立十周年記念論叢

大阪大學文學部

大阪 大阪大學文學部

大阪大學文學部

金澤文庫古文書 第十三、十四輯 江

金 澤 文 庫

横濱 金澤文庫

金 澤 文 庫

戶期篇 上、下 二冊

川崎重工業株式會社社史 (別冊附)

谷 本 秋 次編

神戸 川崎重工業株式會社

川崎重工業株式會社

漢字の形と文化(ハーバード・燕京・

平 岡 武 夫

京都 ハーバード・燕京・同

ハーバード・燕京・同志社

同志社東方文化講座 第十四輯)

同志社東方文化講座委員會

東方文化講座委員會

漢藏三譯對照如來藏經(經典對照シリ

佛教文化研究所編

京都 佛教文化研究所

佛教文化研究所

ーズ 第一)

漢譯大藏經の話(大東急記念文庫第三

結城令聞

東京 大東急記念文庫

大東急記念文庫

回文化講座シリーズ 第七卷)

義經記(日本古典文學大系37)

岡見正雄校注

東京 岩波書店

岩波書店

京都大學人文・甲骨文字 一、二、三冊
科學研究所藏

貝塚茂樹

京都大學人文科學研究所

京都大學人文科學研究所

京都大學文學部漢籍分類目錄 第一

京都大學文學部

京都 同上

京都大學文學部

虛應堂集 全(解題附) 一部二冊

天理大學おやさと研究所第二部

天理市 天理大學おやさと
研究所

天理大學おやさと研究所

きりしたん版(善本寫真集 二)

天理圖書館

丹波市 同上

天理圖書館

吳市史 第二卷

吳市史編纂室

吳市役所

吳市役所

君山文

狩野直禎・吉川幸次郎校字

京都

梅原末治氏

君山文

狩野直禎・吉川幸次郎校字

京都

狩野直方氏

現代史の諸問題

栗原薫

旭川

栗原薫氏

興福寺食堂發掘調査報告(奈良國立文

奈良國立文化財研究所

奈良 同上

奈良國立文化財研究所

化財研究所學報 第七冊)

幸福論

加藤某務

東京 加藤書房

加藤某務氏

神戸のあゆみ:市制七〇周年記念

神戸市編

神戸市役所

神戸市役所

稿本殷金文考釋

赤塚忠撰

東京 同上

赤塚忠氏

國會所管昭和三十四年度豫算參考書

國立國會圖書館

東京 同上

國立國會圖書館

(組替修正版)

國立國會圖書館 件名標目の系統的一覽表(審議資料)

東京 國立國會圖書館 國立國會圖書館

國立西洋美術館開館記念目錄

東京 國立西洋美術館 國立西洋美術館

古代 西道考

山根達治 鳥取 國立西洋美術館 山根達治氏

古俳書 二(華本寫真集 十三)

天理圖書館 天理市 天理大學出版部 天理圖書館

金光明最勝王經音義 承曆三年鈔本

川瀬一馬編 東京 大東急記念文庫 大東急記念文庫

(解說附)

近藤重藏關係展示書目

內閣文庫 東京 同上 內閣文庫

西域文化研究 第二 敦煌・吐魯番社

西域文化研究會編 京都 法藏館 西域文化研究會

會經濟資料 上

沙州諸子廿六種 一部四冊

高瀬博士還曆記念會 京都 同上 小島祐馬氏

三十三種清代傳記綜合引得(哈佛燕京

東方學研究日本委員會 東京 同上(東洋文庫內) 東方學研究日本委員會

學社引得 第九號)

四十七種宋代傳記綜合引得(哈佛燕京

東方學研究日本委員會 東京 同上(東洋文庫內) 東方學研究日本委員會

學社引得 第三十四號)

市中取締類集(正、續)細目

國立國會圖書館一般考査部 東京 同上 國立國會圖書館

日本支那古銅精華 第一冊

梅原末治 京都 便利堂 山中吉太郎氏

詩品詳解

高松亨明

野邊地町 中國文學會(弘高松亨明氏
前大學内)

社會科學の方法と諸問題(神奈川大學
記念論文集編集委員山口茂編
創立三十周年記念論文集)

横濱 神奈川大學

周禮經注疏意義校勘記 上、下一部 加藤虎之亮

東京 財團法人無窮會 無窮會

二冊

淨瑠璃評判記集成 上

演劇研究會編

大阪 演劇研究會

昭和財政史 十七 會計制度

大藏省昭和財政史編集室編

東京 東京 東洋經濟新報社

東京大學史料編纂所圖書目錄 刊本四(第
一部和漢書刊本編 四 史料)

東京大學史料編纂所

東京 大學 東京大學史料編纂所

神宮文庫五十周年記念善本寫真集

新收洋書總合目錄 第一卷第二冊

神宮文庫

伊勢 神宮司廳

國立國會圖書館

東京 同上

國立國會圖書館

G—K

神道研究集

河野省三

大宮 埼玉縣神社廳

神道集(東洋文庫本)

近藤喜博編

東京 角川書店

新日本大觀

新日本大觀編集委員會

大阪 毎日新聞社

信用金庫史

社團法人全國信用金庫協會

東京 同上 全國信用金庫協會

親鸞における信と行(大東急記念文庫

小野清一郎

東京 大東急記念文庫

大東急記念文庫

第三回文化講座シリーズ 第三卷)

眞理と幸福 第一卷(故柿花啓三先生 柿 花 勳

三回忌追善記念出版 天晴地明經濟學會創立三十二周年記念論文集 二)

學會創立三十二周年記念論文集 二)

隨律考索引(稿) 中原Ⅱ 中 谷 英 雄 編

圖說世界文化史大系 四(オリエント 前嶋信次・蒲生禮一編

Ⅱ)

圖說世界文化史大系 七(ヨーロッパ 増田四郎・柳宗玄編

中世)

圖說世界文化史大系 八(ルネッサン 松田智雄・摩壽意善郎編

ス)

圖說世界文化史大系 九(ヨーロッパ 富永惣一・柴田三千雄編

近世)

圖說世界文化史大系 一〇(ヨーロッパ 村瀬興雄・富永惣一編

バ近代)

圖說世界文化史大系 一一(アメリカ 石田英一郎・清水博編

大陸)

圖說世界文化史大系 一二(東歐・ロ 梅田良忠・岩間徹編

大阪 天晴地明經濟學會出 天晴地明經濟學會
版部

和歌山 桐蔭高校圖書館 桐蔭高等學校圖書館

東京 角川書店 角川書店

東京 角川書店 角川書店

東京 角川書店 角川書店

東京 角川書店 角川書店

東京 角川書店 角川書店

東京 角川書店 角川書店

東京 角川書店 角川書店

シア)

圖說世界文化史大系 一四(インド・中村元・梅棹忠夫編

東京 角川書店 角川書店

東南アジア)

圖說世界文化史大系 一五(中國Ⅰ) 貝塚茂樹編

東京 角川書店 角川書店

圖說世界文化史大系 一六(中國Ⅱ) 塚本善隆編

東京 角川書店 角川書店

圖說世界文化史大系 一七(中國Ⅲ) 宮崎市定編

東京 角川書店 角川書店

圖說世界文化史大系 一九(朝鮮・東三上 次男編

東京 角川書店 角川書店

北アジア)

圖說世界文化史大系 二一(日本Ⅱ) 西岡虎之助編

東京 角川書店 角川書店

圖說世界文化史大系 二二(日本Ⅲ) 遠藤元男・野間清六編

東京 角川書店 角川書店

圖說世界文化史大系 二三(日本Ⅳ) 北島正元・野間清六・角川源義編

東京 角川書店 角川書店

世說新語索引(中文研究叢刊 第六) 高橋清編 廣島大學文學部中國文學研究會 敦煌文獻研究委員會

究室

世界海運と國際會議 山縣勝見

東京 新日本汽船株式會社 山縣勝見氏

世界史大系 一(先史時代) 八幡一郎・石田英一郎編

東京 誠文堂新光社 誠文堂新光社

世界史大系 六(インド・東南アジア) 山本達郎編

東京 誠文堂新光社 誠文堂新光社

世界史大系 七(イスラーム) 榎一雄編

東京 誠文堂新光社 誠文堂新光社

世界大百科事典 三二 索引(附執筆 平凡社

東京 平凡社 平凡社

者一覽 一九五五—五八

宋名臣言行錄輯釋索引

藏六印存

醍醐寺五重塔の壁畫

第三回アシア競技大會報告書

佐伯 富編

石井 雙石

高田 修編

第三回アシア競技大會組織委員會

京都大學東洋史研究室

東京 長思印會

東京 吉川弘文館

東京 同上

京都大學東洋史研究室
石井 碩氏

東京國立文化財研究所

第三回アシア競技大會組織委員會

大日本維新史料 類纂之部 (井伊家史料 一 自文政三年正月至嘉永二年六月)

東京大學史料編纂所編

東京大學

東京大學史料編纂所

六月)

大日本近世史料 市中取締類集 一

東京大學史料編纂所編

東京大學

東京大學史料編纂所

(市中取締之部 一)

大日本近世史料 諸問屋再興調 二

東京大學史料編纂所編

東京大學

東京大學史料編纂所

大日本古記録 梅津政景日記 五 (自元和七年至寬永元年)

東京大學史料編纂所編

東京 岩波書店

東京大學史料編纂所

大日本古記録 言經卿記 一 (自天正四年正月至天正十年十月)

東京大學史料編纂所編

東京 岩波書店

東京大學史料編纂所

大日本古記録 小右記 一 (自天元五年至長徳元年)

東京大學史料編纂所編

東京 岩波書店

東京大學史料編纂所

大日本古記録 小右記 一 (自天元五年至長徳元年)

東京大學史料編纂所編

東京 岩波書店

東京大學史料編纂所

天皇（自元和七年至同年是歲雜載）

故ジョン・F・オスターリ・ダレス氏小傳

故ダレス米國國務長官追悼會

近松の研究と資料（演劇研究會論文集

一）

逐次刊行物受入一覽 豫備版 國內中

央官廳編（昭和三十四年三月現在）

知識革命の要訣

千島森林誌 千島の國有森（地圖附）

チベット語字典 草稿本 一〇五

中央區史 上、中、下 一部三冊

中國書法の二大潮流（ハーバード・燕

京・同志社東方文化講座 第十三輯）

中國法制史研究 刑法

中世庭園文化史—大乘院庭園の研究—

（奈良國立文化財研究所學報 第六冊）

朝鮮古文化綜鑑 第三卷 樂浪 坤

梅原末治・藤田亮策

故ダレス長官追悼會準備委員會

日米協會

演劇研究會

國立國會圖書館國際業務部

田崎 正 浩

帶廣營林局編

芳村 修 基編

東京都中央區役所

神田 喜一郎

仁井田 陞

森 蘊

日米協會

東京 同上

大阪 同上

東京 同上

東京 聽霞學窟

帶廣 同上

京都 龍谷大學東方聖典研

究會

東京 同上

京都 ハーバード・燕京・

同志社東方文化講座委員會

東京大學東洋文化研究所

東京 吉川弘文館

日米協會

日米協會

演劇研究會

國立國會圖書館國際業務部

知識革命學會

帶廣營林局

芳村 修 基氏

中央區役所

ハーバード・燕京・同志社

東方文化講座委員會

東京大學東洋文化研究所

奈良國立文化財研究所

天理市 養徳社

梅原末治氏

朝鮮封建時代農民の階級構成

金錫亨著 末松保和・李達憲共譯

東京 學習院東洋文化研究所 末松保和氏

テルサラサート一 第二號丘の發掘 江上波夫編著

東京大學東洋文化研究所 東京大學イラク・イラン遺

一九五六—一九五七 (東京大學イラ

跡調査團

ク・イラン遺跡調査團報告書 一)

傳教大師の教學 (大東急記念文庫第三 清水谷恭順

東京 大東急記念文庫 大東急記念文庫

回文化講座シリーズ 第二卷)

天理圖書館藏天理教圖書目錄

天理圖書館

天理市 天理大學出版部

天理圖書館

東京工業大學精密工學研究所要覽

東京工業大學精密工學研究所

東京 同上

東京工業大學精密工學研究

一九五九年版

東京誌料分類目錄 その一

東京都立日比谷圖書館編

東京 同上

東京都立日比谷圖書館

東京誌料分類目錄 その二

東京都立日比谷圖書館編

東京 同上

東京都立日比谷圖書館

東京大學東洋文化研究所大木文庫分類

大木幹一編

東京大學東洋文化研究所

東京大學東洋文化研究所

目錄

東京大學文學部考古學研究室蒐集品

東京大學藏版

東京大學

東京大學文學部考古學研究

考古圖編 第十七輯

吉岡義豐

東京 日本學術振興會

室

道教と佛教 第一

吉岡義豐

東京 日本學術振興會

吉岡義豐氏

唐代音樂の歴史的研究 上卷 樂制篇

岸邊成雄

東京 東京大學出版會

岸邊成雄氏

東南アジア關係資料總合目錄補遺 一 國立國會圖書館一般考査部
九五九

東北大學五十年史 上、下 一部二冊 東北大學 仙臺 東北大學

東洋酸素株式會社：四十年的歩み 東洋酸素株式會社社史編纂委員會 東京 同上 東洋酸素株式會社

東洋史研究文獻類目 昭和三十二年度 京都大學人文科學研究所 京都 同上 京都大學人文科學研究所

東洋大學增加圖書目錄 第四號（一九五三・四—一九五七・三） 東洋大學圖書館 東京 同上 東洋大學圖書館

圖書目錄 一九五九 森田 稻三編 東京 財團法人電力中央研究所 電力中央研究所

名古屋叢書 第二卷 法制編 一 名古屋市政府教育委員會編 名古屋 同上 蓬左文庫（名古屋市政府教育委員會）

—尾張國御法度之古記外—

名古屋叢書 第六卷 地理編 一 名古屋市政府教育委員會編 名古屋 同上

—金鱗九十九之塵 上—

名古屋叢書 第十八卷 隨筆編 一 名古屋市政府教育委員會編 名古屋 同上 蓬左文庫（名古屋市政府教育委員會）

—鹽尻拾遺—

名古屋大學文學部十周年記念論集 竹内 良 知外編 名古屋大學文學部

南傳大藏經總索引 第一部上卷 水野 弘 元氏 東京 日本學術振興會

日本感靈錄 久安三年鈔（別冊解說附） 奈良 龍門文庫 龍門文庫

(阪本龍門文庫複製叢刊之壹)

日本國內主要圖書館所藏 歐文・インド 南方史研究會編

東京 同上

南方史研究會

文獻綜合目錄 (社會科學・人文科學篇)

日本製鐵株式會社史

日本製鐵株式會社史編集委員會

東京 同上

富士製鐵株式會社・八幡製鐵株式會社・日本製鐵株式會社

日本生命七〇年のあゆみ

日本生命保險相互會社社史編集課

大阪 日本生命保險相互會社

日本生命保險相互會社

日本統計年鑑 昭和三十三年 (Japan Statistical Yearbook 1958)

東京 日本統計協會

總理府統計局

Statistical Yearbook 1958)

日本における信教の自由 — 國家と宗教との關係 — (國際宗教ニュース)

東京 國際宗教研究所

國際宗教研究所

九五九年創刊號附錄)

日本の禪 (大東急記念文庫第三回文化講座シリーズ 第五卷)

東京 大東急記念文庫

大東急記念文庫

拔萃のつゞり その二十

熊平源藏

廣島 熊平製作所

熊平製作所

百科事典 (善本寫真集 十四)

天理圖書館

天理市 天理大學出版部

天理圖書館

譬喩盡 七 (國語學資料 第十輯)

高羽五郎

金澤

高羽五郎氏

- | | | | |
|-------------------------------------|----------------------|---------------------|----------------------|
| 兵庫縣名士錄 一九五九 | 秋山悦二 | 神戸 神港新聞社 | 神港新聞社 |
| 福岡大學創立二十五周年記念論文集 | 福岡大學研究所 | 福岡大學研究所 | 福岡大學 |
| 文理編 | | | |
| 佛教の根本思想(大東急記念文庫第
三回文化講座シリーズ 第六卷) | 坂本幸男 | 東京 大東急記念文庫 | 大東急記念文庫 |
| 文藝春秋三十五年史稿 | 文藝春秋新社 | 東京 同上 | 文藝春秋新社 |
| 平和に仲よくくらそう(フルシチョフ
首相訪米演説集) | ソビエト社會主義共和國連邦大使
館 | 東京 同上 | ソビエト社會主義共和國連
邦大使館 |
| 鳳凰堂圖譜 建築彩色篇(解説附) | 文化財保護委員會編 | 東京 同上 | 文化財保護委員會 |
| 鳳凰堂圖譜 壁畫篇(解説附) | 文化財保護委員會編 | 東京 同上 | 文化財保護委員會 |
| 北齊律考・北周律考索引 中原Ⅲ | 中谷英雄編 | 和歌山 縣立桐蔭高等學校
圖書館 | 和歌山縣立桐蔭高等學校圖
書館 |
| 堀江家文書目錄 | 東京都立大學附屬圖書館 | 東京 同上 | 東京都立大學附屬圖書館 |
| 本朝水滸傳後篇 由良物語 | 建部綾足著 靜嘉堂文庫編 | 東京 靜嘉堂文庫 | 國立國會圖書館 |
| 松坂屋五〇年史 | 松坂屋五〇年史編集委員會 | 名古屋 松坂屋 | 松坂屋 |
| 未刊仮名草子集と研究 一(未刊國文
資料 二) | 朝倉治彦編著 | 豊橋 未刊國文資料刊行會 | 朝倉治彦氏 |
| 明代滿蒙史料 項目總索引 滿洲篇 | 京都大學文學部編 | 京都 同上 | 京都大學文學部 |

- | | | | |
|---------------------------------|--------|-----------|---|
| 明代滿蒙史料 | 明實錄抄 | 蒙古篇九 | 京都大學文學部編 |
| 明代滿蒙史料 | 明實錄抄 | 蒙古篇十 | 京都大學文學部編 |
| 西藏史料 | | | |
| 明代滿蒙史料 | 項目總索引 | 蒙古篇 | 京都大學文學部編 |
| 明代滿蒙史料 | 李朝實錄抄 | 索引 | 東京大學文學部編 |
| 明代滿蒙史料について | | 田村實造 | 京都大學文學部 |
| 文選索引 三(唐代研究のしおり 特集第三) | | 斯波六郎 | 京都大學人文科學研究所 |
| 文選索引 附錄(唐代研究のしおり 特集第四) | | 斯波六郎 | 京都大學人文科學研究所 |
| 日比谷圖書藏 諸橋文庫書目(東京都立日比谷圖書館藏) | | 田中彦安 | 東京都立日比谷圖書館 |
| 谷圖書館報 二卷七號 | | | 靜嘉堂文庫 |
| 大和朝廷考 | | 山根達治 | 山根達治氏 |
| アイヌ叙事詩 ユーカラ集一 "PON OINA" | 金成まつ雄録 | 金田一京助譯注 | 國學院大學(金田一京助氏) |
| (小傳) | | | |
| 由良物語 | 前野貞男編 | 東京貞蔭歌府 | 前野貞男氏 |
| ヨガ行者の一生 — 聖者ヨガナンダのパラマンサーヨガナンダ原著 | | 京都・東京 關書院 | Self-Realization Fellowship, Los Angeles. |
| 自叙傳 — (日本語版) | | | |

横濱市史 第一卷索引

横濱市

横濱市

横濱市

横濱市史 第二卷

横濱市

横濱市

横濱市

李朝實錄 第二十冊 中宗實錄 第一 學習院東洋文化研究所

東京 同上

學習院東洋文化研究所

(中宗元一十一年)

李朝實錄 第廿一冊 (中宗十一一十八 學習院東洋文化研究所

東京 同上

學習院東洋文化研究所

年)

李朝實錄 第廿二冊 (中宗十八一二十 學習院東洋文化研究所

東京 同上

學習院東洋文化研究所

四年)

李朝實錄 第廿三冊 (中宗二十五一三 學習院東洋文化研究所

東京 同上

學習院東洋文化研究所

十年)

立命館創立五十周年記念論文集 文學 立命館大學人文科學研究所編

京都 立命館大學

立命館大學東洋史學研究室

篇

律令及び令制の研究

利光三津夫

東京 明治書院

利光三津夫氏

度會神道大成 前篇 (大神宮叢書)

神宮司廳

伊勢 同上

神宮文庫

購入單行本

書名

著(編)者

發行所

刊年

緯書集成 卷二(書、中候)

安居香山・中村璋八編

東京教育大學漢魏文化研究會

一九五九

- 緯書集成 卷三(詩、禮、樂) 安居香山・中村璋八編 東京教育大學漢魏文化研究會 一九五九
- 緯書集成 卷六(河圖、洛書) 安居香山・中村璋八編 東京教育大學漢魏文化研究會 一九五九
- 伊能忠敬 長岡半太郎監修 大谷亮吉編著 東京 岩波書店 一九一七
- 東松 貴重古典籍刊行會 東京 同上 一九五九
- 本 大鏡 第三 無著道忠撰 東京 駒澤大學禪宗辭典編纂所 一九五九
- 葛藤語箋 加藤常賢 東京 斯文會 一九六〇
- 漢字ノ起原 十四 長島豐太郎編 東京 日本古典全集刊行會 一九五八
- 古字書綜合索引 上、下 月洞讓 東京 一九五九
- 鄭玄研究 纂詰篇一 大屋徳城 京都 便利堂 一九三六
- 新編諸宗教藏摺錄(影印高山寺本) 竹之内安巳編 東京 弘文堂書房 一九五九
- 世界の地名 中國語事典 鈴木大拙編 古田紹欽校 東京 大文堂書房 一九四五
- 絶觀錄(燉煌出土積翠軒本) 諸橋轍次 東京 大文堂書房 一九五九
- 大漢和辭典 卷十(虫部、辰部) 諸橋轍次 東京 大文堂書房 一九五九
- 大漢和辭典 卷十一(禿部、佳部) 諸橋轍次 東京 大文堂書房 一九五九
- 大漢和辭典 卷十二(雨部、僞部) 小島祐馬編 京都 弘文堂書房 一九二八
- 高瀬博士還曆記念支那學論叢 廣瀬敏編 東京 風間書房 一九五七
- 日本叢書索引 增訂版 高村象平・小松芳喬編 東京 有斐閣 一九五六
- 封建制と資本制(野村博士還曆記念論文集) 内田智雄 京都 ハーバード・燕京・同志社 一九五八
- 米澤善本の研究と解題(附 興讓館舊藏和

漢書目錄)

列子索引

山口義男編

東方文化講座委員會
西宮 武庫川女子大學

一九六〇

受贈定期刊行物

誌名

卷號

寄贈者(發行所)

青山經濟論集

一〇卷四號、一卷二・三、四號

青山學院大學經濟學會

跡見學園紀要

一、二號

跡見學園

跡見學園國語科紀要

七號

跡見學園

アメリカナ

五卷四、一二號、六卷一、三號

米國大使館文化交流局

和泉志

一九號

和泉文化研究會

茨城大學文理學部紀要

九號

茨城大學文理學部

岩手史學研究

二九、三二號

岩手史學會

岩手大學學藝學部研究年報

一四、一五號

岩手大學學藝學部

印度學佛教學研究

七卷二號、八卷一號

日本印度學佛教學會

愛媛大學歷史學紀要

六號

愛媛大學文理學部歷史學研究室

大倉山學院紀要

三號

大倉山文化科學研究所

大阪學藝大學紀要

七號A、B

大阪學藝大學

大崎學報

一〇九、一一〇號

立正大學佛教學會

大谷學報	三九卷一〇二號	大谷大學大谷學會
大谷史學	七號	大谷大學史學會
大本教學	一號	大本教學院
岡山史學	三〇四號	岡山史學會
岡山大學法文學部學術紀要	一一號	岡山大學法文學部
お茶の水史學	一〇二號	お茶の水女子大學史學科研究室
お茶の水女子大學人文科學紀要	一二號	お茶の水女子大學
外國文學研究	一號	立命館大學人文科學研究所
かがみ	一〇三號、特輯號	大東急記念文庫
學習院大學文學部研究年報	五號	學習院大學文學部
學大國文	三號	大阪學藝大學國語國文學研究室
鹿兒島大學研究紀要 文科報告	五、八號	鹿兒島大學文理學部
鹿兒島大學文理學部研究紀要 社會科報告	六號	鹿兒島大學文理學部
鹿大史學	七號	鹿兒島大學文理學部史學地理學教室
金澤大學法文學部論集	六〇七號	金澤大學法文學部
關西大學文學論集	九卷一〇六號	關西大學文學會
關西學院史學	五號	關西學院大學史學會
漢文學	八號	福井漢文學會

漢文學會會報	基礎科學白書	京都大學人文科學研究所紀要	共立女子大學紀要	基督教史學	宮內廳圖書館收書目錄	熊本史學	經營論集	慶應義塾大學圖書館月報	鷄林	玄海	研究	言語研究	言語と文藝	現代の眼	考古學雜誌	甲骨學	高知大學學術研究報告
--------	--------	---------------	----------	-------	------------	------	------	-------------	----	----	----	------	-------	------	-------	-----	------------

東京教育大學漢文學會	日本學術會議	京都大學人文科學研究所	共立女子大學	基督教史學會	宮內廳圖書館	熊本史學	明治大學經營學研究所	慶應義塾大學圖書館	鷄林社	玄海社	神戸大學文學會	日本言語學會	東京教育大學國語國文學會	國立近代美術館	日本考古學會	日本甲骨學會	高知大學
一八號	一集	二〇〇三冊	五號	九號	八〇九卷	一五、一六、一七號	一三、一五、一六號	四四〇四九號	一卷四〇五號	創刊號	二〇號	三五〇三七號	一卷四〇九號	五三〇六四號	四五卷一〇三號	七號	八卷八號

甲南大學文學會論集

九一〇號

神戸外大論叢

九卷三、四號、一〇卷一號

國學院雜誌

六〇卷三、一二號、六一卷一號

國學院大學日本文化研究所紀要

四、五號

國語國文學會誌

一號

國際問題研究所紀要

二七、二八號

國史學

七一號

國立國會圖書館公報

一一卷三、一二號、一二卷一號

國立國會圖書館新收洋書總合目錄

第二冊(G—K)

國立國會圖書館年報

三二、三三年度

國立國語研究所報告

一五號

國立國語研究所論集

一卷

古代學

八卷一、二號

駒澤國文

一號

駒澤史學

八號

駒澤大學研究紀要

一七號

駒澤大學圖書館增加和漢書目錄

三三年度

コリア評論

一九五九年四、一二號、一九六〇年一、三號

甲南大學文學會

神戸市外國語大學研究所

國學院大學

國學院大學日本文化研究所

京都府立大學

愛知大學

國史學會

國立國會圖書館

國立國會圖書館

國立國會圖書館

國立國語研究所

國立國語研究所

古代學協會

駒澤大學文學會

駒澤大學史學會

駒澤大學

駒澤大學圖書館

コリア評論社

今日のソ連邦	一九五九年七二三號、一九六〇年一五號	ソ連大使館廣報課
西京大學學術報 人文	一〇號	西京大學
埼玉大學紀要	二七七卷	埼玉大學
佐賀龍谷學會紀要	六七七號	佐賀龍谷短期大學
雜誌記事索引 自然科學篇	九卷二四號、一〇卷一號	國立國會圖書館
雜誌記事索引 人文科學篇	一一卷二四號、一二卷一號	國立國會圖書館
史苑	二〇卷一一二號	立教大學史學會
史海	六號	東京學藝大學史學會
史學	三二卷一三號	三田史學會
史學研究	七二七七五號	廣島史學研究會
史學雜誌	六八編三一二號、六九編一一二號	史學會
史觀	五四・五五、五六冊	早稻田大學史學會
資源科學研究所彙報	四九五一號	資源科學研究所
史泉	一二一五、一六・一七號	關西大學史學會
史窓	一四一六號	京都女子大學史學會
史潮	六八七七〇號	大塚史學會
宗學研究	一卷二號	曹洞宗宗學研究所
宗教研究	一五八・一六一號	日本宗教學會

商經法論叢
上智史學
史林
新聞學評論
人文學報
人文學報
人文研究
人文研究
人文論究
人類學雜誌
スラヴ研究
駿臺史學
成城文藝
聖心女子大學論叢
世界經濟
禪學研究
全日本出版物總目錄

一〇卷一、二、四號
三卷一號、四卷一號
四二卷三、六號、四三卷一、二號
七號
九號
二、一〇號
一九、二一號
一〇卷四、六、八、一二號、一二卷一、二號
一五號
一九號
六六卷五號、六七卷一、四號
三號
九號
一八、二〇號
一二號
復刊四〇、四三號
五〇號
三二年版

神奈川大學商經法學會
上智大學史學研究會
史學研究會（京都大學）
東京女子大學史學研究室
日本新聞學會
京都大學人文科學研究所
東京都立大學人文學會
大阪市立大學文學會
神奈川大學文學會
函館人文學會
日本人類學會
北海道大學スラヴ研究室
駿臺史學會
成城大學文藝學部研究室
聖心女子大學
世界經濟調查會
花園大學禪文化研究所
國立國會圖書館

善本寫真集	一三〇一四號	天理圖書館
ソビエト婦人	一九五九年一號、一九六〇年一號	レーニン圖書館(モスクワ)
ソフィア	八卷二號	上智大學
大正大學研究紀要	四四號	大正大學
逐次刊行物目錄	三二、三三年版	國立國會圖書館
中央大學文學部紀要	一六卷(文七)、一七卷(史五)、一八卷(哲六)	中央大學文學部
中 外	日本版一八號	中華民國大使館
中 華 週 報	三四卷一、二〇、二三、三七號	中華民國大使館
朝鮮學報	一四輯	朝鮮學會
朝鮮研究年報	一號	朝鮮研究會
長 大 史 學	三、四輯	長崎大學史學會
土(金光圖書館報)	五八、六一號	金光圖書館
天理大學學報	一〇卷三號、一一卷一、二號	天理大學人文學會
東 亞 時 論	一卷四、一二號、二卷一、三號	霞 山 會
東京學藝大學研究報告	一〇卷(史學)、(國・漢)	東京學藝大學
東京教育大學文學部紀要	二二卷(國・漢)	東京教育大學文學部
東京支那學報	五號	東京支那學會
東京大學教養學部人文科學科紀要	一七卷(歴史と文化 四)	東京大學教養學部

一九卷 (アメリカ研究 二)

東京大學東洋文化研究所新收和漢圖書目錄

六〇七號

東京都立大學圖書館報

一〇二號

同志社法學

五一〇五五號

東方學

一八〇一九號

東方學報 (京都)

二九冊

東北大學文學部研究年報

九〇一〇號

東北福祉短期大學論叢

一號

東洋音樂研究

一四・一五號

東洋史學

二〇二二輯

東洋史研究

一七卷四號、一八卷一三號

東洋大學紀要

一三號

東洋文化

二七二八號

東洋文化研究所紀要

一六〇一九號

圖書館雜誌

一九五九年四月二號、一九六〇年一月二號

圖書總合目錄

三二號

都政アルバム

五〇六號

奈良國立文化財研究所年報

一九五八年度

東京大學東洋文化研究所

東京都立大學圖書館

同志社法學會

東方學會

京都大學人文科學研究所

東北大學文學部

東北福祉短期大學

東洋音樂學會

九州大學文學部東洋史研究室

京都大學東洋史研究室

東洋大學學術研究會

東京大學東洋文化研究所

東京大學東洋文化研究所

日本圖書館協會

國立國會圖書館

東京都廣報涉外局

奈良國立文化財研究所

南朝及後南朝史料

二六號

南朝熊澤史料調查會

南都佛教

六〇七號

東大寺南都佛教研究會

西日本史學

九〇一號

西日本史學會(九州大學)

二松學舍大學論集

三十四年度

二松學舍大學

日本學士院紀要

一五卷三號、一六卷一〇三號

日本學士院

日本考古學年報

七〇八號

日本考古學協會

日本大學史學會研究彙報

三號

日本大學史學會

日本大學人文科學研究所研究紀要

一號

日本大學人文科學研究所

日本文化

三八號

天理大學宗教文化研究所

日本歷史

一三九〇一四一號

日本歷史學會

能樂思潮

七〇一號

能樂思潮

納本週報

一九五九年度一六〇一九、二二二九、三二二四四、
四六二五〇號、一九六〇年度一一一號

國立國會圖書館

美術研究

一九八二〇三號

美術研究所(東京國立文化財研究所美術部)

ヒストリア

一〇二二號

大阪歷史學會

一橋論叢

四一卷四〇六號、四二卷一〇六號、四三卷一號

一橋大學一橋學會

ビブリア(天理圖書館報)

一四一五號

天理圖書館

廣島大學文學部紀要

一五二六號

廣島大學文學部

福井大學學藝学部紀要 二號、人文 四、八號、社會 四、八號、教育 七、

八號

福岡商大論叢

六卷二、四號

福岡大學文理論叢

三卷三號

福島大學學藝学部論集

九卷一號、一〇卷一號

富士論叢

四號

佛教史學

八卷一・二號

佛教文化研究

八號

文化

二三卷一、二號

文學論藻

一三、一六號

法學協會雜誌

七五卷六號、七六卷一、二號

法制局意見年報

七卷

法政史學

一二號

法制史研究

一、九號

法文論叢

一一號

北海道大學文學部紀要

五、七號

北大史學

四、五號

北方文化研究報告

一四號

福井大學學藝学部

福岡商科大学研究所

福岡大學

福島大學學藝学部

富士短期大學大世學院政治經濟研究會

佛教史學會

佛教文化研究所

東北大學文學部

東洋大學國語國文學會

法學協會

國立國會圖書館

法政大學史學會

法制史學會

熊本大學法文學會

北海道大學文學部

北大史學會

北海道大學

北陸史學

八號

Museum

民族學研究

七七一〇八號

明治大學圖書館增加書目錄

二三卷一四號

山口大學文學會志

九二一〇〇號

山梨大學學藝學部研究報告

一〇卷一一二號

橫濱市立大學紀要

九〇九二號

立正學報

四卷一二號

立正大學文學部論叢

一一號

立命館大學人文科學研究所紀要

一一五號

立命館文學

一六七一二七號

龍谷史壇

四五號

龍谷大學論集

三三四三六三號

歷史

一八一九號

歷史學研究

二二九二三八號

歷史教育

七卷四一二號、八卷一、三號

歷史地理

八九卷二二三號

北陸史學會

東京國立博物館

日本民族學協會

明治大學圖書館

山口大學文學會

山梨大學學藝學部

橫濱市立大學

立正大學

立正大學文學部

立命館大學人文科學研究所

立命館大學人文科學研究所

龍谷大學史學會

龍谷大學

東北史學會

歷史學研究會

歷史教育研究會

日本歷史地理學會

購入定期刊行物

書名

卷號

發行所

學術月報

一二卷一一一二號、一二卷一一〇號

日本學術振興會

國華

六八編八〇三七八一三冊

國華社

斯文

二一二六號

斯文會

2 中國書

受贈單行本

書名

著(編)者

發行所

寄贈者

采風集

張維翰

臺北 中華叢書委員會

張維翰氏

塞外史地論文譯叢 第一輯

白鳥庫吉著 王古魯譯

上海 商務印書館

葉華芬氏

十七世紀臺灣英國貿易史料(臺灣研究叢刊 第五七種)

臺灣銀行經濟研究室編

臺北 臺灣銀行

岩生成一氏

星加坡政府組織法

成人教育

葉華芬

シンガポール 文心出版社

葉華芬氏

文化組織中國委員會譯

UNESCO 聯合國教育科學

臺北 同上

國立中央圖書館

積微居甲文說下辭瑣記

楊樹達

北京 中國科學院

北京圖書館

戰後南北所見甲骨錄 上、中、下

胡厚宣編

北京 來薰閣書店

北京圖書館

臺灣文獻資料目錄

臺灣省立臺北圖書館編

臺北 臺灣省文獻委員會

臺灣省文獻委員會

中日交通史 上、下 二冊

木宮泰彥著 陳捷譯

上海 商務印書館

葉華芬氏

關鷄臺灣東區墓葬圖說

蘇秉琦、中國科學院考古研究所編

北京 中國科學院

北京圖書館

東南亞簡史

Brian Harrison 著 聯營出版

星加坡聯營出版有限公司

葉華芬氏

敦煌變文字義通釋

蔣禮鴻

北京 中華書局

敦煌文獻研究委員會

南京附近考古報告 I 江寧湖熟史

南京博物院編

上海出版公司

北京圖書館

前遺址調查記 II 鄧府山古殘墓

南京博物院編

上海出版公司

北京圖書館

清理記(南京博物院集刊之一)

宿白

北京 文物出版社

北京圖書館

白沙宋墓

宿白

北京 文物出版社

北京圖書館

馬來亞

魯白野

星洲世界書局有限公司

葉華芬氏

馬來亞大學中文圖書目錄 上冊

シンガポール マラヤ大學

賀光中・蔣振玉氏

購入單行本

書名

著(編)者

發行人

刊年

策音寶鑑	沈富進	臺中聖工出版社	一九五八
殷代地理簡論	李學勤	北京科學出版社	一九五九
殷代貞卜人物通考 上、下 六册	饒宗頤	香港大學出版社	一九五九
雲南晉寧石寨山古墓群發掘報告 二册 (圖版及解說)	雲南省博物館編	北京文物出版社	一九五九
永樂大典 卷二三四五至三三七七 (特製本)	北京圖書館收藏	北京中華書局	一九五九
永樂別錄 (遼海叢書) 一部二册	張伯未		
王安石變法	漆俠	上海人民出版社	一九五九
王荊公詩文沈氏注	〔清〕沈欽韓注	北京中華書局	一九五九
音韻學叢書 一部五六册			
海外中國銅器圖錄 第一集 上、下 二册	陳夢家	國立北平圖書館	一九四六
夏完淳集	〔明〕夏完淳撰	北京中華書局	一九五九
稼軒長短句 一、四 一部四册	〔宋〕辛棄疾	北京中華書局	一九五九
漢語研究小史	王立達編譯	北京商務印書館	一九五九
顏氏學記	戴望	北京中華書局	一九五八
漢字形體學	蔣善國	北京文字改革出版社	一九五九
漢譯古蘭經 八册	姬覺彌總纂	上海廣倉學社	一九三一

紀縣城失守克復本末（錫山掌故叢書之一）

（餘）

魏晉南北朝史論叢 續編

魏晉南北朝隋唐經濟史稿

歸莊手寫詩稿 上、下 二冊

救荒本 卅 一、四 五冊（中國古代

科技圖錄叢編初集）

居延漢簡甲編（考古學專刊乙種 第八號）

曲海總目提要 上、中、下 三冊

九龍與宋李史料（選堂叢書之六）

瞿秋白著譯系年目錄

邢襄題稿・樞垣初刻

景德鎮陶瓷史稿

藝文類聚 一、一六 上、下 函一六冊

編輯所編輯

元代雲南行省傣族史料編年

玄覽堂叢書三集 三二冊

校勘學釋例

唐 長 孺

李 劍 農

〔明〕歸 莊

〔明〕朱 櫛 編

中國科學院考古研究所編

人民文學出版社編輯部

饒 宗 頤

丁景唐・文 操合編

李 永 茂撰

江西省輕工業廳陶瓷研究所編

〔唐〕歐陽詢等撰 中華書局上海

方 國 瑜編撰

陳 垣撰

北京 三聯書店

北京 三聯書店

北京 中華書局

北京 中華書局

北京 科學出版社

北京 人民文學出版社

香港 萬有圖書公司

上海人民出版社

北京 中華書局

北京 三聯書店

北京 中華書局

雲南人民出版社

北京 中華書局

一九一八

一九五九

一九五九

一九五九

一九五九

一九五九

一九五九

一九五九

一九五九

一九五八

一九五九

一九五九

一九五八

一九五九

甲骨文編 一、二 二冊

廣州出土漢代陶屋 附陶倉、陶井、陶灶

合肥李氏三世遺集 一一冊

故宮銅器圖錄 上、下 二冊

故宮博物院藏清代織繡團花圖案

故宮名畫三百種 上、下函 六卷

國 權 一、六 六冊

國語辭典 一、四 四冊

吳昌碩畫集

湖南文徵 一〇〇冊

蔡文姬

茶餘客話 上、下 (明清筆記叢刊)

二冊

邇言等五種

四川漢代畫象磚藝術

四川邛峽唐代龍興寺石刻

受教輯要

藝文印書館印行

廣州市文物管理委員會編

國立故宮中央博物院聯合管理處編

臺灣國立故宮博物院、國立中央博物院

物院

〔明〕談 遷撰 張宗祥校點

中國大辭典編纂處編

張謇·吳一舫編

郭沫若編著

〔清〕阮葵生

〔清〕錢大昭等

劉志遠編

馮國定·周樂欽·胡伯祥編

朝鮮總督府中樞院編

北京 文物出版社 一九五八

臺北 中華叢書委員會 一九五八

北京 文物出版社 一九五九

臺北 同上 一九五九

北京 古籍出版社 一九五八

臺北 商務印書館 一九五九

北京 中國古典藝術出版社 一九五九

北京 文物出版社 一九五九

北京 中華書局 一九五九

北京 商務印書館 一九五九

北京 中國古典藝術出版社 一九五九

北京 中國古典藝術出版社 一九五九

北京 中國古典藝術出版社 一九五九

京城 同上 一九四三

春秋左氏傳舊注疏證

春秋曆學三種

商殷帝王本紀

歙縣金石志 六冊

小屯 第一本（中國考古報告集之石璋如

二）——遺址的發現與發掘 乙編 殷虛建築遺存

食物本草（石渠閣訂正版） 二冊

清代碑傳文通檢

陳乃乾編

靜軒瀛海處坎錄 乾、坤 二冊

醒世恆言 上、中、下冊 卷一至卷十 [明]馮夢龍編 李田意攝校

五（景印珍本宋明話本叢刊） 三冊

成都萬佛寺石刻藝術（四川省博物館藏品專集） 劉志遠·劉廷璧編

星馬通鑑：Directory of Singapore

and Malaya.

齊民要術研究

李長年

石匱書後集

[明]張岱

浙江古代畫家作品選集

王伯敏·黃湧泉編

說文解字引方言攷

馬宗霍

北京 科學出版社 一九五九

北京 中華書局 一九五九

香港 紫城葉氏家廟刊 一九五八

臺灣 中央研究院歷史語言研究所 一九五九

北京 中華書局 一九五九

臺北 世界書局 一九五八

北京 中國古典藝術出版社 一九五八

Singapore 星加坡世界書局有限公司

北京 農業出版社 一九五九

北京 中華書局 一九五九

杭州 浙江人民出版社 一九五八

北京 科學出版社 一九五九

全上古三代秦漢三國六朝文 一—四 六册

陝北東漢畫象石刻選集

〔清〕嚴可均校輯

北京 中華書局

一九五八

陝西省博物館·陝西省文物管理委員會合編

北京 文物出版社

一九五九

宋 刑 統 六册

〔吳興〕劉氏

嘉 業 堂刊

一九五九

增訂四庫簡明目錄標注

邵懿辰撰 邵章續錄

北京 中華書局

一九二五

宋平江城坊攷 四册

省心閣藏板

臺北 臺北

一九五九

宋包孝肅公奏議 四册

〔金 祥 恆〕

臺北

一九五九

續甲骨文編 四册

蘇州虎丘塔出土文物

蘇州虎丘塔出土文物

蘇州虎丘塔出土文物

蘇齋叢書 四〇册

蘇州市文物保管委員會編

北京 文物出版社

一九五八

太平廣記 一—五 五册

李 昉等編

北京 人民文學出版社

一九五九

西藏紀要 邊疆叢書

吳 忠 信

臺北 中央文物供應社

一九五三

中國音樂、舞蹈、戲曲人名詞典

曹 惆 生編

北京 商務印書館

一九五九

中國貨幣史

彭 信 威

上海人民出版社

一九五八

中國近百年繪畫展覽選集

文物出版社編

北京 同上

一九五九

中國農業遺產選集 甲類第四種 豆類 上編

中國農業遺產研究室編輯、李長年主編

北京 中華書局

一九五八

中國醫學文獻索引

南京醫學院圖書館編 吳觀國·吉

北京 人民衛生出版社

一九五八

中文醫學文獻索引

南京醫學院圖書館編 吳觀國·吉

北京 人民衛生出版社

一九五八

通俗編 附直語補證

鴻主編

〔清〕翟灤撰

北京 商務印書館

一九五八

天啓崇禎兩朝遺詩 上、中、下 三冊

〔吳門〕陳皇士輯 同學諸子參訂

天津市藝術博物館藏畫集

天津市藝術博物館藏

北京 文物出版社

一九五九

東京夢華錄注

孟元老撰 鄧之誠注

北京 商務印書館

一九五九

鄧縣彩色畫象磚墓

河南省文化局文物工作隊編輯

北京 文物出版社

一九五八

唐宋畫家人名辭典

朱鑄禹編纂 李石孫助編

北京 中國古典藝術出版社

一九五八

唐代桂林之摩崖佛像

羅香林

香港 中國學社

一九五九

唐代人物畫

劉凌滄編著

北京 中國古典藝術出版社

一九五八

東坡樂府 二冊

〔宋〕蘇軾

北京 中華書局

一九五九

讀諸子札記

陶鴻慶

北京 中華書局

一九五七

敦煌唐代圖案選

敦煌文物研究所編

北京 人民美術出版社

一九五九

敦煌壁畫服飾資料

潘絜茲編繪

北京 中國古典藝術出版社

一九五八

南北宮詞紀 一、四 四冊

〔明〕陳所聞編 趙景深校訂

北京 中華書局

一九五九

南遊記〔孫文定公原本〕

〔明〕

北京 商務印書館

一八四四重刊

日漢辭典

陳濤主編

北京 商務印書館

一九五九

念劬廬叢刻 四冊

徐彥寬輯錄

北京 人民文學出版社

一九三一序

白石詩詞集

姜夔著 夏承燾校輯

北京 人民文學出版社

一九五九

閩產錄異 六冊

布依語調查報告

(閩縣)陳闡王纂錄

中國科學院少數民族語言研究所主編
北京 科學出版社 一九五九

北京古建筑

建築工程部建築科學研究院建築理論及歷史研究室編
北京 文物出版社 一九五九

北京圖書館善本書目 一〇八八冊

北京圖書館善本部編
北京 中華書局 一九五九

北京法海寺明代壁畫

中國古典藝術出版社編輯
北京 同上 一九五八

便民圖纂 一〇四四冊

(明)鄭璠
北京 中華書局 一九五九

補遼史交聘表

張亮 采編
北京 中華書局 一九五八

本草求真

(清)黃宮繡纂
上海科學技術出版社 一九五九

滿文書籍聯合目錄

李德啓編 于道泉校
北平 國立北平圖書館、故宮博物院圖書館 一九三三

明季滇黔佛考

陳垣撰
北京 科學出版社 一九五九

明史藝文志·補編·附編 上、下

(清)黃虞稷原編 (清)王鴻緒
北京 商務印書館 一九五九

明清檔案存真選輯 初集(中央研究院歷史語言研究所專刊之三十八)

李光濤編
臺北 中央研究院歷史語言研究所 一九五九

明道編(中國思想史資料叢刊)

(明)黃結
北京 中華書局 一九五九

蒙古經名眼（光緒拾壹年歲次乙酉拾月初

壹日大吉立）

蒙古參考書目（中華叢書）

張興 唐編著

臺北 中華叢書委員會

一九五八

禮書通故 一、卅二 三、卅二

葉 蕊 奇編訂

北京 人民文學出版社

〔光緒刊本〕

李賀詩集

葉 蕊 奇編訂

北京 人民文學出版社

一九五九

六朝文絮箋註 二冊

四川人民出版社

一九五七

遼史紀事本末 四冊

同文書局石印

一八九三

臨川先生文集

〔萍鄉〕李有棠編纂
〔宋〕王安 石撰

北京 中華書局

一九五九

歷代人物年里碑傳綜表

姜亮夫纂定 陶秋英校

北京 中華書局

一九五九

受贈定期刊行物

誌 名

卷 號

發行所

寄贈者

革命文獻

一、二〇輯

中國國民黨中央委員會黨史

中華民國總統府國史館

戲劇研究

一、五期

中國戲劇出版社

北京圖書館

吉林大學人文科學學報

一九五八年三、四期、一九五九年二、四期

吉林大學

吉林大學

教育與文化

一九七、二、四期

教育與文化社

民國國立中央圖書館

近代史資料

一九五九年一期

科學出版社

北京圖書館

經濟研究	一九五九年二、二期	科學出版社	北京圖書館
現代佛學	一九五九年二、二期、一九六〇年一、二期	中國佛教協會	北京圖書館
建築學報	一九五九年二、四期、六、一二期	建築工程出版社	北京圖書館
紅旗	一九五九年五、二四期、一九六〇年一、三期	紅旗雜誌社	北京圖書館
考古	一九五九年一、二期	科學出版社	北京圖書館
考古學報	一九五九年一、四冊	科學出版社	北京圖書館
考古人類學刊	二期	國立臺灣大學	國立臺灣大學
詩刊	一九五九年二、四號、六、一二號、國慶十周年專號	詩刊社	北京圖書館
四川大學學報	自然科學 七、一期（一九五八・二）一九五九・四	四川大學	四川大學
四川大學學報	社會科學 一、一、二四期（一九五九・一、四）	四川大學	四川大學
新亞學報	三卷二號	香港 新亞研究所	新亞研究所
新亞書院學術年刊	一期	香港 新亞書院	新亞書院
新華半月刊	一九五九年三、九、一二、二四號	新華半月刊社	北京圖書館
新建設	一九五九年二、五、七、一二期	光明日報社	北京圖書館
人民畫報	一九五九年二、九、一二、二四號、一九六〇年一號	外文出版社	北京圖書館
人民中國	一九五九年一、三、五、一二號、一九六〇年一、二號	外文出版社	北京圖書館
人民文學	一九五九年三、一二號、一九六〇年一號	人民文學社	北京圖書館
水利與電力	一九五九年四、一〇、一二、二四期	水利電力出版社	北京圖書館

政法研究	一九五九年一、六期	法律出版社	北京圖書館
西北農學院學報	二、四期	西北農學院	北京圖書館
世界知識	一九五九年四、一〇、一二、二四期	世界知識出版社	北京圖書館
全國主要報刊資料索引	四〇、四二號（一九五九・二、四）	上海圖書館	北京圖書館
自然技術科學部門			
全國主要報刊資料索引	四〇、四二號（一九五九・二、四）	上海圖書館	北京圖書館
哲學・社會科學部門			
臺灣	一六、二五號	臺灣省新聞處	民國國立中央圖書館
臺灣文獻	九卷四期、一〇卷一、三期	臺灣省文獻委員會	臺灣省文獻委員會
檔案工作	一九五九年二、六、八、九期	檔案工作所	北京圖書館
地質學報	三八卷四期	科學出版社	北京圖書館
地質月刊	一九五九年三、五、七、一二期	地質出版社	北京圖書館
中醫雜誌	一九五九年二、四、六、一二號	人民衛生出版社	北京圖書館
中國一周	四四二、四七八期	中國新聞社	北京圖書館
中國營造學社集刊	五卷一、三、四期（一九三四、三五）	北平 中國營造學社	民國國立中央圖書館
中國畫報	一九五九年一、二四號、一九六〇年一號	國際書店	大西 寬氏 北京圖書館
中國語文	一九五九年二、一二號	人民教育出版社	北京圖書館
中國電影（電影藝術）	一九五九年三、六號、（改名）七、一二號	中國電影出版社	北京圖書館

中山大學學報 社會科學版	一・一二、一三期	中山大學	中山大學・北京圖書館
哲學研究	一九五九年三、二二期	科學出版社	北京圖書館
讀書	一九五九年三、一四、二四號	讀書雜誌社	北京圖書館
圖書館工作	一九五九年三、四期	北京圖書館	北京圖書館
農業學報	一〇卷一、六期（一九五九）	科學出版社	北京圖書館
農村工作通訊	一九五九年三、一三、二四期	農村工作通訊編輯室	北京圖書館
美術研究	一九五九年一、四期	上海人民美術出版社	北京圖書館
武漢大學自然科學學報	一九五九年三、五、一一期	武漢大學	北京圖書館
武漢大學人文科學學報	一九五九年三、一〇期	武漢大學	北京圖書館
復旦	一九五九年一、四期	復旦大學	北京圖書館
文學評論	一九五九年一、六期	人民文學出版社	北京圖書館
文史叢刊	一輯	臺南市文史協會	民國國立中央圖書館
文史哲（山東大學學報）	一九五八年二二期	山東大學	北京圖書館
文物	一九五九年三、二二期	文物出版社	北京圖書館
北京師範大學學報 社會科學	一一、二二期	北京師範大學	北京圖書館
民間文學	一九五九年二、二二期	作家出版社	北京圖書館
民族研究	一九五九年三、四、七、一二期	民族出版社	北京圖書館
文字改革	一九五九年三、九、一二、二四期、一九六〇年	文字改革出版社	北京圖書館

一、二期

歷史教學

一九五九年二、五、七、九、一二號

天津人民出版社

北京圖書館

歷史研究

一九五九年二、一〇期

歷史研究編輯委員會（科學出版社）

北京圖書館

勞働

一九五九年四、九、一三、二四期

中華人民共和國勞働部

北京圖書館

購入定期刊行物

書名

卷號

發行所

語言研究

四期

科學出版社

大陸雜誌

一七卷（合訂本）、一八卷（合訂本）

大陸雜誌社

臺灣省立師範大學教育研究所集刊

一、二輯

臺灣省立師範大學

臺灣省立師範大學國文研究所集刊

一、三號

臺灣省立師範大學

中央亞細亞

一、二號

中央亞細亞協會

中央研究院歷史語言研究所專刊

三七、三八卷

中央研究院

幼獅學報

一卷、一二號

中國青年反共救國團總團部

3 朝鮮書

受贈單行本

書名	著(編)者	發行所	寄贈者
韋庵文稿全(韓國史料叢書第四)	國史編纂委員會	ソウル 韓國史學會	韓國國立國會圖書館
海鶴遺書全(韓國史料叢書第三)	國史編纂委員會	ソウル 韓國史學會	韓國國立國會圖書館
韓國英雄名人傳	咸敦益編	ソウル 大文社	韓國國立國會圖書館
韓國季年史上、下(韓國史料叢書第五) 二冊	國史編纂委員會	ソウル 韓國史學會	韓國國立國會圖書館
韓國經濟의 構造와 循環(韓國研究叢書第二輯 經濟)	李昌烈	ソウル 韓國研究圖書館	韓國國立國會圖書館
韓國古代小説叢書 第一	梨花女子大學校・韓國文化研究院		韓國國立國會圖書館
韓國史(古代篇)	震檀學會(李丙濤・金載元)	ソウル 乙酉文化社	韓國國立國會圖書館
韓國史(年表)	震檀學會	ソウル 乙酉文化社	韓國國立國會圖書館

韓國思想史	金 得 楓	ソウル	南山堂	韓國國立國會圖書館
韓國書畫人名辭書	金 榮 胤	ソウル	漢陽文化社	金 榮 胤氏
韓國書畫人名辭書	金 榮 胤	ソウル	漢陽文化社	ソウル大學附屬圖書館
韓國女性文化論叢 (金活蘭博士教職 勤續四十周年紀念)	紀念論文集編輯委員會編	ソウル	梨花女子大學校出版部	梨花女子大學校
韓國女性文化論叢	金活蘭博士教職勤續四十周年紀念 論文集編輯委員會編	ソウル	梨花女子大學校出版部	韓國國立國會圖書館
韓國年鑑 一九五九	韓國年鑑編輯會	ソウル	鮮美印刷所	韓國國立國會圖書館
韓國年中行事大觀	李 義 宅	ソウル	國民報社	韓國國立國會圖書館
韓國野談史話全集 一	金 東 仁	ソウル	東國文化社	韓國國立國會圖書館
韓國歷代名詩全書 (古典翻譯一輯)	尹世鐸編 文獻編纂會、李丙斗譯	ソウル	文獻編纂會出版部	韓國國立國會圖書館
騎驢隨筆全 (韓國史料叢書 第二)	國史編纂委員會	ソウル	東國文化社	韓國國立國會圖書館
經濟年鑑 (四二九一年度)	劉 彰 順編輯	ソウル	韓國銀行調查部	韓國國立國會圖書館
經濟年鑑 (四二九二年版)	劉 彰 順編輯	ソウル	韓國銀行調查部	韓國國立國會圖書館
合同年鑑	金 東 潐 (合同通信社)	ソウル	合同通信社	韓國國立國會圖書館
抗日殉國義烈士傳	吳 在 植	ソウル	行政新聞社出版局	韓國國立國會圖書館
國 會 報 二六六	國會編輯委員會編	ソウル	大韓民國國民議院事務處	韓國國立國會圖書館

國漢最新弘字玉篇

弘字出版社編輯部

ソウル 弘字出版社

韓國國立國會圖書館

國史上の諸問題 第一、二輯

國史編纂委員會

ソウル

韓國國立國會圖書館

二冊

國史 新講

李弘植・申奭鎬・韓佑肋・曹佐

ソウル 一潮閣

韓國國立國會圖書館

錦共著

國史の指導理念

李 丙 燾

ソウル 一潮閣

韓國國立國會圖書館

金剛三昧經論

〔新羅〕元 曉述

ソウル 東國大學校

東國大學校

金剛般若波羅蜜經

ソウル 東國大學校

東國大學校

詩集 卅 四 世

李 鳳 順

ソウル 梨花女子大學校出版部

梨花女子大學校

修信使記錄 全 (韓國史料叢書

國史編纂委員會

ソウル 韓國史學會

韓國國立國會圖書館

第九)

從政年表 陰晴史 全 (韓國史料叢

國史編纂委員會

ソウル 韓國史學會

韓國國立國會圖書館

書 第六)

主要各國社會保障制度一覽表

民議院事務處

ソウル 韓國民議院事務處法制

韓國國立國會圖書館

新婚姻法研究 (韓國研究叢書第一

金 晴 洙

ソウル 韓國研究圖書館

韓國國立國會圖書館

輯 法律)

壬 戌 錄 全 (韓國史料叢書

國史編纂委員會

ソウル 宇鍾社

韓國國立國會圖書館

第八)

新百科辭典	김성준	ソウル	東亞出版社	韓國國立國會圖書館
新羅古蹟解說	孫大鎬	ソウル	善一社	韓國國立國會圖書館
世宗王朝國譯藏經楞嚴經 全十卷		ソウル	東國大學校	東國大學校
大韓民國建國十年誌	康晉和	ソウル	大韓民國建國十年誌刊行會	韓國國立國會圖書館

韓國大百科事典 一~六 六冊	金益達	ソウル	學園社	韓國國立國會圖書館
朝鮮科學史	洪以燮	ソウル	正音社	韓國國立國會圖書館
圖書分類表 (十進分類表)	國會圖書館編	ソウル	大韓民國國會事務處	韓國國立國會圖書館
東洋六十年野史	申淳甲 (渭林學人)	ソウル	彰文社	韓國國立國會圖書館
梅泉野錄 全 (韓國史料叢書)	國史編纂委員會編	ソウル	新志社	韓國國立國會圖書館

第一)

白性郁博士頌壽記念佛教學論文集	白性郁博士頌壽記念事業委員會	ソウル	東國大學校	東國大學校
白性郁博士頌壽記念佛教學論文集	白性郁博士頌壽記念事業委員會	ソウル	東國大學校	韓國國立國會圖書館
閔忠正公遺稿 全 (韓國史料叢書)	國史編纂委員會	ソウル	韓國史學會	韓國國立國會圖書館

第七)

民族正義의 喊聲—韓國의 統一 方案	國土統一研究會	ソウル	韓國文化公社	韓國國立國會圖書館
(韓民族絶叫의 血書!)				

民族代表三十三人傳

吳 在 植

ソウル 東方文化社

韓國國立國會圖書館

六 堂 研 究 附六堂文選

洪 一 植

ソウル 日新社

韓國國立國會圖書館

梁 琴 新 譜 韓國音樂小史

梁 德 壽

ソウル 通文館

韓國國立國會圖書館

歷代國會議員選舉狀況 (參考資料)

大韓民國國會民議院事務處法制

韓國國立國會圖書館

一六)

調查局

鷺 山 文 選 (紀行、詩歌、隨筆)

鷺 山 李 殷 相

ソウル 永昌書館

韓國國立國會圖書館

研究)

서 울 年 鑑

ソウル ソウル新聞社

韓國國立國會圖書館

購入單行本

書 名

著(編)者

發 行 所

刊 年

乙丑正月二十五日市廳書冊 一冊

癸卯十一月二十日補幣所御事件記

現代朝鮮文學選集 一三

抗日武裝鬭爭回想記 一、二集 二冊

朝鮮勞働黨出版社

一九五九

高麗史別錄 乾、坤 二冊

國 文 正 理

十九世紀後半葉日本帝國主義統治末期朝鮮社

朝鮮勞働黨出版社

一九五九

會經濟

新生英韓辭典 (New Life English-

柳 澄 基

ソウル 崇文社

一九五四重版

Korean Dictionary)

大同江流域古代墳墓發掘報告

忠 烈 實 錄

一九五八

朝鮮古典文學選集 一

一九五九

朝鮮文學通史 上

一九五九

東學亂記錄 上、下 (韓國史料叢書

國史編纂委員會

一九五九

第十) 二冊

備邊司 謄錄

國史編纂委員會

ソウル 東國文化社

一九五九

一、自光海君九年丁巳正月至仁祖二十六年戊子十二月

二、自仁祖二十七年己丑正月至顯宗九年戊申十二月

三、自顯宗十年己酉正月至肅宗十二年丙寅十二月

四、自肅宗十三年丁卯正月至同二十六年庚辰十二月

五、自肅宗二十八年壬午正月至同三十六年庚寅八月

六、自肅宗三十六年庚寅九月至同四十三年丁酉十二月

七、自肅宗四十四年戊戌正月至英祖二年丙午十二月

八、自英祖三年丁未正月至同七年辛亥三月

九、自英祖七年辛亥四月至同十一年乙卯三月

十、自英祖十一年乙卯四月至同十六年庚申九月

十一、自英祖十六年庚申十月至同二十五年己巳十一月

十二、自英祖二十五年己巳十二月至同三十三年丁丑八月

十三、自英祖三十三年丁丑九月至同三十九年癸未八月

十四、自英祖三十九年癸未九月至同四十六年庚寅八月

十五、自英祖四十六年庚寅九月至正祖五年辛丑閏五月

戊寅正月市廳有司先上記

羅津草島原始遺跡發掘報告書

歷史論文集 第三集

朝鮮民主主義人民共和國科學院

一九五五

一九五九

受贈定期刊行物

誌名	卷號	發行所	寄贈者
亞細亞研究	一卷二號	高麗大學校亞細亞問題研究所	同
經商學報	九、一〇輯	中央大學校・經商大學・經商學學生會	同上
國會報	二三、二六號	大韓民國議院事務處	韓國國立國會圖書館
國史上諸問題	三號	國史編纂委員會	韓國國立國會圖書館
史學研究	一、四號	韓國史學會	韓國國立國會圖書館

震檀學報	二〇輯	震檀學會	李丙 齋氏
人文科學	四〇五輯	延世大學校文科大學	同 上
青丘大學論文集	一〇周年紀念號(一九五八)、 二輯(一九五九)	青丘大學	同 上
ソウル大學校論文集	人文社會科學 七〇八卷	ソウル大學校	ソウル大學校附屬圖書館
中央大學校經濟學研究會論集	一卷一號、二卷一〇二號	中央大學校經濟學研究會	同 上
中央大學校論文集	二〇三輯	中央大學校	中央大學校
東方學志	四輯	延世大學校東方學研究所	同 上
文耕	七號	中央大學校文理科大學	中央大學校
文理大學報	六卷一〇二號、七卷一號	ソウル大學校文理科大學	ソウル大學校圖書館
法政論叢	七號	中央大學校法政大學	中央大學校
民俗學報	一〇二輯	韓國民族學會	韓國國立國會圖書館
梨花	一四號	梨花女子大學校	同 上
綠苑	四輯	梨花女子大學校	同 上
歷史學報	一〇號	歷史學會	同 上

交贈單行本

- Almagià, R. &c.: Nel VII Centenario della Nascita di Marco Polo. Venezia, Palazzo Loredan, 1955. 325 p. 4 pl. 8°. Presented by Prof. K. Enoki.
- Aubin, Jean: Deux sayyids de Bam au X^{ve} siècle—contribution à l'histoire de l'Iran timouride. Mainz, Akad. d. Wissens. u. d. Lit., 1956. 129 p. 8°. (Akad. d. Wissens. u. d. Lit., Abh. Geistes- u. sozialw. Klasse, Jahrgang 1956, Nr. 7). Presented by the publisher.
- Ballantine, Joseph W.: Formosa—a problem for United States foreign policy. Washington, the Brookings Institution, 1952. xi, 218 p. 8°. Presented by Library of Congress.
- Bauer, Wolfgang: Der chinesische Personennamen. Wiesbaden, Otto Harrassowitz, 1959. 406 p. 8°. (Asiatische Forschungen, Band 4). Presented by Sinologischen Seminar der Universität Göttingen.
- Baumhoff, Martin A.: California Athabascan groups. Berkeley, Univ. of California Press, 1958. v. 157-235 p. 4°. (Anthropological Records, 16:5). Presented by University of California Press.
- Beer, John Joseph: The emergence of the German dye industry. Urbana, the Univ. of Ill. Press, 1959. vii, 168p. 8°. (Illinois Studies in the Social Sciences, Vol. 44). Presented by Univ. of Illinois Library.
- Belden, Jack: China shakes the world. New York, Harper, 1949. vii, 524 p. 8°. Presented by International House of Japan Library.
- Bellah, Robert N.: Tokugawa religion—the values of pre-industrial Japan. Illinois, the Free Press, 1957. ix, 249 p. 8°. Presented by Library of Congress.
- Belpaire, Bruno: T'ang Kien Wen Tse. Paris, 1959. 432 p. 8°. Presented by Prof. J. Mullier.
- Bezacier, Louis: Relevés de monuments anciens du Nord Viêt-Nam. Paris, 1959. 85 p. 85 pl. f⁴. Presented by

École Française d'Extrême-Orient.

Bardman, Eugene P. *ed.*: Asian studies in liberal education. Washington, Association of American Colleges, 1959. 50 p. 8°. Presented by Asian Society, Inc.

Bonnant, Georges: The honorable East India Company's press—une imprimerie Britannique a Macao (1814~1894).

Coinbra, 1958. 14 p. 8°. Presented by the author.

Brainerd, George W.: The archaeological ceramics of Yucatan. Berkeley, Univ. of Calif. Press, 1958. iii, 374 p. 3 pl. 4°. (Anthropological Records, 19). Presented by the publisher.

Briggs, L. Cabot: The living races of the Sahara desert. Cambridge, Mass., Peabody Museum, 1958. xii, 217 p. 2 col. pl. 74 fig. 8°. (Papers of the Peabody Museum of Archaeology and Ethnology, Harvard Univ. Vol. 28, No. 2). Presented by the publisher.

Bright, William: An outline of colloquial Kanaada. Poona, 1958. viii, 75 p. 8°. (Deccan College Monograph Series: 22). Presented by Deccan College Postgraduate and Research Institute.

Buhot, Jean: Histoire des arts du Japon. I. Des origines à 1850. Paris, 1949. 270 p. 88 pl. 7 map. f°. (Annales du Musée Guimet, Bibliothèque d'art. N.S. 5). Presented by Library of Congress.

Catalogue of periodicals in European languages in Kansai University. 關西大學雜誌目錄 歐文篇 1st edn. Osaka, Kansai University Library, 1959. 82 p. 8°. (Kansai University Library Bibliographical Series No. 4). Presented by the publisher.

Chandrasekhar, S.: Hungry people and empty lands—an essay on population problems and international tensions, London, George Allen & Unwin, 1954. 306 p. 8°. Presented by International House of Japan Library.

Chuo University Library: Catalogue of foreign books added to the Chuo University Library (Under-graduate), 1958. Tokyo, 1959. iii, 267 p. 8°. Presented by the publisher.

Clark, John: Hunza—lost kingdom of the Himalayas. New York, Funk & Wagnalls, 1956. xii, 270 p. 31 pl. 8°. Presented by Library of Congress.

Comber, L. F.: Chinese secret societies in Malaya—a survey of the Triad Society from 1800 to 1900. New York,

Augustin, 1959. viii, 324 p. 8°. (Monographs of the Association for Asian Studies, VI). Presented by Prof. Hiroso Iwai.

The common classification scheme of Buddhist books. Tokyo, Buddhist Library Association, 1959. 50 p. 8°. Presented by the publisher.

Coniston, Ralph: The future of freedom in the Orient. New York, Norton, 1947. 233 p. 8°. Presented by International House of Japan Library.

Conroy, Hilary: The Japanese frontier in Hawaii, 1868~1898. Berkeley, Univ. of Calif. Press, 1953. vi, 175 p. 8°. (Univ. of Calif. Publications in History, Vol. 46). Presented by Library of Congress.

Consten, Eleanor v. Erdberg: Das alte China. Stuttgart, Gustav Kilpper, 1958. 261 p. 103 pl. 31 fig. 2 maps. 4°. (Grosse Kulturen der Frühzeit, Neue Folge). Presented by Deutsche Forschungsgemeinschaft.

Conze, Edward *selected & trans.*: Buddhist scriptures. Harmondsworth, 1959. 250 p. 12°. Presented by Mr. Edward Conze.

Creel, George: Russia's race for Asia. New York, Bobbs-Merrill, 1949. 264 p. 8°. Presented by International House of Japan Library.

Diehl, Carl Gustav: Instrument and purpose, Studies on rites and rituals in South India. Lund, 1956. 394 p. 8°. Presented by Lund University Library.

Divoux, Gisela: Untersuchungen über den Milchsäuregehalt von Liquor und Serum in Beziehung zum Leichenalter. Bonn, 1958. 29 p. 8°. Presented by Universitäts Bibliothek Bonn.

Dupont, Pierre: L'archéologie Mène de Dvāravati. Texte & Planches. Paris, École Française d'Extrême-Orient, 1959. 2 vols. 4°. (Publications de l'École Française d'Extrême-Orient, Vol. 41). Presented by the publisher.

Durand, Maurice: Technique et panthéon des médiums vietnamiens. Paris, Ecole Française d'Extrême-Orient, 1959. 333p. 8°. (Publications de l'École Française d'Extrême-Orient, Vol. 45). Presented by the publisher.

Dutt, Nalinaksha *ed.*: Gilgit manuscripts. Vol. IV. Calcutta, 1959. xxxv, 214, vii p. 8°. Presented by the editor.

Eberhard, Wolfram & Boratav, Pertev Naili: Typen Türkischer Volksmärchen. Wiesbaden, Franz Steiner, 1953.

- xi, 506 p. 8°. (Akademie der Wissenschaften und der Literatur, Veröffentlichungen der Orientalischen Kommission, Band V). Presented by Deutsche Forschungsgemeinschaft.
- Feriz, Hans: Zwischen Peru und Mexico. Text und Abbildungen. Amsterdam, 1959. 2 vols. 8°. (Koninklijk Instituut voor de Tropen, Mededeling CXXXIV, afd. Cult. en Phys. Anthropologie, No. 63). Presented by Koninklijk Instituut voor de Tropen.
- Fieid, Henry: An anthropological reconnaissance in West Pakistan, 1955. Cambridge, the Peabody Museum, 1959. xii, 332 p. 52 pl. 8°. (Papers of the Peabody Museum of Archaeology and Ethnology. Vol. 52). Presented by the publisher.
- Fieid, Hery: Body-marking in Southwestern Asia, Cambridge, The Peabody Museum, 1958. xiii, 162 p. 37 fig. 4°. (Papers of the Peabody Museum of Archaeology and Ethnology, Harvard Univ. Vol. 45, No. 1). Presented by the publisher.
- Fischer, Otto: Wanderfahrten eines Kunstfreundes in China und Japan. Berlin, 1939. 507 p. 8°. Presented by Library of Congress.
- Fitzgerald, C.P.: China—a short cultural history. New York, Frederick A. Praeger, 1935. xviii, 619 p. 21 pl. 1 map. 8°. Presented by International House of Japan Library.
- Fong, Wen: The lohans and a bridge to heaven. Washington, 1958. xii, 64 p. 8°. (Freer Gallery of Art, Occasional Papers, Vol. 3, No. 1). Presented by Smithsonian Institution.
- Foreign community directory 1958. Seoul, Yungmoonsa, 1958. 364 p. 8°. Presented by National Assembly Library, Republic of Korea.
- The foreign community directory 1959. Seoul, the Yungmoonsa Publishing Co., 1959. 364 p. many pls. 4 maps. 8°. Presented by National Assembly Library, Republic of Korea.
- Franke, Herbert. *hrsg.*: Akten des Vierundzwanzigsten Internationalen Orientalisten-Kongresses München, 28. August bis 4. September 1957. Wiesbaden, Deutsche Morgenlandische Gesellschaft, 1959. xii, 776 p. 8°. Presented by XXIV. Internationaler Orientalisten-Kongress Organisationskomitee.

- Franke, Herbert, *hrsg.*: Akten des Vierundzwanzigsten Internationalen Orientalisten-Kongresses München, 28. August bis 4. September 1957. Wiesbaden, Deutsche Morgenlandische Gesellschaft, 1959. xii, 776 p. 8°. Presented by Orient Buchhandlung am Friesenplatz.
- Freyn, Hubert: *Free China's new deal*. New York, Macmillan, 1943. xviii, 277 p. 8°. Presented by International House of Japan Library.
- Friese, Heinz: Das Dienstleistungs-System der Ming-Zeit (1368~1644). Hamburg, 1959. 163p. 8°. (Mitteilungen der Gesellschaft für Natur- und Völkerkunde Ostasiens, Bd. XXXV, A) Presented by Universitäts Hamburg, Seminar für Sprache und Kultur Chinas.
- Gabel, Norman E.: A racial study of the Fijians. Berkeley, Univ. of California Press, 1958. vi, 44 p. 4°. (Anthropological Records, 20:1). Presented by Univ. of California Press.
- Ganeshundaram, P. C.: Distribution characteristics of speech-elements in Tamil. Poona, 1959. ix, 134 p. 8°. (Decan College Dissertation Series: 19). Presented by Decan College Postgraduate and Research Institute.
- Gershevitch, Ilya: The Avestan hymn to Mithra. Cambridge, University Press, 1959. xv, 357 p. 8°. (Univ. of Cambridge, Oriental Publications, No. 4). Presented by Univ. of Cambridge.
- Glasenapp, Helmuth von: Buddhismus und Gottesidee. Mainz, Akad. d. Wissens. u. d. Lit., 1954. 131 p. 8°. (Akad. d. Wissens. u. d. Lit., Abhandlungen d. Geistes- u. Sozialwissenschaftlichen Klasse, Jahrgang 1954, Nr. 8). Presented by the publisher.
- Graham, David Crockett: The customs and religion of the Chiang. Washington, Smithsonian Institution, 1958. vii, 113p. 16 pl. 8°. (Smithsonian Miscellaneous Collections, Vol. 135, No. 1). Presented by the publisher.
- Greve, R. & Kroeseche B.: Russisches rückläufiges Wörterbuch. Lieferung 4. Berlin, 1959. 240 p. 8°. Presented by Deutsche Forschungsgemeinschaft.
- Greve, R. & Kroeseche, B.: Russisches rückläufiges Wörterbuch. Lieferung 5 & 6. Berlin, 1959. 2 vols. 8°. (Osteuropa-Institut an der Freien Universität Berlin, Slavistische Veröffentlichungen, Bd. 13). Presented by Deutsche Forschungsgemeinschaft.

Haenisch, Erich: Dokumente aus dem Jahre 1788 zur Vorgeschichte des Gorkha-Krieges. München, Bayerischen Akademie der Wissenschaften, 1959. 45p. 66 pl. 4° (Bayerische Akademie der Wissenschaften Philosophisch-Historische Klasse, Abhandlungen N.F. Heft 49). Presented by the publisher.

Haenisch, Erich, *hrrsg.*: Der Kienlung-Druck des mongolischen Geschichtswerkes Erdeni yin tobci von Sagang Secen. Wiesbaden, Franz Steiner, 1959. viii, 271 p. 8°. (Akademie der Wissenschaften und der Literatur, Veröffentlichungen der Orientalischen Kommission, Bd. 13). Presented by Prof. Erich Haenisch.

Harper, Donald V.: Economic regulation of the motor trucking industry by the States. Urbana, the Univ. of Ill. Press, 1959. vii, 320 p. 8°. (Illinois Studies in the Social Science, Vol. 43). Presented by the publisher.

Heissig, Walther: Die Familien- und Kirchengeschichtsschreibung der Mongolen. Teil I: 16~18. Jahrhundert. Wiesbaden, Harrassowitz, 1959. 206 p. 111 pl. 8°. (Asiatische Forschungen, Band 5). Presented by Sinologischen Seminar der Universität Göttingen.

Hermanns, Matthias: Die Nomaden von Tibet. Wien, 325p. 54pl. 4 maps. 8°. Presented by Prof. K. Enoki.

Horst, Heribert: Tīmūr und Hōgā 'Alī—Ein Beitrag zur Geschichte der Šafawiden. Mainz, Akad. d. Wissens. u. d. Lit., 1958. 49p. 10 pl. 8°. (Akad. d. Wissens. u. d. Lit., Abh. Geistes- u. Sozialw. Klasse, Jahrgang 1958, Nr. 2). Presented by the publisher.

House of Representatives, Republic of Korea: A description of the National Assembly, Republic of Korea. Revised. Seoul, 1959. 81, 51 p. many tables. 8°. Presented by National Assembly Library.

House of Representatives, Republic of Korea: Selected laws and regulations pertaining to the National Assembly, Republic of Korea. Revised. Seoul, 1958. vii, 248, 151p. 4°. Presented by National Assembly Library.

Hunter, Edward: Brain-washing in Red China—the calculated destruction of men's minds. New York, Vanguard, 1951. vii, 311 p. 8°. Presented by International House of Japan Library.

Ihara, Saikaku: The Japanese family storehouse, or the millionaires' gospel modernised. (Nippon eitai-gura. or daifuku shin chōja kyō). Trans. from the Japanese by G. W. Sargent. Cambridge, Univ. Press, 1959. 1, 281 p. 5 maps. 8°. (Univ. of Cambridge, Oriental Publications, No. 3). Presented by Univ. of Cambridge.

- International Symposium on History of Eastern and Western Cultural Contacts. Organized by the Japanese National Commission for Unesco, with the cooperation of Unesco, on 28 October~5 November 1957, Tokyo and Kyoto. Tokyo, 1959. 274 p. 8°. Presented by Japanese National Commission for Unesco.
- Isaacs, Harold R.: No peace for Asia. New York, Macmillan, 1947. x, 295 p. 8°. Presented by International House of Japan Library.
- Ishii, Ryosuke *ed.*: Japanese legislation in the Meiji era, tr. & adapted by W. J. Chambliss. Tokyo, Pan-Pacific Press, 1958. ii, 4, 741 p. 8°. (Centenary Culture Council Series). Presented by Centenary Culture Council.
- Iskandar, Teuku: De hikajat a'jêh. 's-Gravenhage, 1959. 205 p. 8°. Presented by De Bibliothecaris der Rijksuniversiteit.
- Istituto Italiano per il Medio ed Estremo Oriente: Mostra d'Arte Iranica-Exhibition of Iranian art. Milano, 1956. 303 p. 113 pl. 8°. Presented by Prof. K. Enoki.
- Japanese National Commission for Unesco: Reports on institutions for Oriental studies in various countries. Tokyo, 1959. 53 p. 8°. Presented by Japanese National Commission for Unesco.
- Japanese National Commission for Unesco: Research in Japan in history of Eastern and Western cultural contacts—its development and present situation. 1957. 154 p. 8°. Presented by Japanese National Commission for Unesco.
- Jones, Stanleigh H. &c. *ed.*: Researches in the social sciences on Japan: Volume II. New York, East Asian Institute of Columbia University, 1959. vi, 134 p. 4°. (Columbia University, East Asian Institute Studies, No. 6). Presented by the publisher.
- Kannisto, Artturi, *gesammelt & übersetzt*: Wegulische Volksdichtung. V. Band. Helsinki, Suomalais-Ugrilainen Seura, 1959. 362 p. 8°. (Mémoires de la Société Finno-Ougrienne, 116). Presented by the publisher.
- Kohlpoth, Gerhard. *vergelegt*: Die Inhaltsstoffe von Leonurus Cardiacus und Leonurus Sibiricus. Bonn, 1959. 62 p. 8°. Presented by Universitätsbibliothek Bonn.
- Landon, Kenneth Perry: The Chinese in Thailand. London, Oxford Univ. Press, 1941. xi, 310 p. 8°. Presented by

Library of Congress.

- Latz, Josef: Das Buch der Wezire und Staatssekretäre von Ibn 'Abdūs Al-Ġāhšiyārī—Anfänge und Umayyadenzeit. Bonn, 1958. ix, 182 p. 8°. Presented by Universitäts Bibliothek Bonn.
- Lenczowski, George: The Middle East in world affairs. New York, Cornell Univ. Press, 1952. xx, 459 p. 8°. Presented by International House of Japan Library.
- Leslau, Wolf: A dictionary of McCā (Southwestern Ethiopia). Berkeley, Univ. of Calif. Press, 1959. 83 p. 8°. (Univ. of Calif. Pub. in Linguistics, Vol. 18). Presented by the publisher.
- The Library of Enno Littmann 1875~1958, with an autobiographical sketch. Leiden, Brill, 1959. xxiv, 355 p. 8°. Presented by the publisher.
- Li Chi: The use of figurative language in Communist China. Berkeley, Center for Chinese Studies, Institute of International Studies, Univ. of Calif., 1958. ii, 85 p. 4°. (Studies in Chinese Communist Terminology, No. 5). Presented by the publisher.
- Liebert, Gösta: Die Indoeuropäischen Personalpronomina und die Laryngaltheorie. Ein Beitrag zur Erforschung der Pronominalbildung. Lund, 1957. 146 p. 8°. (Lunds Universitets Arsskrift. N.F. Avd. 1. Bd. 52, Nr. 7). Presented by Lund University Library.
- Liebert, Gösta: Zum Gebrauch der w-Demonstrativa im ältesten Indoiranischen. Lund, 1954. 93 p. 8°. (Lunds Universitets Arsskrift. N.F. Avd. 1. Bd 50, Nr. 9). Presented by Lund University Library.
- List of Sanskrit manuscripts (Kawaguchi and Takakusu Collection) in the Tokyo University Library. Tokyo University Library, 1959. 43 p. 4°. Presented by the publisher.
- Low, Francis: Struggle for Asia. New York, Frederick A. Praeger, 1955. ix, 239 p. 8°. Presented by International House of Japan Library.
- Lozinski, B. Philip: The original homeland of the Parthians. 's-Gravenhage, Mouton & Co., 1959. 55 p. 8°. Presented by the author.
- MacNair, Harley Farnsworth: China. Berkeley, Univ. of Calif. Press, 1946. xxix, 573 p. 8°. Presented by Inter-

national House of Japan Library.

Malleret, Louis: *L'archéologie du delta du Mékong*. Tome I: *L'exploration archéologique et les fouilles d'Oc éo*. Texte et planches. Paris, École Française d'Extrême-Orient, 1959. 2 vols. 4°. (Publication de l'École Française d'Extrême-Orient, Vol. XLIII). Presented by the publisher.

Matsumoto, Tokumyo: *Āryasuvikrāntavikrāmipariprcchāprajāñāpāmītiñirdeśasārdhadvisāhasrikābhagavatāryaprajāpāramitā*. Tokyo, Heibonsha, 1956. v, 102 p. 1 pl. 8°. Presented by the author.

Maule, Quentin F.: *Votive religion at Caere — prolegomena*. Berkeley, Univ. of Calif. Press, 1959. x, 128 p. 5 pl. 8°. (Univ. of Calif. Publications in Classical Archaeology, Vol. 4, No. 1). Presented by the publisher.

Menges, Karl Heinrich: *Das Čayatajische in der persischen Darstellung von Mirzā Mahdi Xān*. Mainz, Akad. d. Wissens. u. d. Lit., 1956. 117 p. 8°. (Akad. d. Wissens. u. d. Lit., Abh. Geistes- u. Sozialw. Klasse, Jahrgang 1956.

Nr. 9). Presented by the publisher.

Menges, Karl Heinrich: *Glossar zu den volkskundlichen Texten aus Ost-Türkistan II*. Mainz, Akad. d. Wissens. u. d. Lit., 1954. 139 p. 8°. (Akad. d. Wissens. u. d. Lit., Abhandlungen d. Geistes- u. Sozialwissenschaftlichen

Klasse, Jahrgang 1954, Nr. 14). Presented by the publisher.

Miklós, Zsira: *Osztyák (Chanti) Hösénekek*. II. Kötet Budapest, Akadémiai Kiadó, 1951. 379 p. 12°. (Reguly-könyvtár, 2). Presented by A Magyar Tudományos Akadémia Nyelvtudományi Intézetének Könyvtára.

Miller, Robert James: *Monasteries and culture change in Inner Mongolia*. Wiesbaden, Otto Harrassowitz, 1959. xi, 152 p. 8°. (Asiatische Forschungen, Band 2). Presented by Sinologischen Seminar der Universität Göttingen.

Minorsky, V. *tr.* from the Persian: *Calligraphers and painters — a treatise by Gađi Ahmad, son of MirMunshi* (circa A. H. 1015/A. D. 1606). Washington, 1959. x, 223 p. 8 pl. 8°. (Freer Gallery of Art, Occasional Papers, Vol. 3, No. 2). Presented by the translator.

Morris, David: *China changed my mind*. Boston, Houghton Mifflin, 1948. 202 p. 8°. Presented by International House of Japan Library.

Murphy, Robert F.: *Mundurucú religion*. Berkeley, Univ. of Calif. Press, 1958. iv, 146 p. 5 pl. 8°. (Univ. of Calif.

- Publications in American Archaeology and Ethnology. Vol. 49, No. 1). Presented by the publisher.
- Naert, Pierre: La situation linguistique de l'Aïnou. I. Aïnou et Indonéopéen. Lund, 1958. 234 p. 8°. (Lund Universitets Arsskrift. N.F. Avd. 1. Bd. 53, Nr. 4). Presented by Lund University Library.
- Nichi-Ran Kōshoshi Kenkyūkai: Japans Dagb register gehouden in't Comptoir Nangasakij, Anno 1823 & 1824/1825. Tokyo, 1958-59. 2 vols. f°. Presented by Nichi-Ran Kōshoshi Kenkyūkai.
- Philippi, Donald L.: Norito—a new translation of the ancient Japanese ritual prayers. Tokyo, the Institute for Japanese Culture and Classics, Kokugakuin Univ., 1959. 95 p. 8°. Presented by the publisher.
- Phillips, Joseph D.: Little business in the American economy. Urbana, the Univ. of Illinois Press, 1958. ix, 135 p. 8°. (Illinois Studies in the Social Sciences, Vol. 42). Presented by the publisher.
- Payne, Robert: China awake. New York, Dodd, Mead, 1947. ix, 424p. 8°. Presented by International House of Japan Library.
- Payne, Robert: Forever China. New York, Dodd, Mead, 1945. ix, 573 p. 8°. Presented by International House of Japan Library.
- Rintchen, B.: Les matériaux pour l'étude du chamanisme Mongol. I. Sources littéraires. Wiesbaden, Otto Harrassowitz, 1959. xii, 124 p. 8°. (Asiatische Forschungen, Bd. 3). Presented by Sinologischen Seminar der Universität Göttingen.
- Robins, R.H.: The Yurok language—grammar, texts, lexicon. Berkeley, Univ. of California Press, 1958. xiv, 300p. 4°. (Univ. of Calif. Publications in Linguistics, Vol. 15). Presented by the publisher.
- Roosevelt, Kermit: Arabs, oil and history—the story of the Middle East. New York, Harper, 1947. 271 p. 8°. Presented by International House of Japan Library.
- Rüdenberg, Werner: Chinesisch-Deutsches Wörterbuch. 3. Lieferung. Dritte erweiterte, völlig neu bearbeitete Auflage von Hans O.H. Stange. Hamburg, Cram, de Gruyter, 1959. pp. 385–576. 8°. Presented by the publisher.
- Rundgren, Frithiof: Intensiv und Aspektkorrelation—Studien zur äthiopischen und akkadischen Verbalstammbildung. Uppsala, 1959. 331 p. 8°. (Uppsala Universitets Arsskrift, 1959: 5). Presented by Universitetsbiblioteket, Uppsala.

psalm.

Sang-Su, Choe: A study of the mask play of Ha-hoe. Seoul, Korea Books Publishing Co., 1959. 28, ii, 19 p. 20 pl. 2 tables. 8°. (Korean Folklore Studies Series, No. 2). Presented by National Assembly Library.

Schindler, B. & Simon, W. *ed.*: Structure drill through speech patterns. 1: Structure drill in Chinese. London, Lund Humphried, 1959. xii, 101 p. 12°. Presented by the publisher.

Schindler, B. &c. *ed.*: Structure drill through speech patterns. 4: Structure drill in Cantonese. First fifty patterns by K. P. K. Whitaker. London, Percy Lund, Humphries, 1959. xxix, 101 p. 12°. Presented by the publisher.

Schott, Siegfried: Die Deutung der Geheimnisse des Rituals für die Abwehr des Bösen—eine altägyptische Übersetzung. Mainz, Akademie der Wissenschaften und der Literatur, 1954. 95 p. 4 pl. 8°. (Akademie der Wissenschaften und der Literatur, Abhandlungen der Geistes- und Sozialwissenschaftlichen Klasse, Jahrgang 1954, Nr. 5). Presented by the publisher.

Schröder, Dominik: Aus der Volksdichtung der Monguor. 1. Teil: Das weisse Glücksschaf (Mythen, Märchen, Lieder). Wiesbaden, Otto Harrassowitz, 1959. 182 p. 8°. (Asiatische Forschungen, Band 6). Presented by Sinologischen Seminars der Universität Göttingen.

Schulz, Friedrich A.: Die Philosophisch-Theologischen Lehren des Pāsupata-Systems nach dem Pañcarthabhāṣya und der Ratnaṭīkā. Bonn, 1958. 149 p. 8°. Presented by Universitäts Bibliothek Bonn.

Schumann, Hans Wolfgang: Indologie—Bedeutung und Bedeutungsentwicklung des Terminus Samkhāra im frühen Buddhismus. Bonn, 1957. 102 p. 8°. Presented by Universitäts Bibliothek Bonn.

Serruys, Paul L.-M.: The Chinese dialects of Han time according to Fang Yen. Berkeley, Univ. of Calif. Press, 1959. xix, 350 p. 1 map. 8°. (Univ. of Calif., Publications in East Asiatic Philology, Vol. 2). Presented by the publisher.

Shejwalkar, Tryambak Shankar: Nagpur affairs, Vol. 2. Poona, 1959. xvii, 244 p. 8°. (Deccan College Monograph Series; 14). Presented by Deccan College Postgraduate and Research Institute.

Sieg, E. & Siegling, W.: Tocharische Sprachreste. Sprache B. Heft 2. Fragmente Nr. 71-653. Göttingen, Vandenhoeck & Ruprecht, 1959. 100 p. 8°. (Abhandlungen der Akademie der Wissenschaften in Göttingen, Philologisch-Historische Klasse, 107. Band). Presented by the publisher.

- hoeck & Ruprecht, 1953. 408 p. 8°. Presented by Deutsche Forschungsgemeinschaft.
- Simon, W.: How to study and write Chinese characters. Chinese radicals and phonetics. With an analysis of the 1200 Chinese basic characters. 2nd rev. ed. London, Lund Humphries, 1959. xliv, 439 p. 12°. Presented by the author.
- Simonsen, P.: Funn og Fortidsminner i Indre Salten. Tromsø, Tromsø Museum, 1958. 33 p. 3 maps. 8°. (Antikvariske Registreringer i Nord-Norge I.). Presented by the publisher.
- Singam, S. Durai Raja: India and Malaya through the ages (a pictorial survey). Singapore, 1954. 132 p. 4°. Presented by Prof. Yeh Hua-fen.
- Singam, S. Durai Raja: Malayan place names (port weld to Kuantan). Singapore, 1957. 282 p. 8°. Presented by Prof. Yeh Hua-fen.
- Smith, Robert Anar: Our future in Asia. New York, The Viking Press, 1940. ix, 306 p. 8°. Presented by International House of Japan Library.
- Smith, Warren W.: Confucianism in modern Japan—a study of conservatism in Japanese intellectual history. Tokyo, Hokuseido Press, 1959. xiv, 285 p. 8°. Presented by Prof. Yasukazu Suematsu.
- Sohn, Pow-key 孫寶基 *comp.*: Biographical tables of the Koryō period 高麗人名錄. Berkeley, East Asia Studies, Institute of International Studies, Univ. of California, 1958. 179 p. 4°. Presented by the publisher.
- Straelen, H. van: Aziatisch dagboek. Voorhout, Foreholte, 1959. 288 p. 8°. Presented by the author.
- Straelen, H. van: The religion of divine wisdom—Japan's most powerful religious movement. Kyoto, Veritas, 1957. 236 p. many pl. 4°. Presented by the author.
- Suzuki, Peter: The religious system and culture of Nias, Indonesia. 's-Gravenhage, Uitgeverij Excelsior, 1959. iv, 179 p. 6 pl. 8°. Presented by De Bibliothecaris der Rijksuniversiteit.
- Tao Te Ching, *tr.*: The great sinderesis. Adelaide, the Hassell Press, 1949. 85 p. 12°. Presented by Institute of Medical and Veterinary Science.
- Tennien, Mark: Chungking listing post. New York, Creative Age Press, 1945. xiv, 201 p. 8°. Presented by Inter-

- national House of Japan Library.
- Treganza, A. E. & Bierman, A.: The Topanga culture, final report on excavations, 1948. Berkeley, Univ. of California Press, 1958. iii, 45-68 p. 4°. (Anthropological Records, 20;2). Presented by the publisher.
- Tschai Fj &c.: Chinesische Blaumusterstoffe. Peking, Verlag für Fremdsprachige Literatur, 1956. 48 pl. 4°. Presented by Library of Congress.
- U.S. Department of State: The Soviet note on Berlin: an analysis. Washington, 1959. 53 p. 8°. (United States policy statement series 1959). Presented by Prof. Yeh Hua-fen.
- Volker, T.: The Japanese porcelain trade of the Dutch East India Company after 1683. Leiden, Brill, 1959. 92p. 24 pl. 8°. (Medelingen van het Rijksmuseum voor Volkenkunde, No. 13). Presented by De Bibliotheecaris der Rijksuniversiteit.
- Wagner, Ewald: Die Überlieferung des Abū Nuwās-Diwān und seine Handschriften. Mainz, Akad. d. Wissens. u. d. Lit., 1957. 73 p. 8° (Akad. d. Wissens. u. d. Lit., Abhandlungen d. Geistes- u. Sozialwissenschaftlichen Klasse, Jahrgang 1957, Nr. 6). Presented by the publisher.
- White, Theodore H. & Jacoby, Annalee: Thunder out of China. New York, xvi, 331 p. 8°. Presented by International House of Japan Library.
- White, Vaughan: Our neighbours, the Chinese. New York, Rinehart, 1946. xiv, 267 p. 8°. Presented by International House of Japan Library.
- Wikander, Stig: Recueil des textes kourmandji. Uppsala, A.-B. Lundequistska, 1959. 108 p. 8°. (Uppsala Universitets Arsskrift 1959:10). Presented by Universitetsbiblioteket, Uppsala.
- Witz, Paul: Kunst und Kult des Sepik-Gebietes (New-Guinea). Amsterdam, Koninklijk Instituut voor de Tropen, 1959. 78 p. 87 pl. 1 map. 8°. (Koninklijk Instituut voor de Tropen Mededeling No. 133, Afdeling Cultuurele en Physische Anthropologie No. 62). Presented by the publisher.
- Yoshimura, Shyuki: Tibetan Buddhismology—the basic original texts of historical Lamaism. Vol. I, II. Kyoto, Research Society for the Eastern Sacred Books, Ryukoku Univ., 1953. 2 vols. 4°. Presented by the author.

- Ауэзов, М. О. & c.: *Қазақар-батыр*. Алма-Ата, Издательство Академии Наук Казахской ССР, 1959. 425 p. 8°. Presented by Академии Наук Казахской ССР.
- Ауэзов, М. О.: Сборник статей к его шестидесятилетию. Алма-Ата, Издательство Академии Наук Казахской ССР, 1959. 265 p. 8°. Presented by Академии Наук Казахской ССР.
- Багаев, М. В.: *Современный Казахский Язык*. Алма-Ата, 1959. 235 p. 8°. Presented by Академии Наук Казахской ССР.
- Бунат, В. В.: Череп человека и стадии его формирования у ископаемых людей и современных рас. Москва, 1959. 283 p. 88 pl. 8°. (Труды Института Этнографии, 49). Presented by Академии Наук СССР.
- Воробьев, М. В.: Древняя Япония. Москва, 1958. 117 p. 30 pl. 1 map. 4°. Presented by Mr. P. Торекба.
- Гайдукевича, В. Ф.: Непогоги бошпорских городов. Москва, Издательство Академии Наук СССР, 1959. 321 p. 8°. (Материалы и исследования по археологии СССР, 69). Presented by Библиотека Академии Наук СССР.
- Григорьев, И. Ф. & c.: *Справочник-путеводитель по библиотеке Академии Наук СССР*. Москва, 1959. 110 p. 12°. (Library of the Academy of Sciences of the USSR, Guide-Book). Presented by Библиотека Академии Наук СССР.
- Добец, Г. Ф.: Труды киргизской археолого-этнографической экспедиции. II. Москва, 1959. 381 p. 8°. Presented by Библиотека Академии Наук СССР.
- Жукот, Е. М.: *Очерки новейшей истории японии*. Москва, 1957. 365 p. 12°. Presented by Mr. Takashiro Kobayashi.
- Иессен, А. А.: Труды азербайджанской (оренбургской) археологической экспедиции. Том 1. Москва, 1959. 452 p. 8°. (Материалы и исследования по археологии СССР 67). Presented by Академии Наук СССР.
- Игнатий юлианович крачковский. Том 4. Москва, 1957. 919 p. 8°. Presented by Prof. K. Enoki.
- Исмаилов, В. А.: Русские продукты и их эквиваленты в казахском языке. Алма-Ата, Издательство Академии Наук Казахской ССР, 1959. 221 p. 8°. Presented by Академии Наук Казахской ССР.
- Луккина, А. Е.: Очерки истории современной японской демократической литературы. Москва, 1955. 190 p. 8°. Presented by Mr. Takashiro Kobayashi.
- Казакты советтик халык эндрл.: Алматы, 1959. 453 p. 8°. Presented by Академии Наук Казахской ССР.
- Князева, Г. А.: Архив Академии Наук СССР Обозрение архивных материалов, Том 4. Москва, Издательство Академии Наук СССР.

- СССР, 1959. 353 p. 8°. (Труды Архива Вушера, 16). Presented by Академии Наук СССР.
Кэси Корпендан сулу: Алматы, Казак ССР ғылым академиясының баспасы, 1959. 353 p. 8°. Presented by Академии Наук
Казахской ССР.
- Кратковский, И. Ю.: Избранные сочинения. Том 5. Москва, Издательство Академии Наук СССР, 1958. 526 p. 8°. Presented by
Библиотека СССР имени В. И. Ленина.
- Масон, В. М.: Древнеземельская культура маргари. Москва, 1959. 215 p. 44. 8°. (Материалы и Исследования по Ар-
хеологии СССР, 73). Presented by Академии Наук СССР.
- Мусағазов, Г. Г.: Современный казахский язык. 1. Алма-Ата, 1959. 139 p. 8°. Presented by Академии Наук Казахской ССР.
- Николюкзая, Т. Н.: Кудигура племен бассейна верхней реки В I Тысячелетии Н. Э. Москва, 1959. 149 p. 53. 8°. Библиотека Ака-
демии Наук СССР.
- Оригина-казахша терминология сөзүгү: 1, 2. Алматы, Казак ССР ғылым Академиясының Баспасы, 1959. 2 vols. 16°. Presented
by Академии Наук Казахской ССР.
- Пещерая, Е. М.: Гончарное производство средней Азии. Москва, 1959. 395 p. 8°. (Труды Института Этнографии, 42). Presen-
ted by Академии Наук СССР.
- Пржевальский, Н. М.: Путешествий в уссурийском крае 1867~1869 гг. Москва, 1947. 310 p. 8°. Presented by Prof. Kazuo
Епоки.
- Проблемы современной японии: Москва, Издательство Восточной Литературы, 1958. 241 p. 12°. (Ученые Записки Института
Востоковедения, 21). Presented by Библиотека СССР имени В. И. Ленина.
- Сарыбаев, Ш. Ш.: Междоуметте в Казахском Языке. Алма-Ата, 1959. 157 p. 8°. Presented by Академии Наук Казахской
ССР.
- Среднеазиатский этнографический сборник. 2. Москва, Издательство Академии Наук СССР, 1959. 409 p. 1. 8°. (Труды Института
Этнографии, Том 47). Presented by Академии Наук СССР.
- Табохаси, Кисси: Японмалычская история японо-китаис (1894~1895 гг.) (田保橋素: 日清戦役外交史の研究). Москва, Иностран-
ной Литературы, 1956. 607 p. 8°. Presented by Академии Наук СССР.

Третьякова, П. Н.: Памятники ватулинецкой культуры. Москва, 1959. 190р. 8°. Presented by Библиотека Академии Наук СССР. Турецкий сборник. Москва, 1958. 203 р. 8°. Presented by М. Р. Топекба.

Хасенова, Акмата: Казак тилинен тушпан гүбүр елениктер. Алматы, 1959. 177 р. 8°. Presented by Академии Наук Казахской ССР.

Жұдырақманов, А.: Қазақстанның Жер-су Аттары. Алматы, 1959. 219 р. 16°. Presented by Академии Наук Казахской ССР. Якимов, А. Т., ed.: Монгольский сборник. Москва, 1959. 201 р. 8°. Presented by Библиотека СССР имени В. И. Ленина. Яковсон, А. Л.: Раннеперсидский хоросонес. Москва, 1959. 362 р. 187 pl. 8°. Presented by Библиотека Академии Наук СССР.

Off prints

Bezacier, Louis: L'archéologie au Viêt-Nam d'après les travaux de l'École Française d'Extrême-Orient. Saigon, France-Asie, 1959. 50 р. 8°. (Repr. from France-Asie, N° 149-150). Presented by École Française d'Extrême-Orient. Crist, Raymond E.: The land and people of the Guajira Peninsula. Washington, Smithsonian Institution, 1958. pp. 339-355. 10pl. 8°. (Repr. fr. the Smithsonian Report for 1957). Presented by the publisher.

De Bary, Wm. Theodore: Some common tendencies in Neo-confucianism. Stanford, Stanford Univ. Press, 1959. 49 р. 8°. (Repr. fr. Confucianism in Action, edited by David S. Nivison and Arthur F. Wright). Presented by the author.

Dubs, Homer H.: The beginnings of Chinese astronomy. pp. 295-300. 8°. (Repr. fr. Journal of the American Oriental Society, Vol. 78, No. 4, Oct.-Dec, 1958). Presented by the author.

Dubs, Homer H.: Han "Hill Censers". pp. 259-264. (Repr. fr. Studia Serica Bernhard Karlgren Dedicata). Presented by the author.

Franke, Wolfgang: Besprechungen ostasiatischer Neuerscheinungen, Ming-shih shih-huo-chih i ch'u. pp. 255-258. 8°. (Repr. fr. Oriens Extremus, 5 Jahrgang, 2). Presented by the author.

Haley, Andrew G.: Hearings before the select committee on astronautics and space exploration, eighty-fifth congress, second session on H. R. 11881. 1431-1447 pp. 8°. Presented by Messrs. Haley, Doty & Wollenberg.

Haley, Andrew G.: International cooperation in rocketry and astronautics. pp. 627-632. 4°. (Repr. fr. Jet Propul-

- sion, Nov. 1955). Presented by Messrs. Haley, Doty & Wollenberg.
- Haley, Andrew G.: Law of outer space—a problem for international agreement. pp. 70~77. 8°. (Repr. fr. the American University Law Review, Vol. 7 No. 2, June, 1958). Presented by Messrs. Haley, Doty & Wollenberg.
- Haley, Andrew G.: Space age presents immediate legal problems. Wien, 1959. 23 p. 8°. (Repr. fr. First Colloquium on the Law of Outer Space, 1958). Presented by Messrs. Haley, Doty & Wollenberg.
- Haley, Andrew G.: Space vehicle torts. pp. 294~314. 8°. (Repr. fr. Univ. of Detroit Law Journal, Vol. 36, No. 3, Feb. 1959). Presented by Messrs. Haley, Doty & Wollenberg.
- Haley, Andrew G.: Weltraumrecht und Recht ausserhalb der Erde. 12 p. 8°. (Repr. fr. Weltraumfahrt, Heft 2/3, 1957). Presented by Messrs. Haley, Doty & Wollenberg.
- Horváth, T.: Chadō to chajin, the tea ceremony and the tea masters. Budapest, 1958. pp. 221~239. 4°. (Repr. fr. Acta Historiae Artium, V-3/4). Presented by Keletázsiai Művészeti Múzeum.
- Iwanoto, Yutaka. *ed.*: The Sumagadhavādāna, a buddhist legend. Pt. 1: Revised Sanskrit-text. Tokyo, 1959. iv, 51 p. 8°. (Repr. fr. Tokai Univ. Proceedings of the Faculty of Letters, Vol. 1). Presented by the author.
- Mibu, Taishun: A comparative list of the Bkaḥ-ḡgyur division in the Co-ne, Peking, Sde-dge and Snar-thaṅ editions with an introduction to the Bkaḥ-ḡgyur division of the Co-ne edition. Tokyo, 1959. 69 p. 8°. (An offprint from the Taisho Daigaku Kenkyūkiyo, No. 44). Presented by Mr. R. Kaneko.
- Offprint of Journal Asiatique Année 1958. pp. 480~492. 8°. Presented by Prof. R. A. Stein.
- Rahder, Johannes: World-wide connections of old Japanese TA-KOMURA. Berlin, Akademie-Verlag, 1959. pp. 168~184. 4°. (Repr. fr. Ostasiatische Studien, Dec. 1959). Presented by the author.
- Recensiones. pp. 421~425. 4°. (Repr. fr. Acta Historiae Artium, V-3/4) Presented by Keletázsiai Művészeti Múzeum.
- Sardjito: The development of medical science in Indonesia. Jogjakarta, Jajasan Fonds Universitit Negeri Gadjah Mada. 12 p. 8°. (Rper. fr. O. S. R.—News 2, 10-1950). Presented by Gadjah Mada University.
- Space flight—a look ahead: pp. 24~28. 4°. (Repr. fr. Astronautics, Nov. 1958). Presented by Messrs. Haley, Doty &

Wollenberg.

Space flight becomes a reality: The Ninth IAF Congress. 3 p. 4°. (Repr. fr. *Interavia*, No. 10, 1958). Presented by Messrs. Haley, Doty & Wollenberg.

Stein, Rolf A.: *Peintures Tibétaines de la vie de Gesar*. 1958. pp. 243~271. 4°. (Extrait de la *Revue Arts Asiatiques*, Tome V, fascicule 4, 1958). Presented by the author.

Stewart, T. D.: *Stone age skull surgery, a general review, with emphasis on the new world*. Washington, Smithsonian Institution, 1958. pp. 469~491. 10 pl. 8°. (Repr. fr. the Smithsonian Report for 1957). Presented by the publisher.

Tung, Bui Quang: *Chao Anou, roi de Vientiane—à travers les documents vietnamiens*. 8 p. 4°. (Repr. fr. *Bulletin de la Société des Études Indochinoises*, N. S. Tome 33, No. 4). Presented by École Française d'Extrême-Orient, Centre de Saigon.

Tung, Bui Quang: *Contribution à l'étude des colonies vietnamiennes en Thailand*. Saigon, France-Asie, 1958. 16 p. 8°. (Repr. fr. *France Asie*, N° 148). Presented by École Française d'Extrême-Orient, Centre de Saigon.

Yuan, Tung-Li: *Russian works on China, 1918~1958—a selected bibliography*. 1959. pp. 388~430. 8°. (Repr. fr. *Monumenta Serica* Vol. 18). Presented by the author.

購入單行本

Afghanistan, Photographed by Karl Flinker and Max Klimburg. Text by Joseph Kessel. London, Thames and Hudson, 1959. 45 p. 163 pl. 8°.

Afshār, Iraj: *Bibliographie des catalogues des manuscrits persans*. Tehran, 1958. 8°.

Afshār, Iraj, *ed.*: *Yādāsh-t-Hāye Qazvini*. Vol. IV. Tehran, 1959. 8°.

Aistheiner, J. *übersetzt*: *Die mythologischen und kultischen Texte aus Ras Schamra*. Budapest, Akadémiai Kiadó, 1959. 113 p. 8°. (Bibliotheca Orientalis Hungarica, VIII).

- Aiyangar, S. Krishnaswami: Some contributions of South India to Indian culture. Calcutta, Univ. of Calcutta, 1942. xxxviii. 428 p. 8°.
- al-Azzawi, Abbas: Hittorians of Iraq—biographical notes. Tome I: The Moghol and Tuekman periods 1204—1534. Bagdad, 1957. 299 p. 8°.
- Al-Birūnī commemoration volume A. H. 362-A. H. 1362. Calcutta, Iran Society, 1951. xxviii, 299 p. 8°.
- Altheim, Franz: Geschichte der Hunnen. Bd. I. Berlin, Walter de Gruyter, 1959. 463 p. 16 pl. 8°.
- Altheim, Franz & Stiehl, Ruth: Asien und Rom—neue Urkunden aus sasanidischer Frühzeit. Tübingen, Max Niemeyer Verlag, 1952. 87 p. 8°.
- Altheim, Franz & Stiehl, Ruth: Supplementum Aramaicum—Arämaisches aus Iran. Mainz, Baden-Baden, 1957. 122 p. 8°.
- Angere, Johannes: Jukagirisch-Deutsches Wörterbuch. Stockholm, Almqvist & Wiksell, 1957. xvii, 271 p. 8°.
- Bailey, H. W. ed.: Khotanese texts. Vol. III: Indo-Scythian studies. Cambridge, The University Press, 1956. viii, 139 p. 8°.
- Ball, Charles: The history of the Indian mutiny. Vols. I, II, & III. London. 3 vols. 8°.
- Barth, Fredrik: Political leadership among Swat Pathans. London, University of London. The Athlone Press, 1959. 143 p. 8° (London School of Economics, Monographs on Social Anthropology, No. 19).
- Barthel, Thomas: Grundlagen zur Entzifferung der Osterinselschrift. Hamburg, Gram, de Gruyter, 1958. 346 p. 64 pl. 4°. (Universität Hamburg, Abhandlungen aus dem Gebiet der Auslandskunde, Bd. 64—Reihe B. Völkerkunde, Kulturgeschichte und Sprachen, Bd. 36).
- Basham, A. L.: History and doctrines of the Ājivikas—a vanished Indian religion. London, Luzac, 1951. xxxii, 304 p. 1 map. 8°.
- Bauer, Wolfgang. *hrg.*: Tsch'un-Ts'u, mit den drei Kommentaren Tso-tschuan, Kung-yang-tschuan und Kung-tschuan in Mandschuischer Übersetzung. Wiesbaden, Deutsche Morgenländische Gesellschaft, 1959. xvi, 1026 p. 8° (Abhandlungen für die Kunde des Morgenlandes, XXXIII, 1).

- Benfey, Theodor: *Geschichte der Sprachwissenschaft und orientalischen Philologie in Deutschland*. München, Cotta'schen, 1869. x, 836 p. 8°.
- Berg, C. C.: *Biidrage Tot de Kennis der Javaansche Werkwoordsvormen*. 1937. 396 p. 4 tables. 8°.
- Berg, C. C.: *Herkomst, Vorm en Functie der Middelljavaanse Rijksdelingstheorie*. Amsterdam, 1953. 306 p. 8°.
- Berg, C. C.: *Kidung Sunda—Inleiding, Tekst, Vertaling en Aanteekeningen*. 1927. 161 p. 8°.
- Beveridge, Henry: *A comprehensive history of India, civil, military and social, from the first landing of the English, to the suppression of the Sepoy revolt; including an outline of the early history of Hindoostan*. Vols. I, II & III. London, Blackie, 1845. 3 vols. 4°.
- Binh, Ta Thuc: *The sisters, Tam and Cam*. Arts and Music Editions. 22 p. 32 p. 32°.
- Bopp, Franz: *Vergleichende Grammatik des Sanskrit, Send, Armenischen, Griechischen, Lateinischen, Litauischen, Altavasischen, Gotischen und Deutschen*. 3te aufl. Bände. I~III. Berlin, Ferd. Dümmler, 1868~71. 3 vols. 8°.
- Borowski, Elie: *Cylindres et cachets orientaux conservés dans les collections Suisses*. Tome I: *Mésopotamie de la période préhistorique d'Ourok jusqu'à la I^{re} dynastie de Babylone*. Ascona, 1947. xiv, 188 p. 10 pl. 8° (Artibus Asiae, Supplementum III).
- Buddrus, Georg: *Beiträge zur Kenntnis der Pañi-Dialekte*. Wiesbaden, Deutsche Morgenländische Gesellschaft, 1959. 73 p. 8° (Abhandlungen für die Kunde des Morgenlandes, XXXIII, 2).
- Burchett, W. G.: *Mekong upstream*. Hanoi, Red River Publishing House, 1957. 324 p. many pl. 12°.
- Burkhardt, V. R.: *Chinese creeds & customs*. Vol. III. Hong Kong, the South China Morning Post, 1958. 164, vii p. 8°.
- Cameron, George G.: *Persepolis treasury tablets*. Chicago, the Univ. of Chicago Press, 1948. xviii, 214 p. 46 pl. 4°.
- (The Univ. of Chicago Oriental Institute Publications, Vol. 65).
- Chandhuri, Sibadas *comp.*: *Index to the publications of the Asiatic Society 1788~1953*. Vol. I, Pt. 1. Calcutta, the Asiatic Society, 1956. xiii, 336 p. 8° (Extra number to the Journal of the Asiatic Society 3rd Series, Vol. XXII).
- Clark, Cecily: *The Peterborough chronicle 1670~1154*. Oxford Univ. Press, 1958. xx, 111 p. 8° (Oxford English Mo-

- nographs).
- Cleator, P. E.: *Lost languages*. London, Robert Hale, 1959. 192 p. 8°.
- Coen, Jan Pietersz.: *Bescheiden omtrent zijn bedrijf in Indië*. Verzameld door W. Ph. Coolhaas. VII-1. 's-Gravenhage, Martinus Nijhoff, 1952. xi, 928 p. 4°.
- Coen, Jan Pietersz.: *Bescheiden omtrent zijn bedrijf in Indië*. Verzameld door W. Ph. Coolhaas. VII-2. 's-Gravenhage, Martinus Nijhoff, 1953. viii, 929~1943 p. 4°.
- Come to the fields, buffalo — Vietnamese folksongs. Hanoi, Foreign Languages Publishing House, 1958. 94 p. 12°.
- Conze, Edward: *Buddhism — its essence and development*. Oxford, Bruno Cassirer, 1951. 212 p. 8°.
- Coomaraswamy, Ananda K.: *Time and eternity*. Ascona, 1947. 136 p. 8°. (*Artibus Asiae Supplementum VIII*).
- Cumont, Franz: *Lyx perpetua*. Paris, Librairie Orientaliste Paul Geuthner, 1949. xxxiii, 524 p. 8°.
- Dagher, Joseph A.: *Manuel pratique de bibliographie et de bibliothéconomie à l'usage des pays du Proche-orient*. Beyrouth, 1947. 634 p. 8°.
- Dederling, Sven. *hrsg.*: *Das biographische Lexikon des Šalāhaddīn Haīl Ibn Aībak Aš-šafādī*. Teil 4: Muḥammad Ibn 'Uḡbaidallāh bis Muḥammad Ibn Maḥmūd. Wiesbaden, Franz Steiner, 1959. 8°. (*Bibliotheca Islamica*, Bd. 6).
- Deny, Jean &c, *ed.*: *Philologiae Turcicae Fundamenta*. Tomus I. Wiesbaden, Franciscum Steiner, 1959. xxiii, 810 p. 1 map. 4°.
- Diamond, Dick: *The walls are down*. Hanoi, Foreign Languages Publishing House, 1958. 191 p. 12°.
- Dittich, K.: *Antike Münzen aus Olbia und Pantikapäum*. Artia, 1959. 173 p. 4°.
- Duda, Herbert W.: *Die Seltenschukengeschichte des Ibn Bibī*. Kopenhagen, Munksgaard, 1959. xvii, 366 p. 8°.
- Duyendak, J. J. L.: *Ma Huan re-examined*. Amsterdam, 1933. 74p. 8°.
- Egerod, Søren: *The Lungtu dialect (隆都方言) — a descriptive and historical study of a South Chinese idiom*. Copenhagen, Ejnar Munksgaard, xviii, 284 p. 8°.
- Egerod, Søren & Glahn, Else. *ed.*: *Studia Serica*. Bernhard Karlgren dedicata. Sinological studies dedicated to Bernhard Karlgren on his seventieth birthday, October fifth, 1959. (慶祝高本漢先生七秩壽辰文集). Copenhagen, Ejnar

- Munksgaard, 1959. 282 p. 8°.
- Ellers, Wilhelm: Deutsch-Persisches Wörterbuch. Lfg. 1. Wiesbaden. Otto Harrassowitz, 1959. iv, 96 p. 8°.
- The first mosquito and other stories. Hanoi, Foreign Languages Publishing House, 1958. 145 p. 12°.
- Fischer, Wolf Dietrich: Die demonstrativen Bildungen der neuarabischen Dialekte — ein Beitrag zur historischen Grammatik des Arabischen. s-Gravenhage, Mouton, 1959. viii, 221 p. 8°.
- Foucher, A.: On the iconography of the Buddha's nativity. tr. by H. Hargreaves. Delhi, 1934. 27 p. 6 pl. f°. (Memoirs of the Archaeological Survey of India, No. 46).
- Fox, Len: Friendly Vietnam. Hanoi, Foreign Languages Publishing House, 1958. 169 p. 12°.
- Funke, Friedrich W.: Orang Abung—Volkstum Süd-Sumatras im Wandel. Band I. Leiden, E. J. Brill, 1958. xii, 326 p. 24 pl. 3 ma p. 8°.
- Furnivall, J. S.: Colonial policy and practice—a comparative study of Burma and Netherlands India. New York, New York University Press, 1956. xii, 568 p. 1 map. 8°.
- Gandhi, M. P. ed.: Major industries of India annual. 1957~58 (Vol. 7). Bombay, 1958. iv, 344 p. f°.
- Geiger, Bernard &c.: Peoples and languages of the Caucasus—a synopsis. s-Gravenhage, 1959. 77 p. 1 map. 8°.
- (Janua Linguarum Nr. VI).
- Gershevitch, Ilya: The Avestan hymn to Mithra. Cambridge, University Press, 1959. xv, 357 p. 8°.
- Gershevitch, Ilya: A grammar of Manichean Sogdian. Oxford, Basil Blackwell, 1954. xiv, 308 p. 8°. (Publication of the Philological Society, XVI).
- Glamann, Kristof: Dutch-Asiatic trade 1620~1740. Copenhagen, Danish Science Press, 1958. xi, 334 p. 8°.
- Goetze, Albrecht: Kulturgeschichte des alten Orients. Kleinasien. München, C. H. Beck'sche, 1957. xvi, 228 p. 20 pl. 1 map. (Handbuch der Altertumswissenschaft, III. 1. 3. 3. 1.).
- Granqvist, Hilma: Child problems among the Arabs—studies in a Muhammadan village in Palestine. Helsingfors, Söderström, 1950. 336 p. 8°.
- Gray, Basil: Buddhist cave paintings at Tunhuang. Photographs by J. B. Vincent, with a preface by Arthur Waley.

- London, Faber & Faber, 1959. 86 p. 70 pl. 4°.
- Griswold, A. B.: Dated Buddha images of Northern Siam. Ascona, 1957. 97 p. 57 pl. 12 fig. f°. (*Artibus Asiae Supplementum* XVI).
- Gulik, R. H. van: Siddham—an essay on the history of Sanskrit studies in China and Japan. Nagpur, International Academy of Indian Culture, 1956. xii, 240 p. 4°.
- Hamilton, Charles, *tr.*: The hedaya, or guide—a commentary on the Mussulman laws. Second edn. with preface and index by Standish Grove Grady. Lahore, New Book Co, 1957. lxvii, 783 p. 8°.
- Harris, George L.: Jordan—its people, its society, its culture. New Haven, Human Relations Area Files, 1958. 246 p. 8°. (*Survey of World Cultures*).
- Histoire des religions, publiée sous la direction de Maurice Brillant et René Aigrain. 1, 2, 3, 4, 5. 5 vols. 8°.
- Hoai, To: Stories of the North West. Hanoi, Foreign Languages Publishing House, 1957. 128 p. 12°.
- Hodgson, Marshall G. S.: The order of Assassins—the struggle of the early Nizârî Ismâ'îlîs against the Islamic world. s-Gravenhage, Mouton, 1955. xi, 352 p. 8°.
- Hoffman, Helmut: Die religiösen Tibets—Bon und Lamaismus in ihrer geschichtlichen Entwicklung. München, Karl Alber, 1956. 214 p. 8°.
- Hsia, Ronald. &c. *comp.*: Dictionary of simplified Chinese. 簡體字彙. Hong Kong, Oriental, (1959). 122 p. 12°.
- Hübschmann, H.: Armenische Grammatik. I. Theil. Armenische Etymologie. Leipzig, Breitkopf & Härtel, 1897. xxii, 573 p. 8°. (*Indogermanische Grammatiken*, Bd. VI).
- Humboldt, A. de.: *Fragmens de géologie et de climatologie asiatiques*. Tome I, II. Paris, Gide, 1831. 2 vols. 8°.
- Humboldt, Alexander von: Über den Zustand des Bergbaus und Hütten-Wesens in den Fürstentümern Bayreuth und Ansbach im Jahre 1792. Berlin, Akademie-Verlag, 1959. 219 p. 8°.
- Hundred years of the University of Calcutta—a history of the university issued in commemoration of the centenary celebrations. With the supplement. University of Calcutta, 1957. 2 vols. 8°.
- Hurlimann, Martin: Istanbul, Constantinople. Paris, 1958. 146 p. 102 pl. 4°.

- Huu, To: Poems. Translated by Aileen Palmer. Hanoi, Foreign Languages Publishing House, 1959. 24p. 12°.
- Institut Dominicain d'Études Orientales du Caire. *Mélanges*, 1, 2. Dar Al-Maaref, 1954~55. 2 vols. 8°.
- Jong, J. W. de: *Mi la ras pài niam thar*—texte tibétain de la vie de Milarepa. 's-Gravenhage, Mouton, 1959. 218 p. 8°. (Indo-Iranian Monographs, Vol. IV).
- Khalidun, Ibn: The muqaddimah—an introduction to history. Translated from the Arabic by Franz Rosenthal. Vol. I, II & III. London, Routledge & Kegan Paul, 1958. 3 vols. 8°.
- Kidder, J. Edward: The Jomon pottery of Japan. Ascona, 1957. xvi, 200 p. 45 fig. 7 pl. f°. (Artibus Asiae, Supplementum XVII).
- Konow, Sten, *ed.*: *Corpus inscriptionum Indicarum*. Vol. II, Pt. 1: Kharoshthi inscriptions with the exception of those of Aśoka. Calcutta, Government of India, 1929. 192 p. 36 pl. 1 map. f°.
- Lambton, Ann K. S.: Islamic society in Persia—an inaugural lecture delivered on 9 March 1954. London, School of Oriental and African Studies, 1954. 32 p. 8°.
- Latourette, Kenneth Scott: Christianity in a revolutionary age—a history of Christianity in the nineteenth and twentieth centuries. Vol. I: The nineteenth century in Europe—background and the Roman Catholic phase. London, Eyre and Spottiswoode, 1959. xiv, 498 p. 8°.
- Laurent: *Histoire de l'empire Ottoman*. Tome I~VII. Amsterdam, Pierre Humbert, 1732~42. 7 vols. 16°.
- Lee, Sherman E. & Fong, Wen: Streams and mountains without end—A Northern Sung handscroll and its significance in the history of early Chinese painting. Ascona, 1955. 57 p. 25 pl. f°. (Artibus Asiae, Supplementum XIV).
- Lefmann, S.: Franz Bopp, sein Leben und seine Wissenschaft. Vols. I~III. Berlin, Georg Reimer, 1891~97. 3 vols. 8°.
- Legg, L. G. Wickman & Williams, E. T. *ed.*: The dictionary of national biography, 1941~1950. London, Oxford Univ. Press, 1959. xxi, 1031 p. 8°.
- Lias, Godfrey: *Kazak exodus*. London, Evans Brothers Ltd., 1956. 230 p. many pl. 8°.
- Littmann, Enno: Syria—Publications of the Princeton University archaeological expeditions to Syria in 1904~5 and 1909. Division IV: Semitic inscriptions, Section D: Arabic inscriptions. Leyden, E. J. Brill, 1949. xiv, 105 p. f°.

- Loi, Quang: South of the 17th parallel. Hanoi, Foreign Languages Publishing House, 1959. 122 p. 12°.
- Lozinski, B. Philip: The original homeland of the Parthians. 's-Gravenhage, Mouton, 1959. 55 p. 8°.
- Maung, Maung: Burma's constitution. The Hague, Martinus Nijhoff, 1959. x, 325 p. 8°.
- Meillet, A.: Les dialectes Indo-Européens. Paris, Librairie Ancienne Honoré Champion, 1908. 138 p. 8°. (Collection Linguistique publiée par la Société de Linguistique de Paris, I).
- Mémoires de la mission archéologique de Perse. Tome XX: Mission en Susiane. Paris, Librairie Ernest Leroux. 1928. 132 p. 4 pl. f°.
- Meyer, Eduard: Geschichte des Altertums. Band I/1, 2, II/1, 2, III, IV/1, 2. Stuttgart, J. G. Cotta'sche, 1954~56. 7 vols. 8°.
- Meyer, Eduard: Geschichte des Altertums. Fünfter Band: Das Perserreich und die Griechen der Ausgang der Griechischen Geschichte 404~350 V. Chr. Basel, Benno Schwabe, 1958. xv, 595 p. 8°.
- Minayeff, I. P.: Travels in and diaries of India & Burma. Calcutta, Eastern Trading. 284 p. many pl. 8°.
- Mirchond: Historia priorum regum persarum. Viennae, 1782. 178 p. 4°.
- Mirchondi: Historia Samanidarum. Goettingae, 1808. viii, 222 p. 4°.
- Mirkhond: Histoire des Sassanides. Paris, Typographie de Firmin Didot Frères, 1843. 8°.
- Mirkhond: Histoire des sultans du Kharezm. Paris, 1842. 133 p. 8°.
- Misra, B. B.: The central administration of the East India Company 1773~1834. Manchester, Manchester Univ. Press, 1959. xii, 476 p. 8°.
- Monumenta Linguanum Asiae Maioris. Seria Nova Bd. I. Altan Kürdün Minglan Gegesütü Bitig, eine mongolische Chronik von Siregetü Guosi Dharma (1739). Kopenhagen, Ejnar Munksgaard, 1958. 125 p. f°.
- Morenz, Siegfried & Schubert, Johannes: Der Gott auf der Blume—eine ägyptische Kosmogonie und ihre weltweite Bildwirkung. Ascona, 1954. 158, viii p. 20 pl. 8°. (Artibus Asiae, Supplementum XII).
- Müller, Friedrich: Grundriss der Sprachwissenschaft. Band I~VII. Wien, Alfred Hölder, 1876~88. 7 vols. 8°.
- National Archives of India: Calendar of Persian correspondence being letters which passed between some of the

- Company's servants and Indian rulers and notables. Vol. VIII, 1788~89. Vol. IX, 1790~91. New Delhi, 1949~53. 2 vols. 8°.
- Needham, Joseph: The development of iron and steel technology in China. Second biennial Dickinson memorial lecture to the Newcomen Society, 1956. London, The Newcomen Society, 1958. xii, 76 p. 31 pl. 8°.
- Needham, Joseph: Science and civilisation in China. Vol. 3: Mathematics and the sciences of the heavens and the earth. Cambridge, University Press, 1959. xlvii, 874p. 95 pl. 8°.
- New facts: Phu Loi mass murder in South Viet Nam. Hanoi, Foreign Languages Publishing House, 1959. 154 p. many pl. 12°.
- Ngoc, Nguyen: The village that wouldn't die — a story of Vietnam's resistance war. Hanoi, Foreign Languages Publishing House, 1958. 212 p. 12°.
- The one-eyed elephant and the elephantgenie — selected short stories of the Vietnamese resistance war. Hanoi, Foreign Languages Publishing House, 1959. 145 p. 12°.
- Panandikar, S. G: The wealth and welfare of the Bengal delta. Calcutta, Univ. Press, 1926. vii, 364 p. 8°.
- Paranavitana, S.: The god of Adam's Peak. Ascona, 1958. 77 p. f°. (Artibus Asiae, Supplementum XVIII).
- Paulys Realencyclopädie der klassischen Altertumswissenschaft. Erste Reihe, Band XII/1, 2, XIII/1, 2, XIV/1, 2, XV/1, 2, XVI/1, 2, XVII/1, 2, 3, 4, XIX/1, 2, XX/1, 2, XXI/1, 2, XXII/1, 2, XXIII/1, 2, Zweite Reihe, Band II A2, III A1, 2, IV A1, 2, V A1, 2, VI A1, 2, VII A1, 2, VIII A1, 2. Supplement, Band IV, V, VI, VII, VIII. Stuttgart, 1923~1959. 44 vols. 8°.
- Percival, Robert: An account of the island of Ceylon, containing its history, geography, natural history, with the manners and customs of its various inhabitants; to which is added, the journal of an embassy to the court of Candy. London, Baldwin, 1803. xii, 420 p. 1 map. 4°.
- Pictet, Adolphe: Les origines Indo-Européennes ou les aryas primitifs—essai de paléontologie linguistique. 2^e ed. Vol. 1~3. Paris, Librairie Sandoz et Fischbacher, 1877. 3 vols. 8°.
- Piggott, Stuart: Approach to archaeology. London, Adam & Charles Black, 1959. x, 134 p. 8 pl. 8°.

- Piovene, Guido: *Processo dell'Islam alla Civiltà Occidentale*. Firenze, 1957. 68 p. 8°. (Quaderni di San Giorgio 5).
- President Ho Chi Minh's friendly visits. Hanoi, Vietnam Pictorial, 1959. 111 p. many pl. 4°.
- Pritchard, James B.: *The ancient Near East — an anthology of texts and pictures*. Princeton, Princeton Univ. Press, 1958. xix, 380 p. 197 illus. in text. 8°.
- Pultr, Alois: *Lehrbuch der Koreanischen Sprache*. Berlin, Veb Deutscher Verlag der Wissenschaften, 1958. 345 p. 8°.
- Qazwini: *Vad-dasthaie Oszwini*. Bd. 3.
- Rāzi (A.): *Tā'rikh i mufassal i Iran*. In Persian. 1956. 8°.
- Ritter, Hellmut. *übersetzt*: *Die Geheimnisse der Wortkunst (Asrār Al-Balāga) des 'Abdalqāhīr Al-Curcānī*. Wiesbaden, Franz Steiner, 1959. 478 p. 8°. (Bibliotheca Islamica 19).
- Roerich, George N.: *The blue annals*. Pt. I. Calcutta, the Royal Asiatic Society of Bengal, 1949. xxi, 397 p. 8°. (The Royal Asiatic Society of Bengal Monograph Series, Vol. VII).
- Roerich, George N.: *The blue annals*. Part II. Calcutta, The Asiatic Society, 1953. pp. 399~1275. 8°. (Asiatic Society Monograph Series, Vol. VII).
- Roerich, George N.: *Textbook of colloquial, Tibetan (dialect of Central Tibet)*. The Government of West Bengal, Education Dept., Education Bureau, 1957. iv, 238 p. 8°.
- Salmony, Alfred: *Antler and tongue—an essay on ancient Chinese symbolism and its implications*. Ascona, 1954. 57 p. 48 fig. f. (*Artibus Asiae Supplementum XIII*).
- Sastri, K. A. Nilakanta: *A history of South India from prehistoric times to the fall of Vijayanagar*. Second ed. London, Oxford Univ. Press, 1958. xii, 508 p. 20 pl. 8°.
- Schmidt, Heinrich J.: *Alte Seidenstoffe*. Braunschweig, Klinkhardt & Biermann, 1958. 482 p. 399 pl. 2 maps. 8°. (Bibliothek für Kunst- u. Antiquitäten-Freunde Bd. X).
- Schmitt, P. W.: *Die Sprachfamilien und Sprachenkreise der Erde*. Mit einem Atlas von 14 Karten in Lithographie. Heidelberg, 1926. 2 vols. 12° & f°. (Kulturgeschichtliche Bibliothek, 5).

- Sen, Benoychandra: Some historical aspects of the inscriptions of Bengal. Pre-Muhammadan epochs. Calcutta, Univ. of Calcutta, 1942. lxxviii, 613 p. 8°.
- Sharma, Ram Sharan: Śūtras in ancient India (a survey of the position of the lower orders down to circa A. D. 500). Delhi, Motilal Banarsidass, 1958. v, 318 p. 8°.
- Shimmi, Kichiji: Die Geschichte der Bukeherrschaft in Japan—Beiträge zum Verständnis des japanischen Lehns-
wesens. Basel, 1939. viii, 131, vii p. 8°. (Artibus Asiae Supplementum Secundum).
- Silva Correia, Alberto Carlos Germano da: História da colonização Portuguesa na Índia. Vol. I~VI. Lisboa, 1948
~58. 6 vols. 8°.
- Silva Rego, António da: Documentação para a História das Missões do Padroado Português do Oriente Índia. Vols
1~12. Lisboa, Agência General das Colónias, 1947~1958. 12 vols. 8°.
- Sis, Vladimir & Vaniš, Josef: Der Weg nach Lhasa—Bilder aus Tibet. Artia, 1956. 54 p. 245 pl. 4°.
- Skelton, R. A.: Explorers' maps—chapters in the cartographic record of geographical discovery. London, Rout-
ledge and Kegan Paul, 1958. xi, 337 p. many pl. 4°.
- Skita, Albert, collection établie & dirigée: Les grands siècles de la peinture—la peinture Byzantine. Genève, 1953.
201 p. many col. pl. 4°.
- Smith, Vincent A.: The Oxford history of India. 3rd edition, *ed.* by Percival Spear. Oxford, The Clarendon
Press, 1958. xiii, 898 p. 39 pl. 1 map. 8°.
- Snellgrove, D. L.: The Hevajra Tantra—a critical study. Part I & II. London, Oxford University Press, 1959.
2 vols. 8°. (London Oriental Series, Vol. 6).
- Soper, Alexander Coburn: Literary evidence for early Buddhist art in China. Ascona, 1959. xvi, 296 p. f°. (Artibus
Asiae Supplementum XIX).
- Spatz, O. H. K.: India and Pakistan—a general and regional geography. London, Methuen, 1957. xxxvi, 829 p. 1 map.
8°.
- Sprengel, Otto Berkelbach van der, &c.: Die überseeische Welt und ihre Erschliessung. Bern, Francke, c 1959. 537

- p. 1 table. 8°. (*Historia Mundi*, Bd. 8).
- Streit, P. Robert &c.: *Bibliotheca Missionum*. Bd. 13: *Chinesische Missionsliteratur 1885~1909 n. 1218~1969*. Rom, Herder, 1959. xviii, 807 p. 8° (Veröffentlichungen des Internationalen Instituts für Missionswissenschaftliche Forschung).
- Studien zur Geschichte und Kultur des islamischen Orients. Heft I, II, IV, V, VI, VII, VIII, IX. 1912~36. 8 vols. 8°.
- Heft I: Strothmann, R., *Das Staatsrecht der Zaiditen*. Strassburg, 1912.
- Heft II: Horten, M., *Das philosophische System von Schirāzī*. Strassburg, 1913.
- Heft IV: Horowitz, Josef, *Koranische Untersuchungen*. Berlin & Leipzig, 1926.
- Heft V: Ritter, Hellmut; *Über die bildersprache Niẓāms*. Berlin & Leipzig, 1927.
- Heft VI: Gottschalk, Hans, *Die Mādārāijūn*. Berlin & Leipzig, 1931.
- Heft VII: Winkler, H. A., *Siegel und Charaktere in der Muhammedanischen Zauberei*. Berlin & Leipzig, 1930.
- Heft VIII: Braune, Walther, *Die Futūh Al-Gaib des 'Abd Al-Qādir*. Berlin & Leipzig, 1933.
- Heft IX: Madi, Mohamed, *Anfänge des Zaiditentums in Jemen*. Berlin & Leipzig, 1936.
- Sullivan, Michael: *Chinese art in the twentieth century*. London, Faber, 1959. 110 p. 72 pl. 4°.
- The travels of the Abbé Carré in India and the Near East 1672 to 1674. Vols. I, II & III. The Hakluyt Society, 1947. 3 vols. 8°.
- Thorossian, H.: *Histoire de l'Arménie et du peuple Arménien*. Paris, 1957. 240 p. 12 pl. 3 maps. 8°.
- Toynbee, Arnold J.: *A study of history*. Vol. I~X. London, Oxford University Press, 1955. 10 vols. 8°.
- Toynbee, Arnold J.: *A study of history*. Vol. XI: *Historical atlas and gazetteer*. London, Oxford Univ. Press, 1959. x, 257 p. 8°.
- Traube, Ludwig: *Nomina Sacra, Versuch einer Geschichte der christlichen Kürzung*. München, Bechische, 1907. xii, x, 295 p. 8°. (Quellen und Untersuchungen zur lateinischen Philologie des Mittelalters, II)
- Tucci, Giuseppe: *Indo-Tibetica. III. I Templi del Tibet Occidentale e il Loro Simbolismo Artistico. Parte II. Tsaparang*. Roma, Reale Accademia d'Italia, 1936. 210 p. 152 pl. 8°. (Reale Accademia d'Italia Studi e Documenti I).

- Vergil: *Georgica*, herausgegeben und erklärt von Will Richter. München, Max Hueber, 1957. 446 p. 8°. (Das Wort der Antike, Band V).
- Vernadsky, George: *The origins of Russia*. Oxford, Clarendon Press, 1959. x, 354 p. 8°.
- Viet-Nam Peace Committee: *Five years of the implementation of the Geneva Agreements in Viet-Nam*. Hanoi, Foreign Languages Publishing House, 1959. 31 p. 12°.
- Viet-Nam Peace Committee: *The peace movement in Viet-Nam*. Hanoi, Foreign Languages Publishing House, 1958. 21 p. 12°.
- Viet-Namease handicrafts. Hanoi, Foreign Languages Publishing House, 1959. 48 p. many pl. 8°.
- Vincent, Irene Vongehr: *The sacred oasis—caves of the thousand Buddhas*, Tun Huang. London, xix, 114 p. 49 pl. 1 map. 8°.
- Virā, Raghu: *Chinese poems and pictures on Ahimsā*. Nagpur, International Academy of Indian Culture, 1955. 101 p. 4°.
- Virā, Raghu &c. ed.: *Śāta-Pitaka*. Indo-Asian literatures reproduced in original scripts and languages. Translated, annotated and critically evaluated by specialists of the East and the West in a series of collectanea. Vol. 1, 2, 3 (1, 2), 4, 5, 6, 7, & 8, 9 vols. 4°.
- Virā, Raghu: *Svara-Vyanjana—a Kavi-Balinease and Devanāgarī script-manual*. Nagpur, International Academy of Indian Culture, 1956. 36 p. 8°.
- Wehr, Hans: *Arabisches Wörterbuch für die Schriftsprache der Gegenwart*, Leipzig, Otto Harrassowitz, 1958. xi, 986 p. 8°.
- Аминев, А. М.: *Экономическое развитие средней Азии*. Ташкент, 1959. 297 p. 8°.
- Аморозов, Л. Л.: *Современный бурятский язык*. Улан-Удэ, 1958. 336 p. 8°.
- Баскакова, Н. А.: *Русско-погарийский словарь*. Москва, 1956. 734 p. 12°.
- Галушина, Л. М. etc.: *Русско-Монгольские отношения 1607~1636*. Москва, Издательство Восточной Литературы, 1959. 351 p. 8°.
- Коврад, Н. И.: *Суть-чзы*. Москва, 1950. 401 p. 8°.

- Курдско-русский словарь. Москва, 1957. 618 p. 16°.
- Леонтьев, В. П.: Иностранная экспансия в тибете. Москва, 1956. 221 p. 12°.
- Лукьянова, М. И.: Японские монополии во время мировой войны. Москва, 1953. 395 p. 8°.
- Народное восстание в Китае 1857~1859 гг. Москва, 1957. 326 p. 8°.
- Национально-освободительное движение в Китае и деятельность Б. Г. Титова. Москва, 1958. 592 p. 8°.
- Наполеон, III.: Из истории азиатского движения во внешней политике. Москва, 1958. 121 p. 12°.
- Некоторые вопросы китайской грамматики. Москва, 1957. 127 p. 4°.
- Непомнин, В. Я.: Очерки истории социалистического строительства в Узбекистане (1917~1937 гг.) Ташкент, 1957. 217 p. 8°.
- Очерки новейшей истории Японии. Москва, 1957. 365 p. 12°.
- Оздобин, Н.: Бурят-монгольская АССР. Улан-Удэ, 1956. 172 p. 12°.
- Пичугин, Б. М.: Экономика и внешняя торговля. Москва, 1957. 214 p. 8°.
- Попов, А. А.: Нгаластан. Вып. 1. Москва, 1948. 122 p. 36 таблица. 8°.
- Русско-башкирский словарь. Москва, 1954. 600 p. 16°.
- Русско-киргизский словарь. Москва, 1957. 990 p. 4°.
- Русско-могавский словарь. Москва, 1954. 835 p. 4°.
- Русско-таджикский словарь. Москва, 1957. 630 p. 16°.
- Третья гражданская революционная война в Китае. Москва, 1957. 397 p. 12°.
- Шалгина, Н. П.: Русско-монгольские посольские отношения X века. Москва, 1958. 172 p. 8°.
- Шалгиной, Н. П.: Шара гуджи Монгольская летопись 17 века. Москва, Издательство Академии Наук СССР, 1957. 197 p. 8°.
- Ширендэв, В.: Народная революция в монголии и образование монгольской народной республики 1921~1924. Москва, 1956. 156 p. 8°.
- Элгетин, И. Я.: Очерки новой и новейшей истории монголии. Москва, 1957. 229 p. 8°.
- Филова, П. Т.: Первый русско-китайский договор 1689 года. Москва, 1958. 233 p. 12°.

受贈定期刊行物

<i>Name of Periodicals</i>	<i>Vol.—No.</i>	<i>Contributor</i>
Acta Archaeologica (The National Museum, Copenhagen).	29	Royal Library, Copenhagen
Acta Borealia, A: Scientia.	8	Tromsø Museum, Norway
Acta Orientalia.	23-3/4; 24-1/2	Messrs. Ejnar Munksgaard
Acta Orientalia (Ejnar Munksgaard, Copenhagen).	23-3/4; 24-1/2	Universitetsbiblioteket, Uppsala
Annals du Musée Guimet	64-1, 2	Musée Guimet
Anthropological Records	16-5; 19; 20-1, 2	University of California Press
Archiv Orientalni	27-1~4	Ceskoslovenská Akademie věd Orientální Ústav, Praha
Ars Orientalis	3	Smithsonian Institution, Univ. of Michigan
Asia Major	4-1; 7-1/2	Asia Major, London
Asiatic Research Bulletin	1-10; 2-1, 3	Asiatic Research Center, Seoul
Atti	1958/1959	Istituto Veneto di Scienze
Belleten	89~92	Türk Tarih Kurumu
Bibliography of Periodical Literature on the Near & Middle East	49~51	Library of Congress
The Bodleian Library Record	6-3	Bodleian Library
La Bulgarie d'Aujourd'hui	1958-23, 24; 1959-1~10, 12	La Bulgarie d'Aujourd'hui
Bulgaria Today	1958-23, 24; 1959-1~12	Bulgaria Today
Bulletin de l'École Française d'Extrême-Orient	49-1	École Française d'Extrême-Orient
Bulletin de la Société des Études Indochinoises	33-4~34-4	Société des Études Indochinoises
Bulletin of the Deccan College Research Institute	19-1/2	Deccan College Research Institute

Bulletin of the Japan Society of London	27~29	Japan Society of London
Bulletin of the Museum of Far Eastern Antiquities	31	Museum of Far Eastern Antiquities
Bulletin of the Ramakrishna Mission Institute of Culture	10-2	Ramakrishna Mission Institute of Culture
Bulletin of the School of Oriental and African Studies, University of London	22-1~3	School of Oriental and African Studies, University of London
Cahiers de l'Orient Contemporain	37	La Documentation Française
China Pictorial	1959-1~24; 1960-1	National Library of Peking
China Reconstructs	1959-1~12; 1960-1, 2	National Library of Peking
Chinese Culture (Chinese Cultural Research Institute)	1-4~2-3	National Central Library, Taiwan
Chinese Culture (Chinese Cultural Research Institute)	2-1~3	War College Library, Taiwan
Chinese Literature (Foreign Language Press)	1959-1~1960-3	National Library of Peking
Columbia Library Columns	8-3	Mr. L. C. Goodrich
Delta, a Review of Arts, Life and Thought in the Netherlands	1958 Winter; 1959 Spring, Summer	The Netherlands Institute for Inter- national Cultural Relations
Deutsch-Japanische Studien	1	Messrs. Cram, de Gruyter & Co.
East and West	9-4~10-4	Istituto Italiano per il Medio ed Estremo Oriente
Features of Ethiopia エチオピアの容姿	4~6	Ethiopian Embassy
Finnisch-Ugrische Forschungen	Inhalt d. 1~30	Société Finno-ougrienne
Folklore Studies	17	Folklore Studies
France-Asie	151/152~162/163	France-Asie, Saigon
Free China Review	8-11~9-12	National Central Library
The Geographical Journal	124-4~125-3/4	The Royal Geographical Society
H. A. Bulletin	5-1, 2/3	Historical Abstracts

Harvard Journal of Asiatic Studies	20-3/4	Harvard-Yenching Institute
Historical Abstracts	4-Index	Historical Abstracts
Hist. Filos. Skr. Dan. Vid. Selsk.	4-1	Det Kongelige Danske Videnskaberne Selskab, København
Indo-Pacific Exchange Newsletter	2~6	National Diet Library of Japan
Jahrbuch der Dissertationen	1958	Universitätsbibliothek Bonn
Journal Asiatique (Société Asiatique)	246-2~247-2	Bibliothèque Nationale
Journal Asiatique	246-2~247-2	Société Asiatique
Journal de la Société Finno-Ougrienne	55	Société Finno-Ougrienne
Journal of Adult Education	2-1~4	Singapore Council for Adult Education Cultural Centre
Journal of the American Oriental Society	79-1~4	American Oriental Society
The Journal of Asian Studies	18-3~19-2	The Association for Asian Studies
Journal of the Burma Research Society	41-1/2	Burma Research Society
Journal of the Malayan Branch, Royal Asiatic Society	30-2	Malayan Branch, Royal Asiatic Society
Journal of Oriental Literature	1~3; 6-2	Prof. Edgar Knowlton
Journal of the Royal Asiatic Society of Great Britain and Ireland	1959-1/2, 3/4	The Royal Asiatic Society
The Journal of the Siam Society	47-1, 2	The Siam Society
Koreana Quarterly (The International Research Center)	1-1, 2	National Assembly Library, Seoul
Man, A Monthly Record of Anthropological Science	59-1~11	The Royal Anthropological Institute, London
Melanges Chinois et Bouddhiques	11	Prof. J. Muillie
The Metropolitan Museum of Art, Bulletin	1959-3~1960-2	The Metropolitan Museum of Art
Mitteilungen Universitätsbund Marburg	1957-1~1958-1/2	Universität Marburg

- Monumenta Nipponica 日本文化誌叢
 Monumenta Serica 華裔學誌
 New Bulgaria
 News from Ethiopia
 Notes on Selected Japanese Acquisitions 新書目録
 Oriens Extremus (Otto Harrassowitz)
 Orientalia Suecana
 Oriente Moderno
 Peking Review (Beijing Zhuobao)
 Quarterly Journal of Current Acquisitions
 Report of the Library Syndicate
 Report on the Peabody Museum
 Revue d'Assyriologie et d'Archéologie Orientale (Presses
 Universitaires de France)
 Revue de l'Histoire des Religions (Presses Universitaires
 de France)
 Revue des Études Islamiques (Librairie Orientaliste Paul
 Geuthner)
 Riksbibliotekariens Ambetsberättelse
 Rivista Degli Studi Orientali
 Saeculum
- 14-3/4; 15-1/2 Sophia University, Tokyo
 17, 18 Nanzan University, Nagoya
 1959-1~12 New Bulgaria
 21/51 Ethiopian Embassy
 58, 59 East Asiatic Library, Columbia Univ.
 5-2; 6-1 Universität Hamburg, Seminar für Sprache
 und Kultur Chinas
 7 Universitetsbiblioteket, Uppsala
 39-1~11/12 Istituto per l'Oriente, Roma
 1959-1~52; 1960-1~8 National Library of Peking
 4-3, 4; 5-2, 3; 7-3, 4; Library of Congress
 8-1; 9-1, 2; 16-2~4
 1957/1958 Cambridge University Library
 1956/1957 Peabody Museum of Archaeology and
 Ethnology, Harvard University
 53-1, 3, 4 Bibliothèque Nationale
 154-2~156-1 Bibliothèque Nationale
 1958-1, 2 Bibliothèque Nationale
 1957/1958 Universitetsbiblioteket, Uppsala
 34-1/2, 3/4 Rivista Degli Studi Orientali, Roma
 10-1~3 Deutsche Forschungsgemeinschaft

- Sarasvatī Sushamā
- Seoul National University Bulletin
- Soviet Literature
- Spolia Zeylanica
- Studia Islamica
- Thaḡafatu'l-Hind (Indian Culture)
- T'oung Pao
- The Transactions of the International Conference of Orientalists in Japan (國際東方學者會議紀要)
- United Asia
- Ural-Altäische Jahrbucher (Otto Harrassowitz)
- Vorlesungs-Verzeichnis
- Die Welt des Islams (E. J. Brill)
- Die Welt des Orients
- Young East
- Zeitschrift der Deutschen Morgenländischen Gesellschaft
- Вестник Истории Мировой Культуры Ордена Непорочских Паук
- Византийский Временник
- Вопросы Географии Казахстана
- Вопросы Истории Религии и Атеизма
- 11-3/4; 12-3/4 Office of the Princepal Government Sanskrit College
- 1957/1958 Seoul National University Library
- 1959-2~1960-1 Lenin State Library, Moscow
- 28-2 The National Museums of Ceylon
- 10 University Library, Leiden
- 10-1/2-4 Indian Council for Cultural Relations
- 46-3/5
- 4 Toho Gakkai
- 11-4 United Asia
- 30-3/4; 31 Deutsche Forschungsgemeinschaft
- 1959; 1959/1960 Universität's Bibliothek, Bonn
- 5-5/6; 6-1/2 Dozent Otto Karow
- 2-5/6 Universität Hamburg, Seminar für Sprache und Kultur Chinas
- 29~32 The Young East Association
- 108-2~109-2 Deutsche Forschungsgemeinschaft
- Fundamentalnaja Biblioteka Akademii
- 1958-4~1959-6 Nauk SSSR, Moskva
- 15, 16 Academy of Sciences of the USSR Library, Leningrad
- 1959-3~5 Kazak Academy of Sciences SSR, Alma-Ata
- 7 Fundamentalnaja Biblioteka Akademii

- | | | |
|--|------------|--|
| Известия Академии Наук СССР Отделение Литературы и Языка | 1959-3~6 | Наук SSSR, Moskwa |
| Институт Славяноведения Краткие Сообщения | 27 | Lenin State Library, Moscow
Academy of Sciences of the USSR Library
Leningrad |
| Исторические Записки | 64, 65 | Academy of Sciences of the USSR Library,
Leningrad |
| Казак Тыныштыгулме Седиги | 1950-1 | Kazak Academy of Sciences SSR, Alma-Ata |
| Краткие Сообщения Института Востоковедения | 31~36 | Fundamentalnaja Biblioteka Akademii
Naук SSSR, Moskwa & Academy of sci-
ences of the USSR Library, Leningrad |
| Краткие Сообщения Института Истории | 73, 75, 77 | Academy of Sciences of the USSR Library,
Leningrad |
| Краткие Сообщения О Докладах и Полевых Исследованиях | 74, 76 | Academy of Sciences of the USSR Library,
Leningrad |
| Малая Советская Энциклопедия | 1~5 | Lenin State Library, Moscow |
| Прогресс Востоковедения | 1959-1~6 | Lenin State Library, Moscow |
| Советская Археология | 1959-1~4 | Academy of Sciences of the USSR Library,
Leningrad |
| Средние Века Сюриния | 13~16 | Academy of Sciences of the USSR Library,
Leningrad |
| Сюриния Музея Антропологии и Этнографии | 18 | Academy of Sciences of the USSR Library,
Leningrad |
| Труды Института Истории Археологии и этнографии | 6, 7 | Fundamentalnaja Biblioteka Akademii
Naук SSSR, Moskwa |

Труды Сектора Востоковедения	1959-1	Kazak Academy of Sciences SSR, Alma-Ata
Ученые Записки Института Востоковедения	19~21	Lenin State Library, Moscow
Ученые Записки Института Славяноведения	17, 18	Lenin State Library, Moscow
Ученые Записки Тихоокеанского Института	2	Fundamentalnaja Biblioteka Akademii Nauk SSSR, Moskva
Қазақтарды Известия	1/2 (8/9), 3 (10), 1 (9), 1 (11), 2 (10)	Kazak Academy of Sciences SSR, Alma-Ata

購入定期刊行物

<i>Name of Periodicals</i>	<i>Vol.-No.</i>
Annual Report on Indian Epigraphy (Dept. of Archaeology, Government of India)	1951/1952
Artibus Asiae	21-2, 3/4
Arts Asiatiques (Presses Universitaires de France)	4-1~5-4
Bibliotheca Orientalis (Nederlands Instituut voor het Nabije Oosten)	1958-6~1959-5/6
Cahiers d'Histoire Mondiale, Journal of World History	4-4~5-2
Central Asian Review (Central Asian Research Center, London)	7-1~4
Encyclopaedia of Islam (Luzac & Co. Ltd.)	1-18, 19
Epigraphia Indica (Government of India, Dept. of Archaeology)	31-3, 4, 5
Epigraphia Indica, Arabic and Persian Supplement	1951/1952; 1953/1954
Indian Historical Records Commission Proceedings	25-1, 2; 26-1; 27-2; 29-1, 2; 30-2; 31-1
Indo-Iranian Journal (Mouton & Co.)	3-1~4
The Journal of the Bihar and Orissa Research Society	1-1, 2; 2-1~10-1/2; 12-2~23-4; 24-3~43-3/4
Le Muséon	71-3/4~72-3/4

The Muslim World (Hartford Seminary Foundation)

Orientalische Literaturzeitung (Akademie-Verlag, Berlin)

Sinologica

Syria, Revue d'Art Oriental et d'Archéologie

The Transactions of the Asiatic Society of Japan

Zeitschrift für Assyriologie und Vorderasiatische Archäologie

Краткие Сообщения Института Востоковедения

Советская Археология

49-1~50-1

48-1/2, 5/6~11/12; 49-1/2~11/12; 50-5/6~

10; 51-1/2~9/10; 52-9/10, 11/12; 53-1/2~

11/12; 54-1/2~7/8, 11/12

6-1, 2

35-3/4; 36

6

13-1/2, 3; 15~19

2

13, 24, 25, 28

附 東洋學術協會

會長 和田 清

評議員 石田幹之助 岩井大慧

白鳥 清 末松保和

山本達郎 和田 清

編輯委員 池田 溫 榎 一雄

斯波義信 關野 雄

堀 敏一 松村 潤

山本達郎 和田 清

岩生成一 梅原末治 榎 一雄

津田左右吉 原田淑人 三上次男

岡田英弘 河野六郎 北村 甫

高 畠 稔 田中正俊 永積 昭

三根谷 徹 山口瑞鳳 山根幸夫

東洋學報四拾貳卷一號——四號內容目次

四拾貳卷一號（昭和三十四年六月）

老子道德經序訣の成立（上）

西晉の封王の制

東南アジアにおける初期華僑社會（九六〇—一二七九）

侯外廬主編「中國哲學史略」を讀んで

大淵忍爾

越智重明

和田久徳

小倉芳彦

- 宋史研究會編「宋史研究集第一輯」(中華叢書)……………斯波義信
- レーヴェンタール氏編「中央アジア叢刊」……………榎一雄
- ブラノルカルピニ・ルブルック關係の近刊書……………榎一雄
- 四拾貳卷二號(昭和三十四年九月)……………
- 明末の野人女直について……………田中克己
- 永代定額地租査定以前のザミーンダールについて(上)……………高畠稔
- 老子道德經序訣の成立(下)……………大淵忍爾
- アルバート・フオイヤーワーカー氏著「中國の初期工業化」……………佐伯有一
- ジョン・アンドリュース・ボイル博士譯「ジュヴァイニーの世界征服者の歴史」……………本田實信
- 林春勝・林信篤編「華夷變態」……………石原道博
- 四拾貳卷三號(昭和三十四年十二月)……………
- 所謂シノリカロシュティー錢について……………榎一雄
- 唐代の郡望表——九・十世紀の敦煌寫本を中心として——(上)……………池田溫
- 永代定額地租査定以前のザミーンダールについて(下)……………高畠稔
- 劉子健氏著「宋朝における改革運動——王安石とその新法——」……………斯波義信
- ローケーシュリチャンドラ氏「ウルガ版甘珠爾」について……………金子良太

J・ダンカン・M・デレット教授著「ホイサラ家——中世インド王家」……………辛島昇
四拾貳卷四號（昭和三十五年三月）

カシユガル^{II}ホーシャ家の後裔……………佐口透

ウイグル文葡萄園賣渡文書……………護雅夫

唐代の郡望表——九・十世紀の敦煌寫本を中心として——（下）……………池田溫

D・L・スネルグロウ氏編著「ヘーヴァジュラ・タントラの批判的研究」……………辻直四郎

ウイルフレッド・キャントウエル・スミス氏著「現代史におけるイスラム」……………加賀谷寛

昭和三十五年十月二十五日印刷
昭和三十五年十月三十一日發行

〔非賣品〕

財團法人東洋文庫年報

東京都文京區駒込上富士前町一四七
發行者 榎 一 雄

東京都千代田區九段二ノ一
印刷所 株式會社 開明 堂

東京都文京區駒込上富士前町一四七

電話大塚 (941) 〇〇二二九
〇六六八

發行所 財團 法人 東 洋 文 庫

(振替東京六七〇二三番)

Table 1. - Summary of data for the 1950-51 season.									
Area 1 - 1950-51									
Station	Area	Area	Area	Area	Area	Area	Area	Area	Area
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
9	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	1	2	3	4	5	6	7	8	9
11	1	2	3	4	5	6	7	8	9
12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
13	1	2	3	4	5	6	7	8	9
14	1	2	3	4	5	6	7	8	9
15	1	2	3	4	5	6	7	8	9
16	1	2	3	4	5	6	7	8	9
17	1	2	3	4	5	6	7	8	9
18	1	2	3	4	5	6	7	8	9
19	1	2	3	4	5	6	7	8	9
20	1	2	3	4	5	6	7	8	9
21	1	2	3	4	5	6	7	8	9
22	1	2	3	4	5	6	7	8	9
23	1	2	3	4	5	6	7	8	9
24	1	2	3	4	5	6	7	8	9
25	1	2	3	4	5	6	7	8	9
26	1	2	3	4	5	6	7	8	9
27	1	2	3	4	5	6	7	8	9
28	1	2	3	4	5	6	7	8	9
29	1	2	3	4	5	6	7	8	9
30	1	2	3	4	5	6	7	8	9
31	1	2	3	4	5	6	7	8	9
32	1	2	3	4	5	6	7	8	9
33	1	2	3	4	5	6	7	8	9
34	1	2	3	4	5	6	7	8	9
35	1	2	3	4	5	6	7	8	9
36	1	2	3	4	5	6	7	8	9
37	1	2	3	4	5	6	7	8	9
38	1	2	3	4	5	6	7	8	9
39	1	2	3	4	5	6	7	8	9
40	1	2	3	4	5	6	7	8	9
41	1	2	3	4	5	6	7	8	9
42	1	2	3	4	5	6	7	8	9
43	1	2	3	4	5	6	7	8	9
44	1	2	3	4	5	6	7	8	9
45	1	2	3	4	5	6	7	8	9
46	1	2	3	4	5	6	7	8	9
47	1	2	3	4	5	6	7	8	9
48	1	2	3	4	5	6	7	8	9
49	1	2	3	4	5	6	7	8	9
50	1	2	3	4	5	6	7	8	9
51	1	2	3	4	5	6	7	8	9
52	1	2	3	4	5	6	7	8	9
53	1	2	3	4	5	6	7	8	9
54	1	2	3	4	5	6	7	8	9
55	1	2	3	4	5	6	7	8	9
56	1	2	3	4	5	6	7	8	9
57	1	2	3	4	5	6	7	8	9
58	1	2	3	4	5	6	7	8	9
59	1	2	3	4	5	6	7	8	9
60	1	2	3	4	5	6	7	8	9
61	1	2	3	4	5	6	7	8	9
62	1	2	3	4	5	6	7	8	9
63	1	2	3	4	5	6	7	8	9
64	1	2	3	4	5	6	7	8	9
65	1	2	3	4	5	6	7	8	9
66	1	2	3	4	5	6	7	8	9
67	1	2	3	4	5	6	7	8	9
68	1	2	3	4	5	6	7	8	9
69	1	2	3	4	5	6	7	8	9
70	1	2	3	4	5	6	7	8	9
71	1	2	3	4	5	6	7	8	9
72	1	2	3	4	5	6	7	8	9
73	1	2	3	4	5	6	7	8	9
74	1	2	3	4	5	6	7	8	9
75	1	2	3	4	5	6	7	8	9
76	1	2	3	4	5	6	7	8	9
77	1	2	3	4	5	6	7	8	9
78	1	2	3	4	5	6	7	8	9
79	1	2	3	4	5	6	7	8	9
80	1	2	3	4	5	6	7	8	9
81	1	2	3	4	5	6	7	8	9
82	1	2	3	4	5	6	7	8	9
83	1	2	3	4	5	6	7	8	9
84	1	2	3	4	5	6	7	8	9
85	1	2	3	4	5	6	7	8	9
86	1	2	3	4	5	6	7	8	9
87	1	2	3	4	5	6	7	8	9
88	1	2	3	4	5	6	7	8	9
89	1	2	3	4	5	6	7	8	9
90	1	2	3	4	5	6	7	8	9
91	1	2	3	4	5	6	7	8	9
92	1	2	3	4	5	6	7	8	9
93	1	2	3	4	5	6	7	8	9
94	1	2	3	4	5	6	7	8	9
95	1	2	3	4	5	6	7	8	9
96	1	2	3	4	5	6	7	8	9
97	1	2	3	4	5	6	7	8	9
98	1	2	3	4	5	6	7	8	9
99	1	2	3	4	5	6	7	8	9
100	1	2	3	4	5	6	7	8	9